

芦屋市
「芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に関わる
アンケート調査結果報告書（案）

平成 24 年 7 月

芦屋市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
第2章 アンケート調査結果.....	2
1 回答者自身について.....	2
2 食について.....	10
《食生活について》.....	10
3 健康づくりについて.....	40
《健康全般について》.....	40
《運動と休養について》.....	43
《たばこについて》.....	67
《アルコールについて》.....	75
《歯の健康について》.....	79
《健康状態や健診について》.....	88

第1章 調査の概要

1 調査の目的

芦屋市では、平成21年7月に「芦屋市健康増進・食育推進計画」を策定し、市民の健康づくり等の支援に向け施策・事業を推進しているところです。

今回、計画の期間が平成24年度で終了することに伴い、市民の皆さまの健康に対する現状や考えをお聞かせいただき、現行計画の評価とともに、次期計画のベースライン調査を実施し、今後の健康づくり施策や、食育施策に反映させていくことを目的として、市民アンケート調査を実施しました。

2 調査対象

芦屋市に住んでいる20歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人

3 調査期間

平成24年5月15日から平成24年5月28日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
20歳以上市民	3,000通	1,353通	1,348通	44.9%

6 調査結果の表示方法

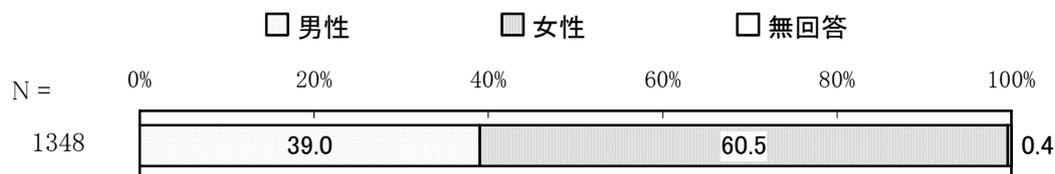
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・クロス集計のうち、性・年代別以外については、設問内容をわかりやすくするため、【____別（問番号×問番号）】と表記しています。

第2章 アンケート調査結果

1 回答者自身について

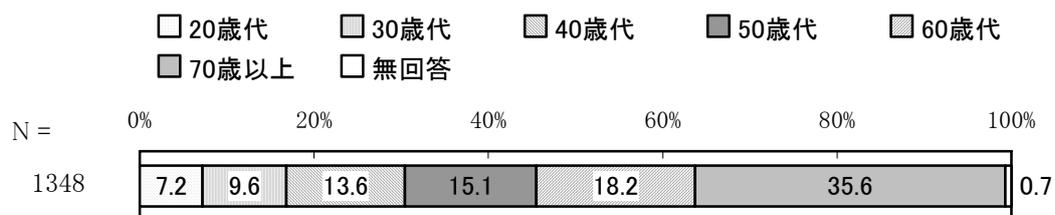
問1 あなたの性別はどちらですか。(は1つだけ)

「男性」の割合が39.0%、「女性」の割合が60.5%となっています。



問2 あなたの年齢をご記入ください。

「70歳以上」の割合が35.6%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が18.2%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



【性別】

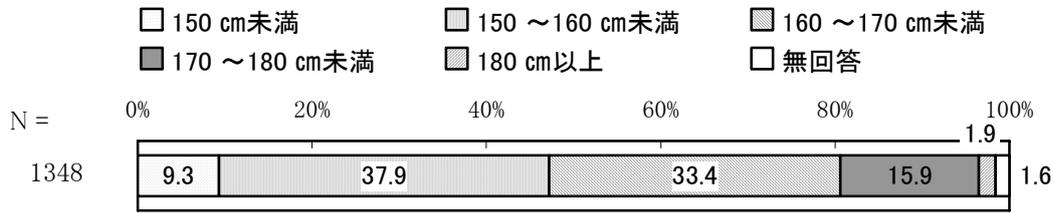
性別でみると、男性に比べ、女性で「30歳代」の割合が高くなっています。



問3 あなたの現在の身長と体重をご記入ください。

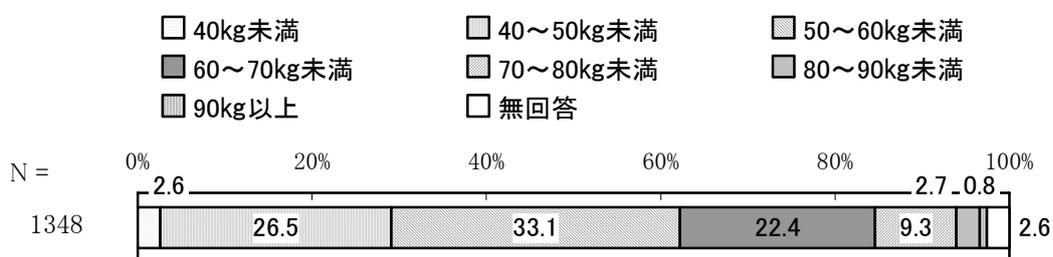
身長

「150～160 cm未満」の割合が37.9%と最も高く、次いで「160～170 cm未満」の割合が33.4%、「170～180 cm未満」の割合が15.9%となっています。



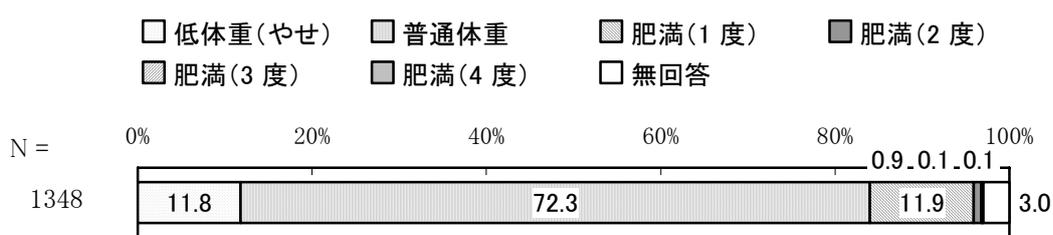
体重

「50～60 kg未満」の割合が33.1%と最も高く、次いで「40～50 kg未満」の割合が26.5%、「60～70 kg未満」の割合が22.4%となっています。



BMI

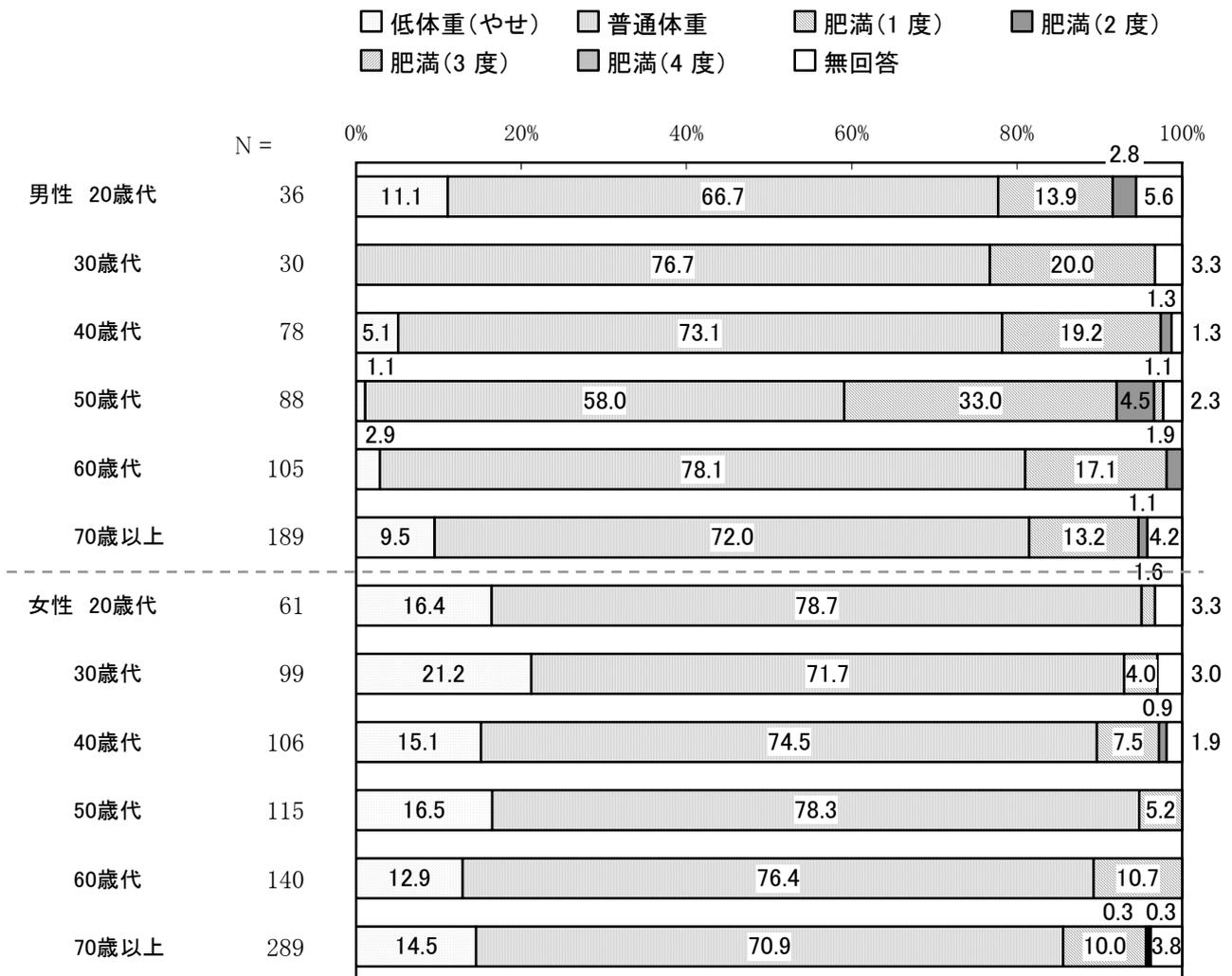
「普通体重」の割合が72.3%と最も高く、次いで「肥満(1度)」の割合が11.9%、「低体重(やせ)」の割合が11.8%となっています。



BMIの算出方法 $BMI = \text{体重}[\text{kg}] \div \text{身長}[\text{m}] \div \text{身長}[\text{m}]$
 「低体重(やせ)」: 18.5 未満
 「普通体重」: 18.5 以上から 25 未満
 「肥満(1度)」: 25 以上から 30 未満
 「肥満(2度)」: 30 以上から 35 未満
 「肥満(3度)」: 35 以上から 40 未満
 「肥満(4度)」: 40 以上
 (参考: 日本肥満学会による基準)

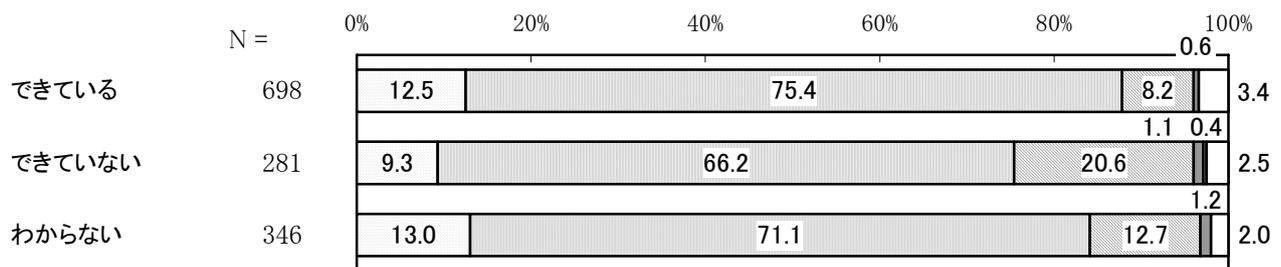
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代で「普通体重」の割合が低く、「肥満（1度）」「肥満（2度）」の割合が高くなっています。また、女性では、70歳以上を除き、年代が上がるほど「肥満（1度）」の割合が高くなる傾向がみられます。女性の30歳代で「低体重（やせ）」の割合が高く、2割を超えています。



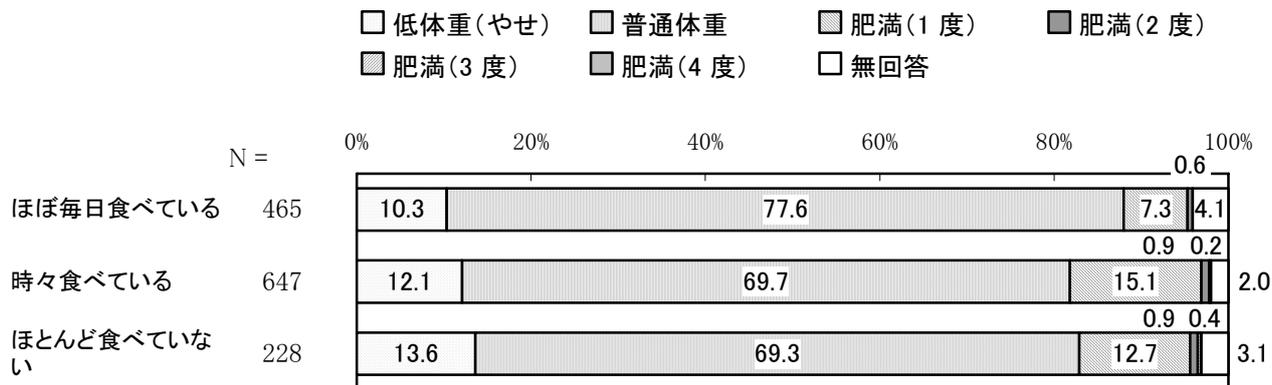
【自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別（問3）×（問12）】

自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別でみると、他に比べ、できていない人で「普通体重」の割合が低く、「肥満（1度）」の割合が高くなっています。



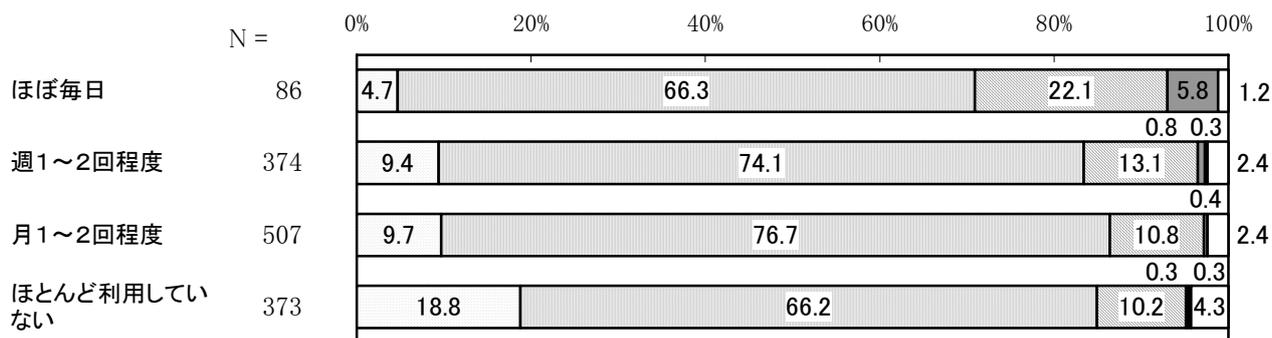
【野菜の摂取状況別（問3）×（問14）】

野菜の摂取状況別でみると、他に比べ、ほぼ毎日食べている人で「普通体重」の割合が高くなっています。



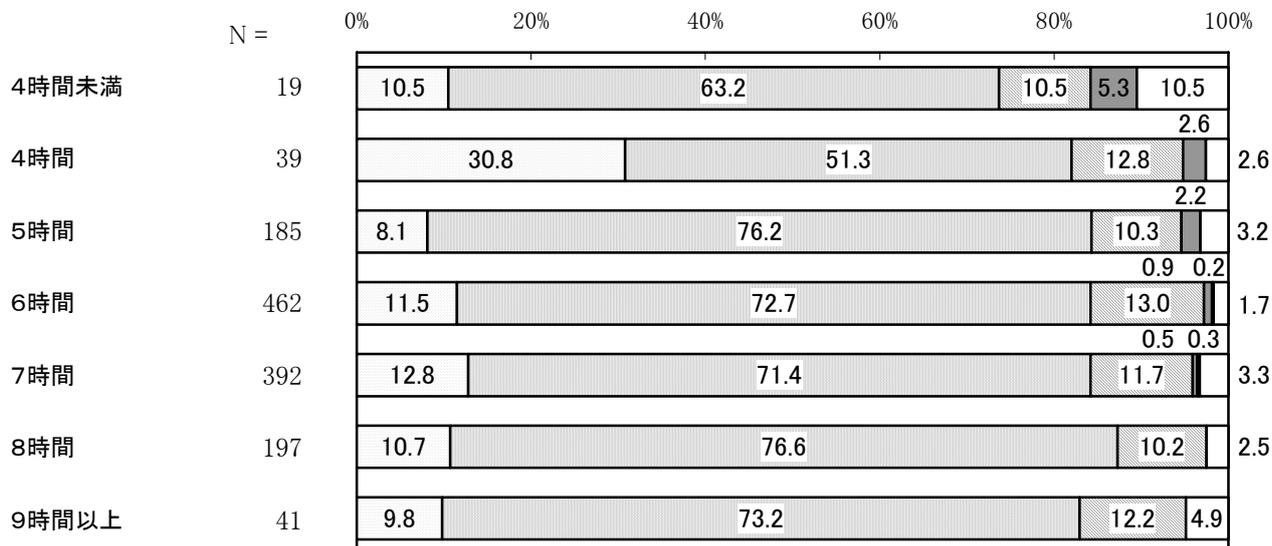
【外食の頻度別（問3）×（問16）】

外食の頻度別でみると、他に比べ、ほぼ毎日食べている人で「肥満（1度）」「肥満（2度）」の割合が高くなっています。



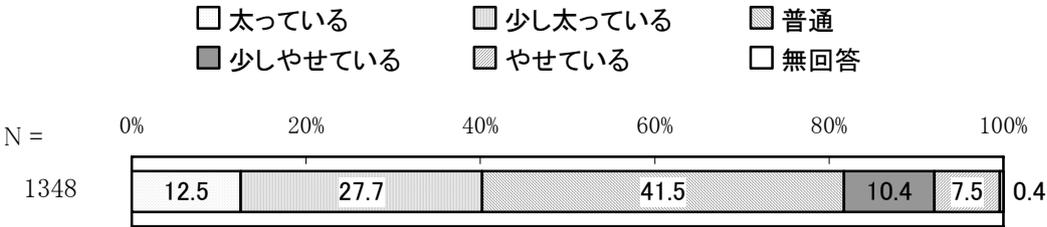
【1日の平均睡眠時間別（問3）×（問28）】

1日の平均睡眠時間別でみると、他に比べ、4時間未満で「肥満（2度）」の割合が高くなっています。また、4時間で「低体重（やせ）」の割合が高くなっています。



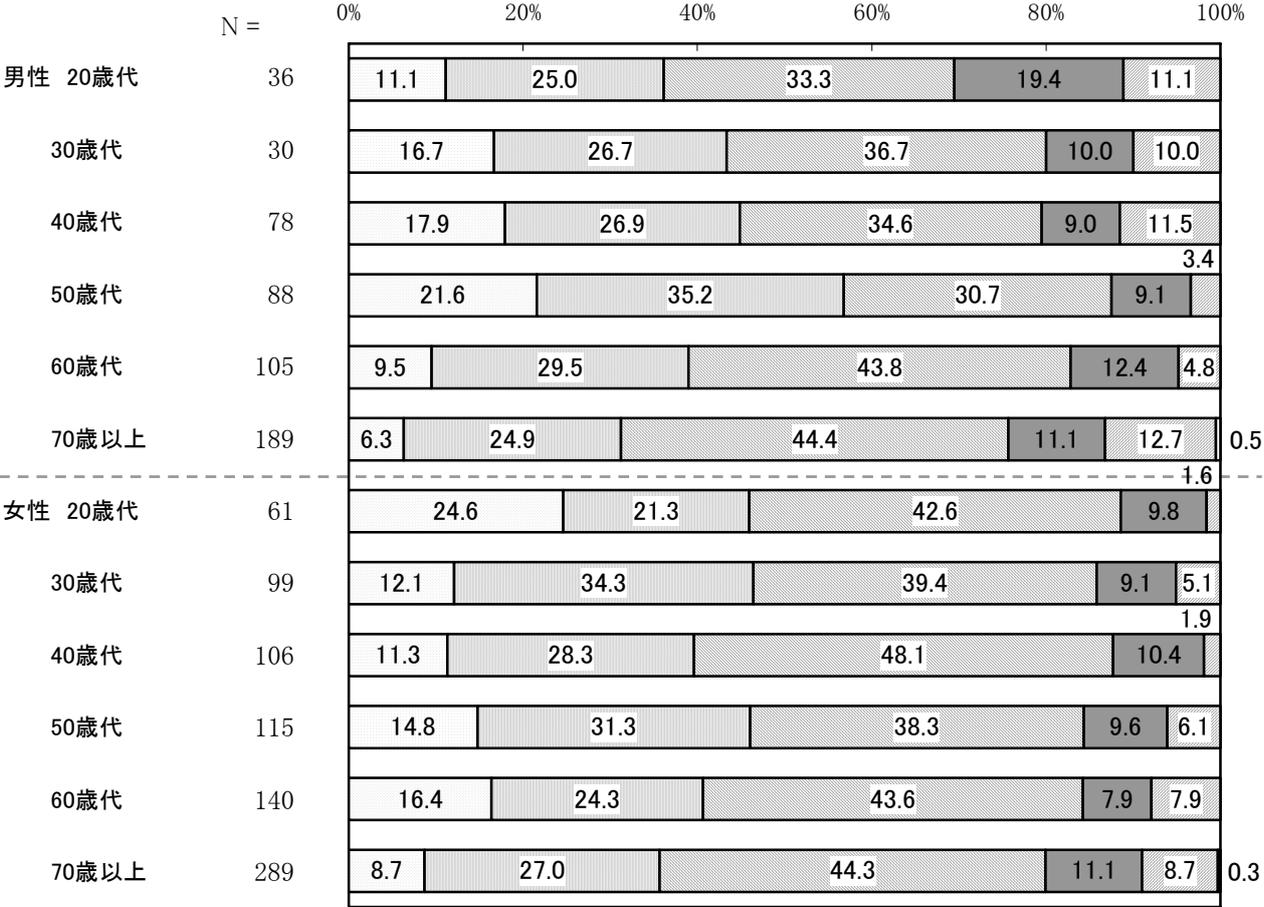
問4 ご自分の体型についてどう思われますか。(は1つだけ)

「太っている」と「少し太っている」をあわせた“太っている人”の割合が40.2%、「普通」の割合が41.5%、「少しやせている」と「やせている」をあわせた“やせている人”の割合が17.9%となっています。



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の50歳代で「太っている」の割合が高くなっています。また、女性の20歳代で「太っている」の割合が高くなっています。



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。()内に町名のみをご記入ください。

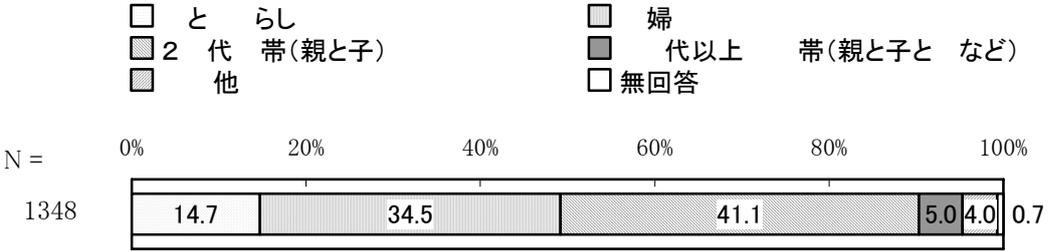
「山手小学校区」の割合が19.4%と最も高く、次いで「精道小学校区」の割合が14.7%、「宮川小学校区」の割合が12.7%となっています。

単位：%

有効回答数(件)	山手小学校区	朝日ヶ丘小学校区	岩園小学校区	精道小学校区	宮川小学校区	打出浜小学校区	潮見小学校区	浜風小学校区	無回答
1348	19.4	9.5	11.6	14.7	12.7	10.3	12.2	7.6	2.1

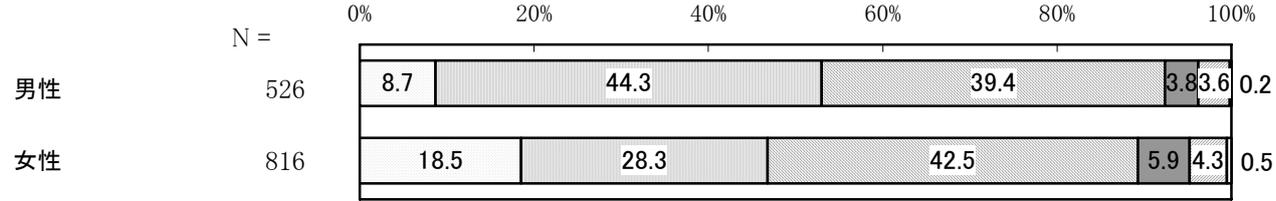
問6 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(は1つだけ)

「2世代世帯(親と子)」の割合が41.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が34.5%、「ひとり暮らし」の割合が14.7%となっています。



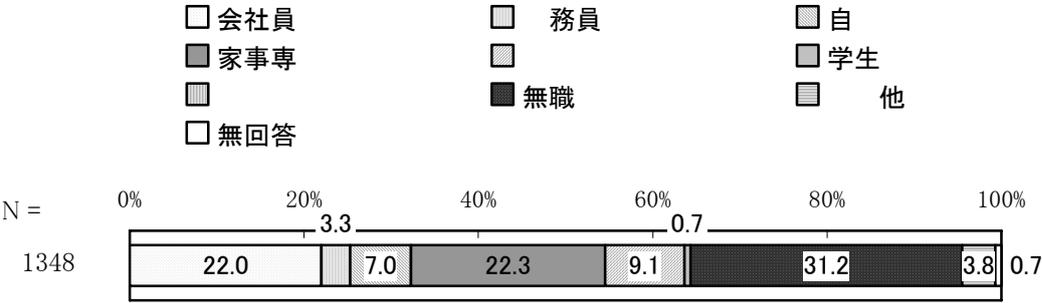
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「夫婦のみ」の割合が高くなっています。



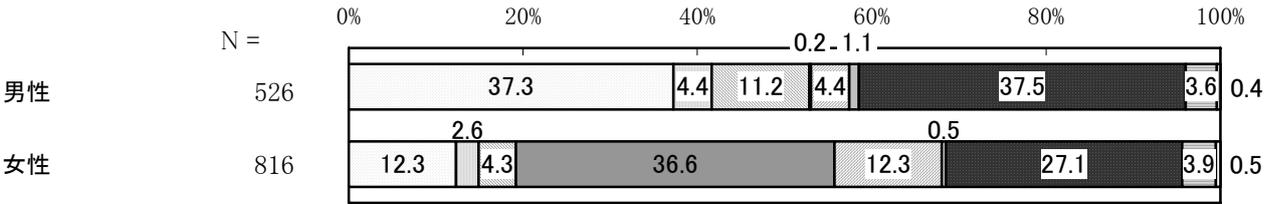
問7 あなたのご職業は何ですか。(は1つだけ)

「無職」の割合が31.2%と最も高く、次いで「家事専業」の割合が22.3%、「会社員」の割合が22.0%となっています。



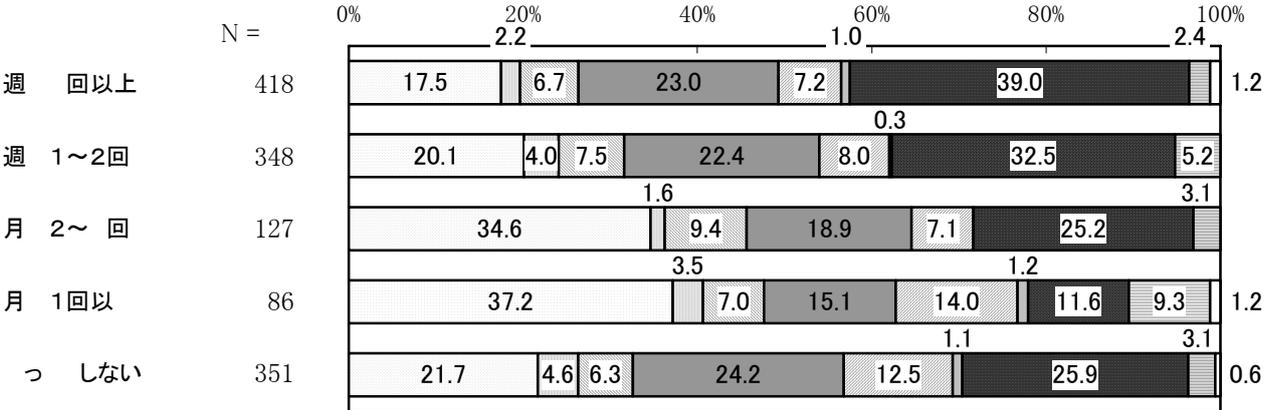
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「会社員」「無職」の割合が高く、約4割となっています。また、男性に比べ、女性で「家事専業」「パート・アルバイト」の割合が高く、特に「家事専業」は、約4割となっています。



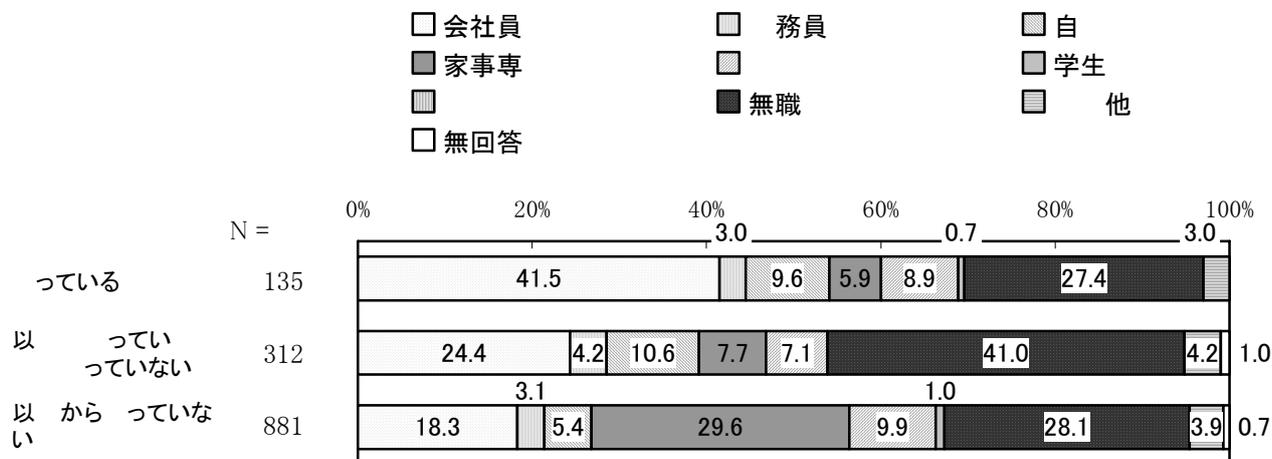
【運動の頻度別 (問7) × (問25)】

運動の頻度別でみると、他に比べ、月に2~3回、月に1回以下の人で「会社員」の割合が高くなっています。また、週に3回以上の人で「無職」の割合が高くなっています。



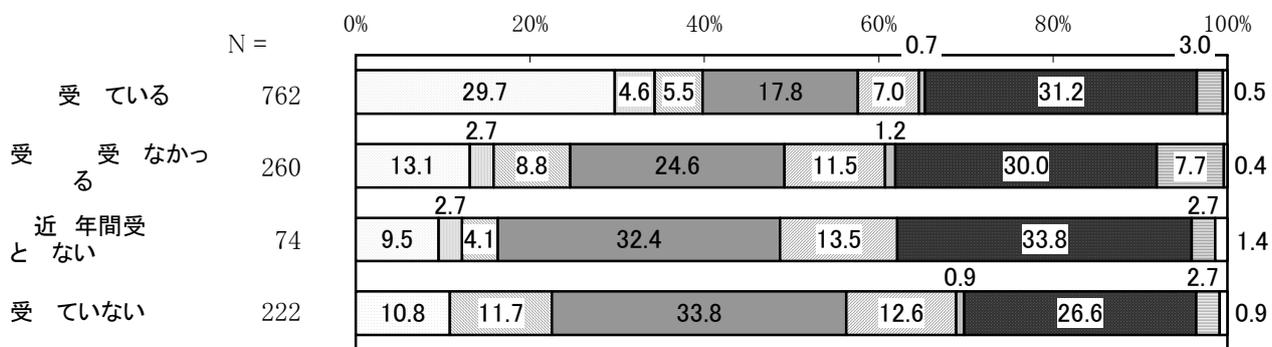
【喫煙状況別（問7）×（問34）】

喫煙状況別でみると、他に比べ、吸っている人で「会社員」の割合が高くなっています。また、以前は吸っていたが今は吸っていない人で「無職」の割合が高くなっています。以前から吸っていない人で「家事専業」の割合が高くなっています。



【健康診査の受診状況別（問7）×（問50）】

健康診査の受診状況別でみると、他に比べ、必ず受けている人で「会社員」の割合が高く、約3割となっています。また、受けていない人で「自営業」の割合が高くなっています。最近3年間受けたことがない人、受けていない人で「家事専業」の割合が高くなっています。

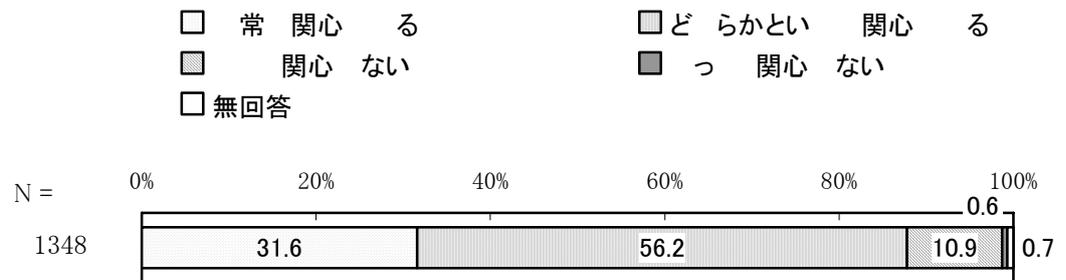


2 食について

《食生活について》

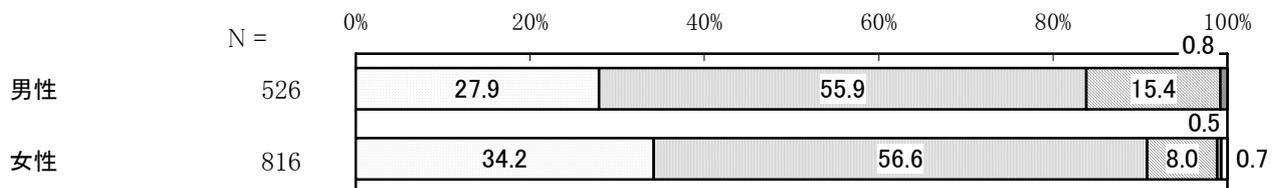
問8 あなたは、食生活に関心がありますか。(は1つだけ)

「非常に興味がある」と「どちらかといえば興味がある」をあわせた“興味がある人”の割合が87.8%、「あまり興味がない」と「まったく興味がない」をあわせた“興味がない人”の割合が11.5%となっています。



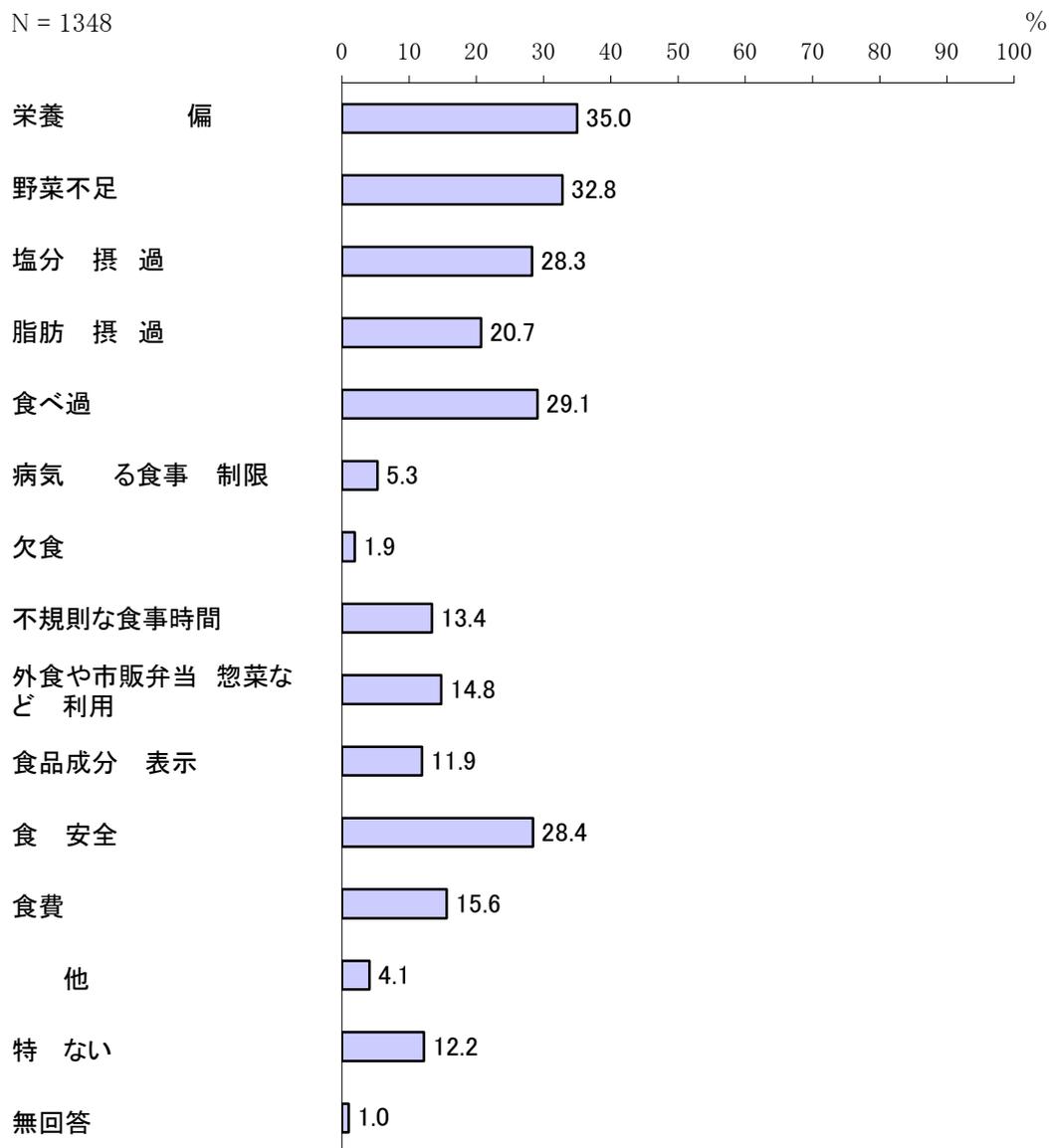
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“興味がない人”の割合が高くなっています。



問9 あなたの食生活で気になっていることはありますか。(あてはまるものすべてに)

「栄養バランスの偏り」の割合が35.0%と最も高く、次いで「野菜不足」の割合が32.8%、「食べ過ぎ」の割合が29.1%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「不規則な食事時間」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「食品成分の表示」「食の安全」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	栄養バランスの偏り	野菜不足	塩分の摂り過ぎ	脂肪の摂り過ぎ	食べ過ぎ	制限 病気による食事の	欠食
男性	526	30.4	30.4	28.5	21.9	32.1	6.3	2.1
女性	816	38.2	34.6	28.3	20.1	27.3	4.8	1.8

区分	不規則な食事時間	外食や市販弁当、惣菜などの利用	食品成分の表示	食の安全	食費	その他	特にない	無回答
男性	16.9	14.8	6.5	18.4	12.5	4.6	14.8	0.2
女性	11.3	15.0	15.3	34.8	17.6	3.8	10.5	1.0

【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では、年代が下がるほど「不規則な食事時間」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、男性の50歳代で「食べ過ぎ」の割合が高く、約5割となっています。女性の20歳代、30歳代で「栄養バランスの偏り」の割合が高く、5割を超えています。女性の20歳代～40歳代で「食費」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	栄養バランスの偏り	野菜不足	塩分の摂り過ぎ	脂肪の摂り過ぎ	食べ過ぎ	制限 病気による食事の	欠食
男性 20歳代	36	36.1	38.9	11.1	16.7	30.6	—	8.3
30歳代	30	33.3	33.3	16.7	20.0	43.3	3.3	—
40歳代	78	41.0	28.2	24.4	32.1	38.5	1.3	2.6
50歳代	88	28.4	34.1	31.8	30.7	46.6	9.1	2.3
60歳代	105	36.2	28.6	32.4	19.0	34.3	8.6	1.9
70歳以上	189	22.2	28.6	31.7	16.4	20.1	7.4	1.1
女性 20歳代	61	55.7	49.2	32.8	18.0	34.4	—	1.6
30歳代	99	59.6	38.4	25.3	25.3	30.3	4.0	3.0
40歳代	106	45.3	41.5	24.5	25.5	31.1	3.8	4.7
50歳代	115	41.7	39.1	26.1	23.5	27.8	3.5	0.9
60歳代	140	30.7	27.9	30.7	23.6	30.0	5.0	0.7
70歳以上	289	27.3	29.8	30.1	14.2	22.5	6.9	1.4

区分	不規則な食事時間	外食や市販弁当、惣菜などの利用	食品成分の表示	食の安全	食費	その他	特にない	無回答
男性 20歳代	50.0	33.3	2.8	8.3	25.0	2.8	11.1	—
30歳代	33.3	13.3	13.3	20.0	26.7	10.0	—	—
40歳代	28.2	14.1	2.6	11.5	10.3	3.8	9.0	—
50歳代	23.9	18.2	5.7	14.8	19.3	2.3	10.2	—
60歳代	12.4	13.3	8.6	21.0	9.5	3.8	12.4	—
70歳以上	2.6	11.1	6.9	23.3	7.4	5.8	23.8	0.5
女性 20歳代	29.5	19.7	19.7	32.8	27.9	1.6	4.9	—
30歳代	9.1	22.2	19.2	33.3	27.3	1.0	3.0	—
40歳代	17.0	17.9	11.3	38.7	30.2	7.5	5.7	0.9
50歳代	13.0	13.0	11.3	38.3	17.4	3.5	6.1	—
60歳代	7.9	12.1	16.4	29.3	12.9	5.0	12.1	0.7
70歳以上	6.6	12.1	15.9	35.6	10.0	3.5	16.3	2.1

【食生活への関心度別（問9）×（問8）】

食生活への関心度別でみると、他に比べ、非常に関心がある人で「食品成分の表示」「食の安全」「食費」の割合が高くなっています。また、あまり関心がない人で「欠食」「特にない」の割合が高くなっています。

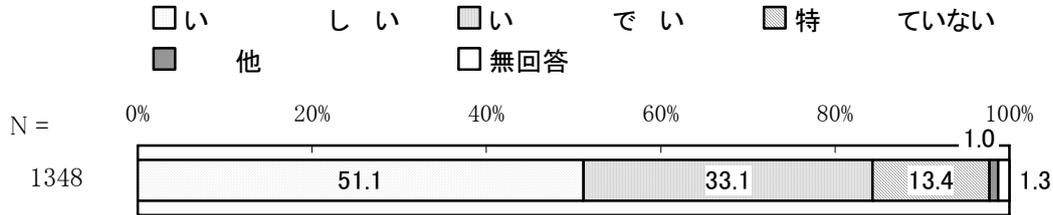
単位：%

区分	有効回答数(件)	栄養バランスの偏り	野菜不足	塩分の摂り過ぎ	脂肪の摂り過ぎ	食べ過ぎ	制限 病気による食事の	欠食
非常に関心がある	426	39.9	26.8	33.1	22.8	32.2	7.0	1.4
どちらかといえば関心がある	757	34.5	35.5	27.9	20.9	27.7	4.5	1.6
あまり関心がない	147	23.8	36.7	17.0	14.3	28.6	4.8	5.4
まったく関心がない	8	37.5	37.5	37.5	12.5	—	12.5	—

区分	不規則な食事時間	外食や市販弁当、惣菜などの利用	食品成分の表示	食の安全	食費	その他	特にない	無回答
非常に関心がある	11.5	15.5	17.8	37.3	21.1	5.6	9.4	0.5
どちらかといえば関心がある	13.3	14.7	10.6	26.6	13.2	3.4	11.8	0.7
あまり関心がない	19.0	15.0	2.0	13.6	11.6	2.7	22.4	0.7
まったく関心がない	25.0	—	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	—

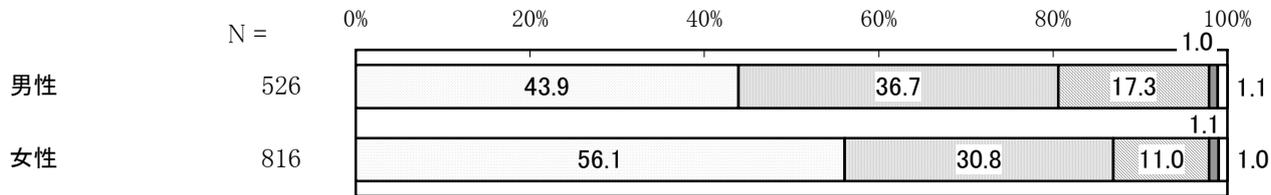
問 10 あなたは、今後、健康増進のために食生活をどのようにしたいと思いますか。
(は1つだけ)

「いまより改善したい」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「いまのままでよい」の割合が 33.1%、「特に考えていない」の割合が 13.4%となっています。



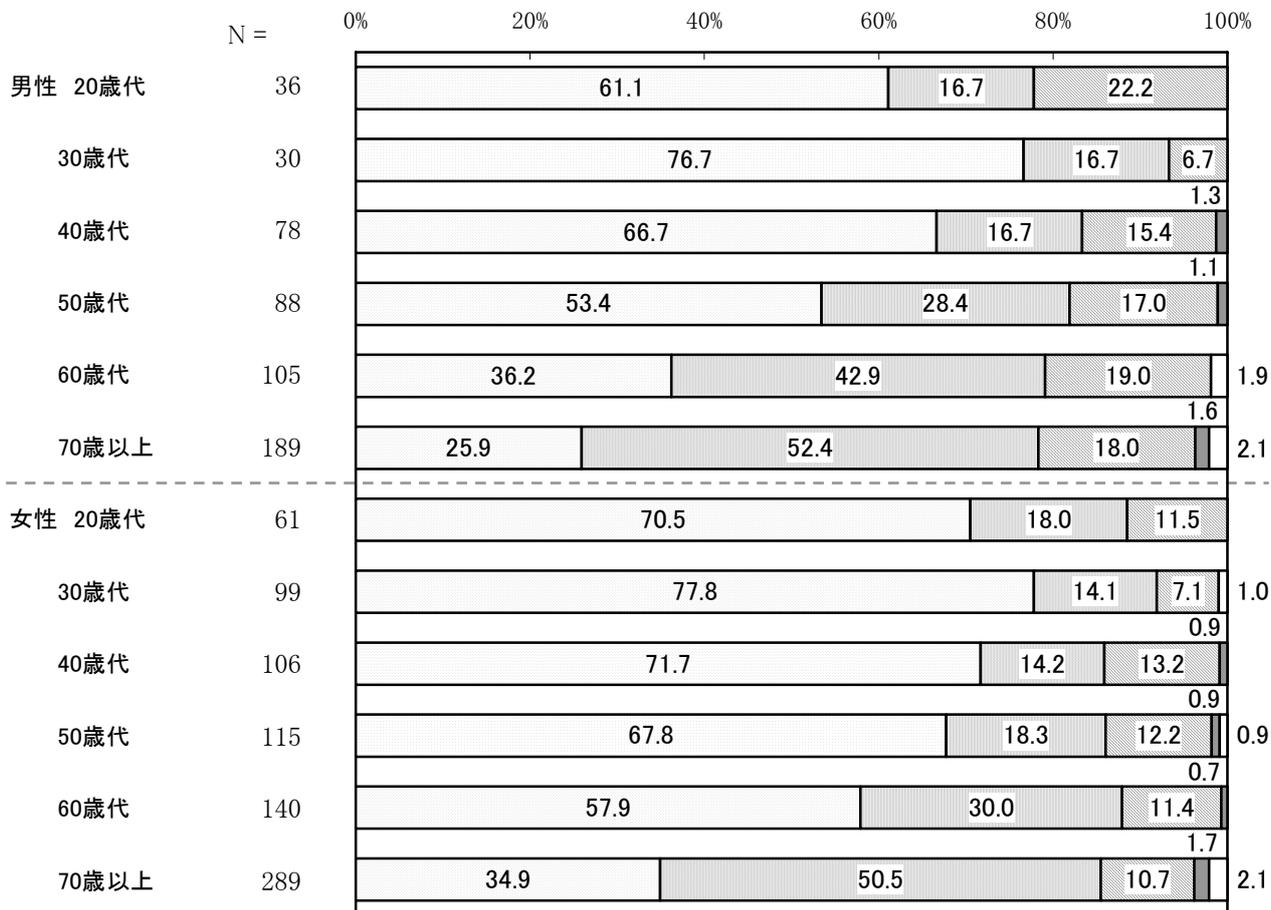
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「いまより改善したい」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「特に考えていない」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

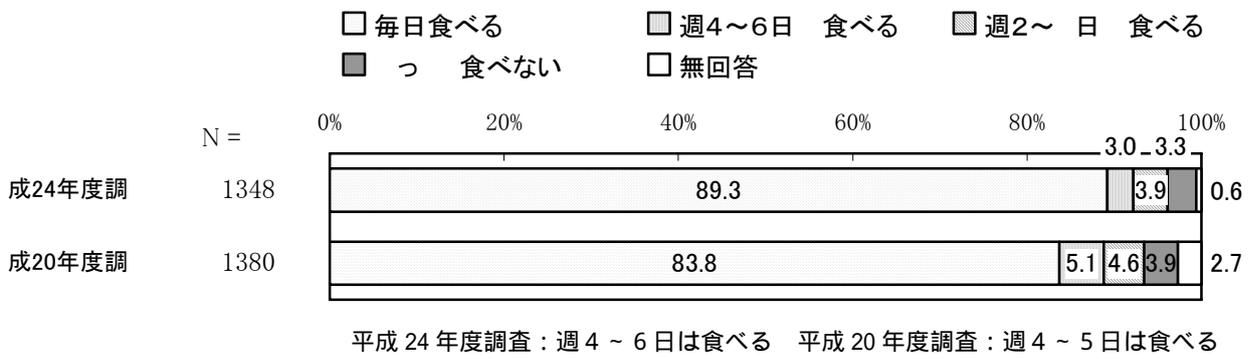
性・年代別でみると、男女ともに 20 歳代を除く 30 歳以上では、年代が上がるほど「いまより改善したい」の割合が低くなる傾向がみられます。



問 11 あなたは、朝食を食べていますか。(は1つだけ)

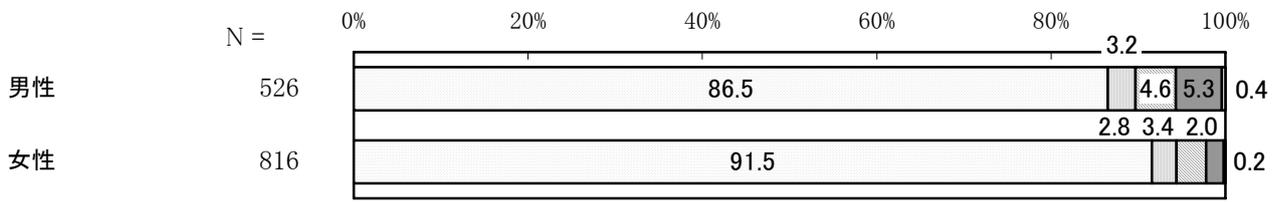
「毎日食べる」の割合が89.3%と最も高くなっています。一方、「週4～6日は食べる」と「週2～3日は食べる」と「まったく食べない」をあわせた“朝食欠食者”の割合は10.2%となっています。

前回調査と比較すると、「毎日食べる」の割合が5.5ポイント増加しています。



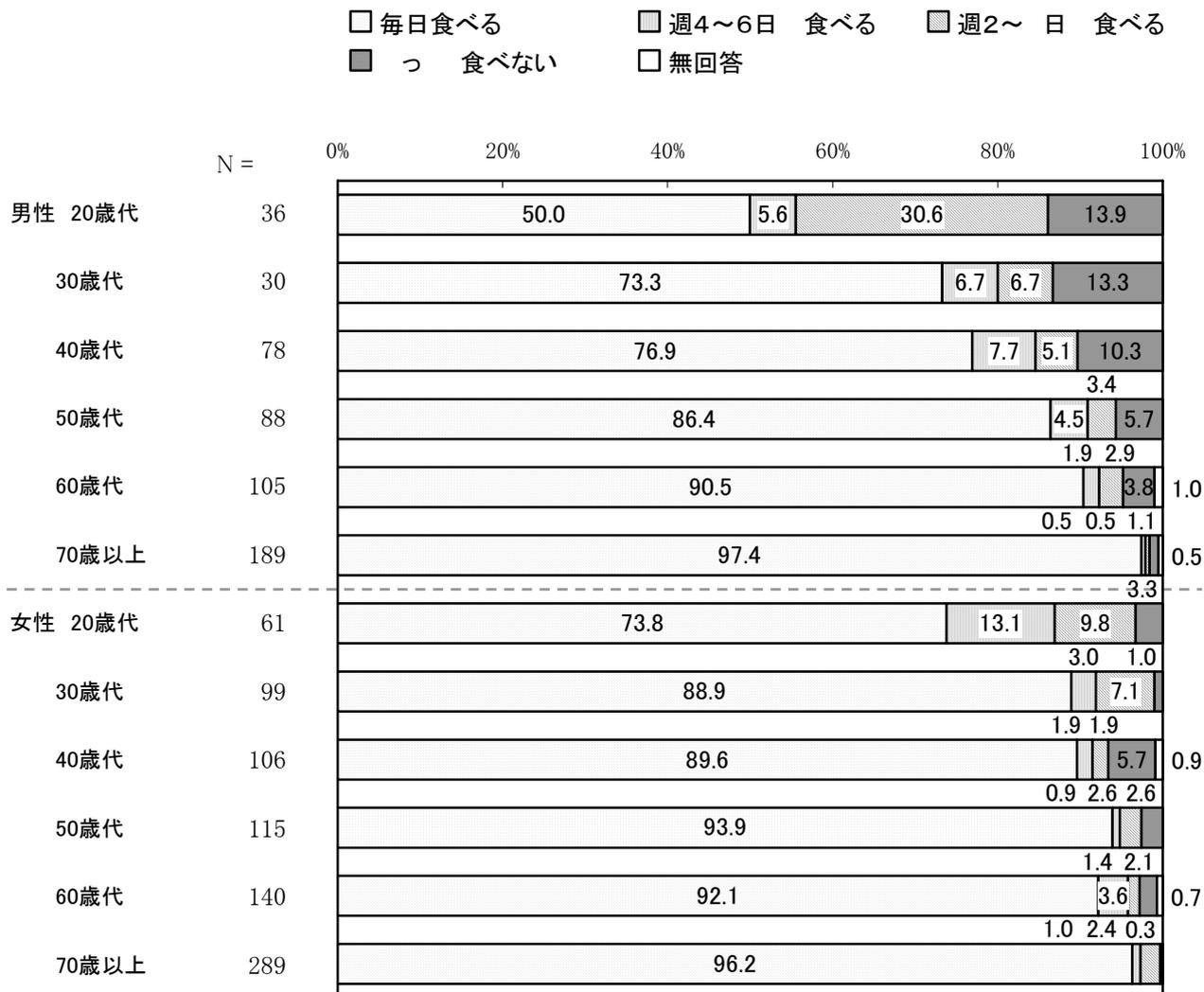
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「毎日食べる」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「まったく食べない」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

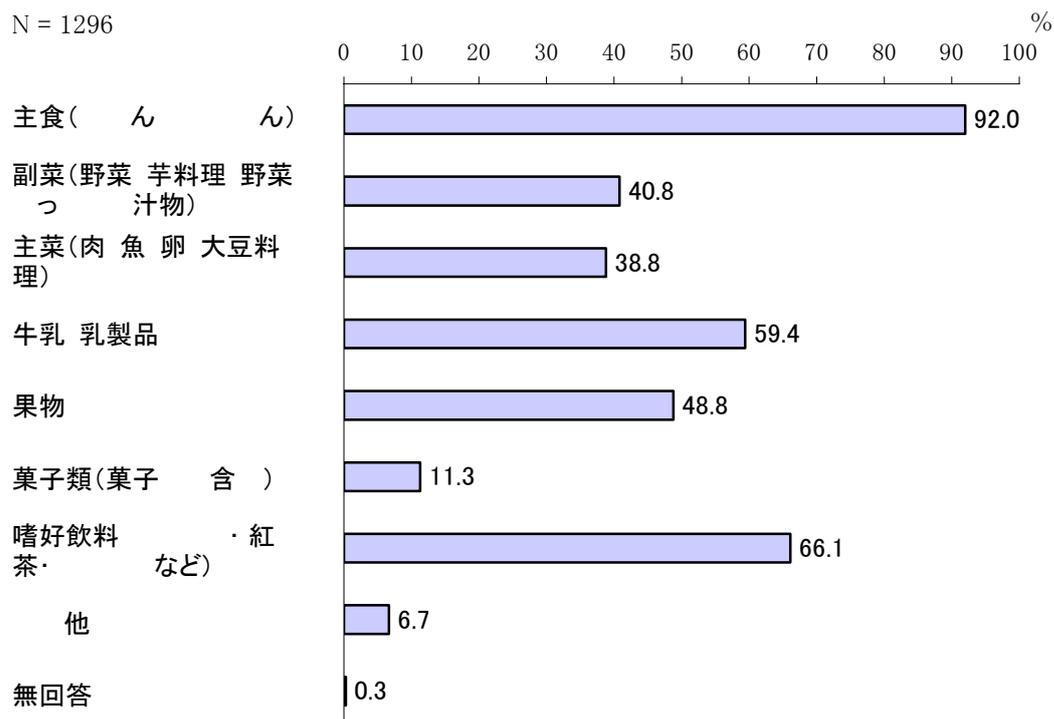
性・年代別で見ると、男女ともに年代が下がるほど「毎日食べる」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、男性の20歳代～40歳代で「まったく食べない」の割合が高く、1割を超えています。



問 11-1 (問 11 で「1. 毎日食べる」「2. 週 4 ~ 6 日は食べる」「3. 週 2 ~ 3 日は食べる」に つけた方におたずねします)

あなたは、普段、どんな朝食を食べていますか。(あてはまるものすべてに)

「主食(ごはん・パン・めん)」の割合が 92.0%と最も高く、次いで「嗜好飲料(コーヒー・紅茶・ジュースなど)」の割合が 66.1%、「牛乳・乳製品」の割合が 59.4%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「牛乳・乳製品」「果物」「嗜好飲料(コーヒー・紅茶・ジュースなど)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	主食(ごはん・パン・めん)	副菜(野菜・芋料理・野菜たつぷりの汁物)	主菜(肉・魚・卵・大豆料理)	牛乳・乳製品	果物	菓子類(菓子含む)	嗜好飲料(コーヒー・紅茶・ジュースなど)	その他	無回答
男性	496	93.1	37.1	36.3	50.4	41.5	8.7	60.1	5.4	0.4
女性	798	91.2	43.1	40.2	65.0	53.3	12.9	69.9	7.5	0.3

【性・年代別】

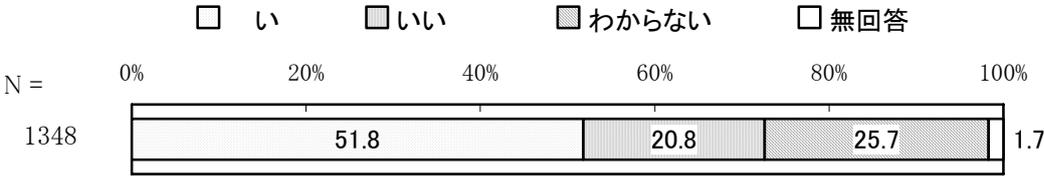
性・年代別でみると、男女ともに年代が下がるほど「副菜（野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物）」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、女性の60歳代以上で「牛乳・乳製品」「果物」の割合が高くなっています。女性の40歳代、60歳代で「嗜好飲料（コーヒー・紅茶・ジュースなど）」の割合が高く、8割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	主食(ごはん・パン・めん)	副菜(野菜・芋料理・野菜たっぷりの汁物)	主菜(肉・魚・卵・大豆料理)	牛乳・乳製品	果物	菓子類(菓子パン含む)	嗜好飲料(コーヒー・紅茶・ジュースなど)	その他	無回答
男性 20歳代	31	87.1	6.5	16.1	32.3	16.1	22.6	51.6	3.2	—
30歳代	26	96.2	15.4	23.1	38.5	23.1	3.8	42.3	7.7	—
40歳代	70	90.0	22.9	31.4	41.4	31.4	8.6	60.0	2.9	—
50歳代	83	88.0	25.3	27.7	50.6	27.7	7.2	63.9	4.8	1.2
60歳代	100	93.0	40.0	38.0	59.0	50.0	4.0	69.0	6.0	—
70歳以上	186	97.3	54.3	46.2	53.8	53.8	10.2	57.5	6.5	0.5
女性 20歳代	59	84.7	23.7	33.9	50.8	33.9	20.3	55.9	1.7	—
30歳代	98	90.8	22.4	22.4	56.1	39.8	20.4	64.3	4.1	—
40歳代	99	92.9	31.3	32.3	64.6	39.4	15.2	80.8	6.1	—
50歳代	112	86.6	40.2	38.4	66.1	42.9	14.3	75.0	8.9	0.9
60歳代	136	92.6	49.3	39.0	72.8	63.2	7.4	80.1	5.1	—
70歳以上	288	93.8	55.9	51.7	67.4	66.3	10.4	63.9	10.8	0.3

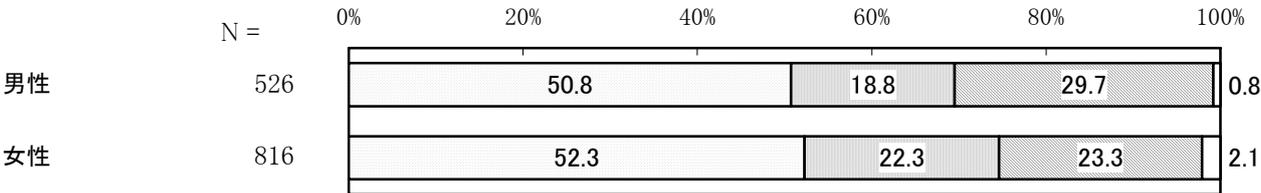
問 12 あなたは、自分に適した食事内容や量を考えた食事ができていますか。
(は1つだけ)

「はい」の割合が51.8%、「いいえ」の割合が20.8%、「わからない」の割合が25.7%となっています。



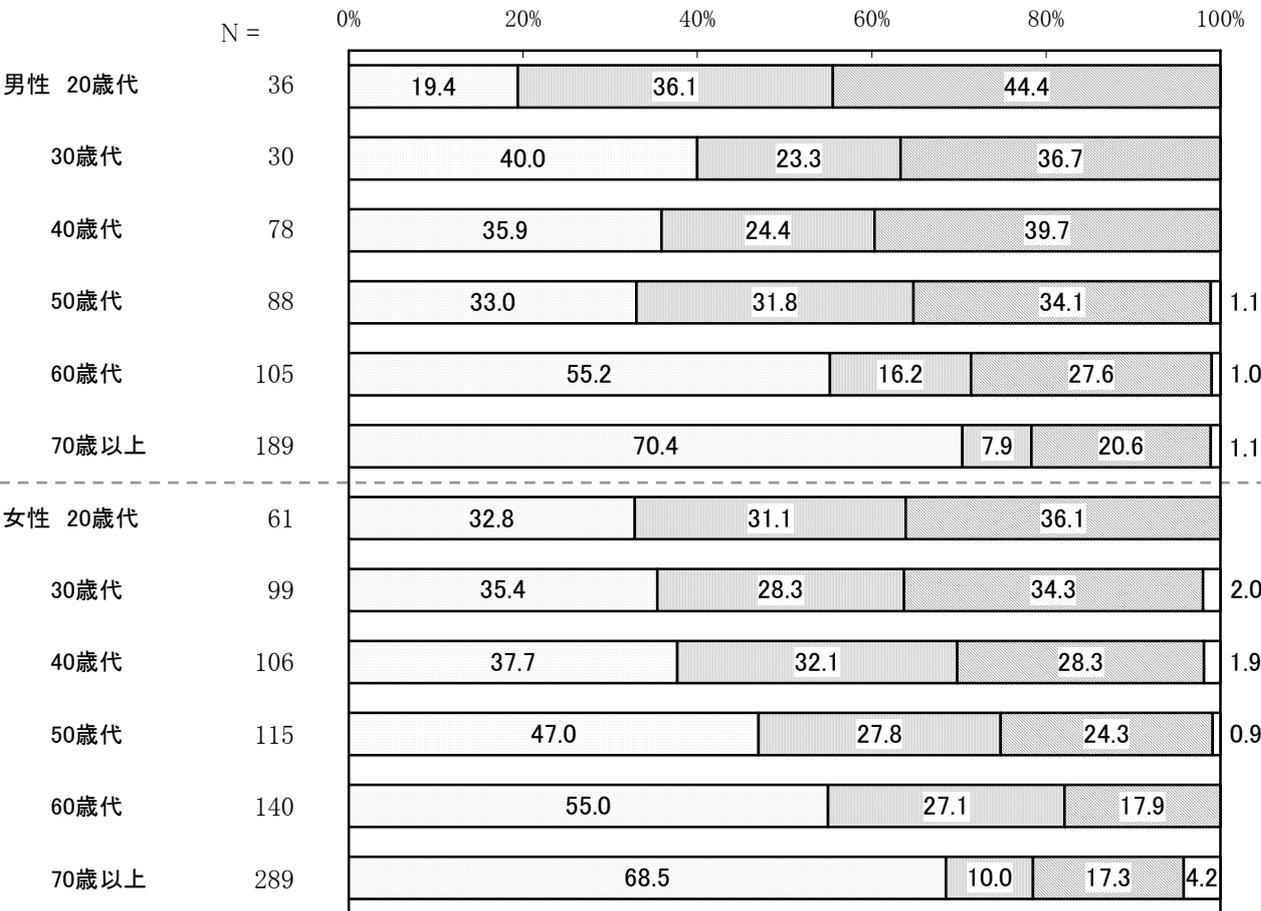
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。



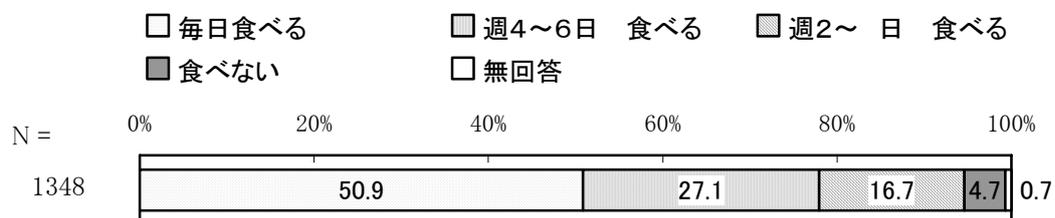
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに70歳以上で「はい」の割合が高く、約7割となっています。また、男性の20歳代、50歳代、女性の20歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高く、3割を超えています。



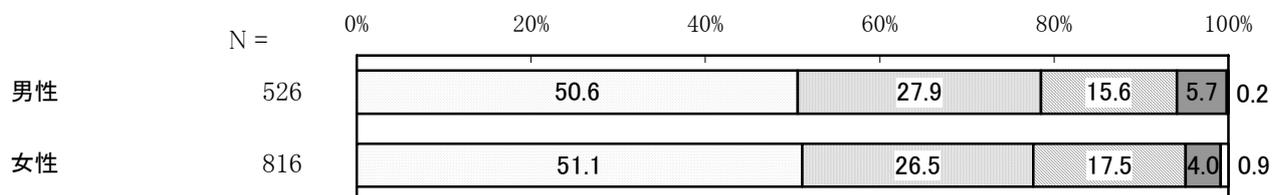
問 13 あなたは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べることは、週に何日ありますか。(は1つだけ)

「毎日食べる」の割合が50.9%と最も高く、次いで「週4～6日は食べる」の割合が27.1%、「週2～3日は食べる」の割合が16.7%となっています。



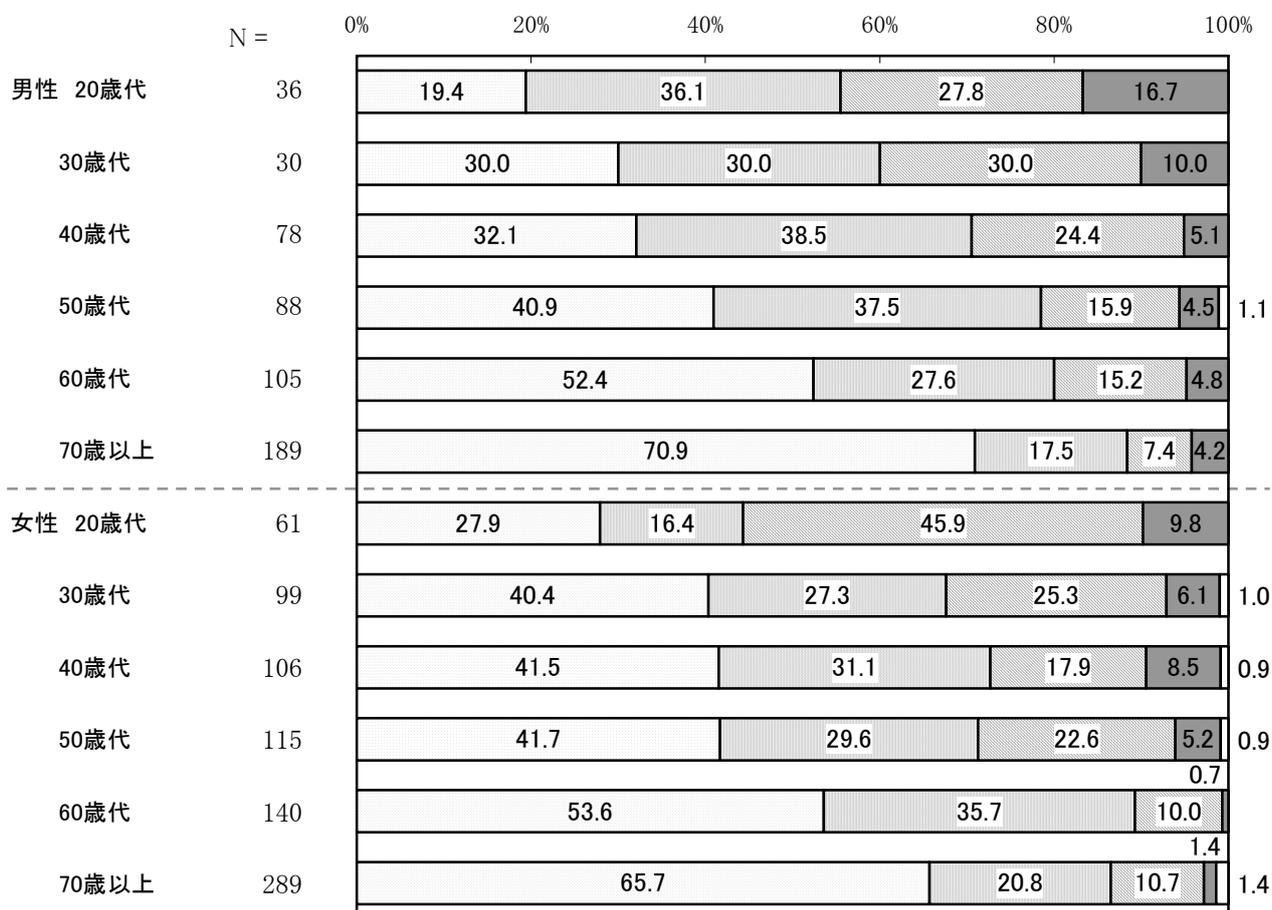
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



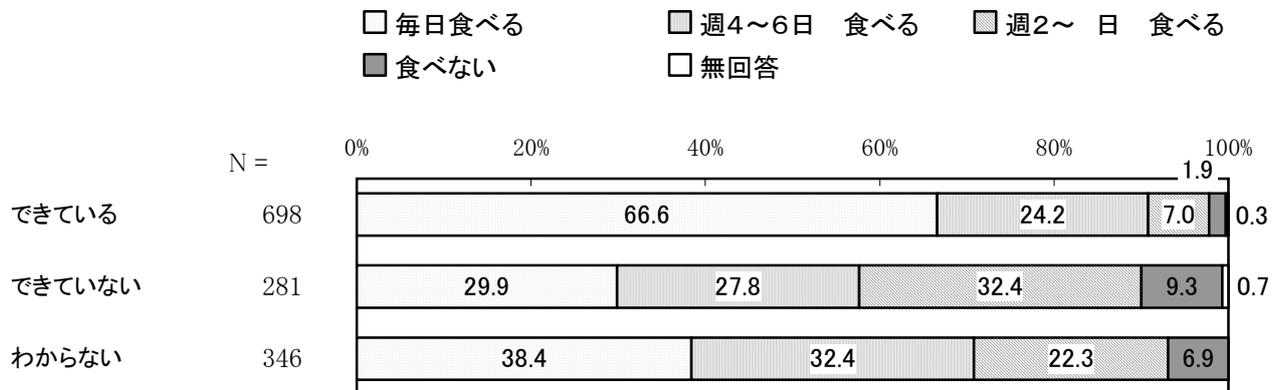
【性・年代別】

性・年代別でみると、男女ともに年代が下がるほど「毎日食べる」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、男性の20歳代で「食べない」の割合が高く、約2割となっています。



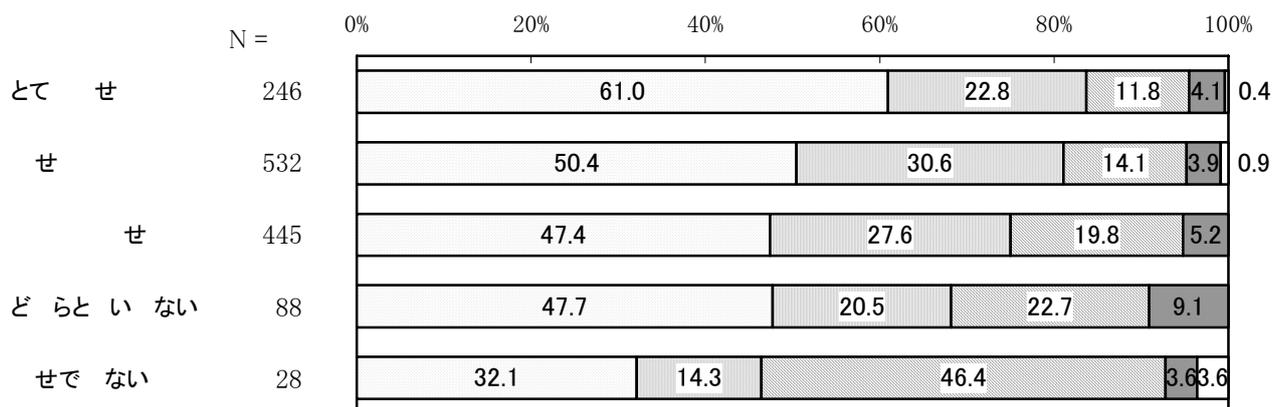
【自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別（問13）×（問12）】

自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別でみると、他に比べ、できていない人で「週2～3日は食べる」「食べない」の割合が高くなっています。



【幸福感別（問13）×（問23）】

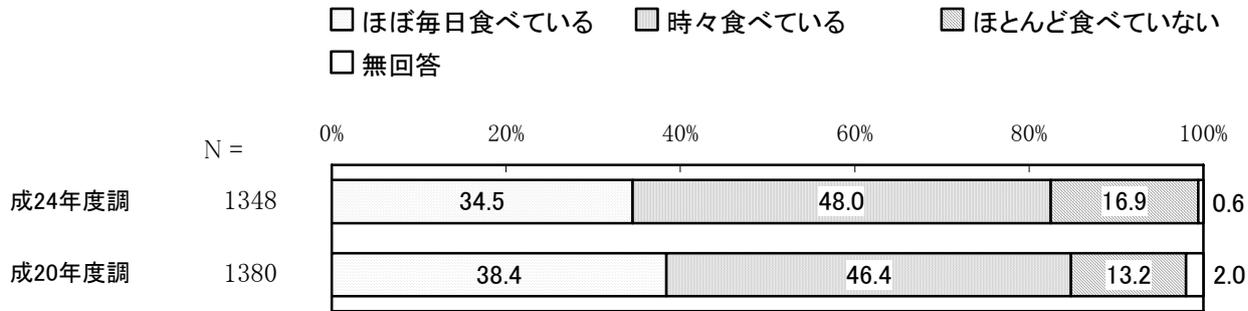
幸福感別でみると、他に比べ、とても幸せと感じている人で「毎日食べる」の割合が高く、約6割となっています。



問 14 あなたは、野菜を一日に 350g（両手山盛り一杯）以上食べていますか。
（ は1つだけ）

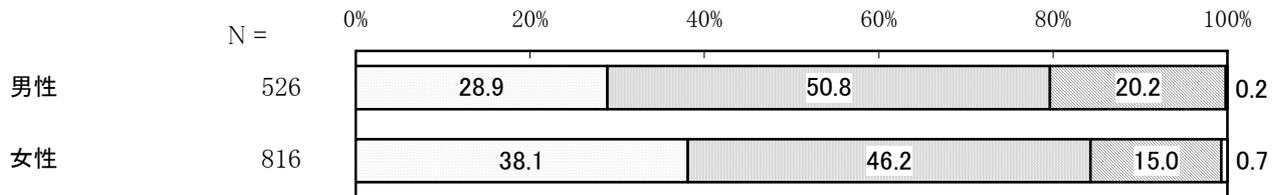
「時々食べている」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「ほぼ毎日食べている」の割合が 34.5%、「ほとんど食べていない」の割合が 16.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

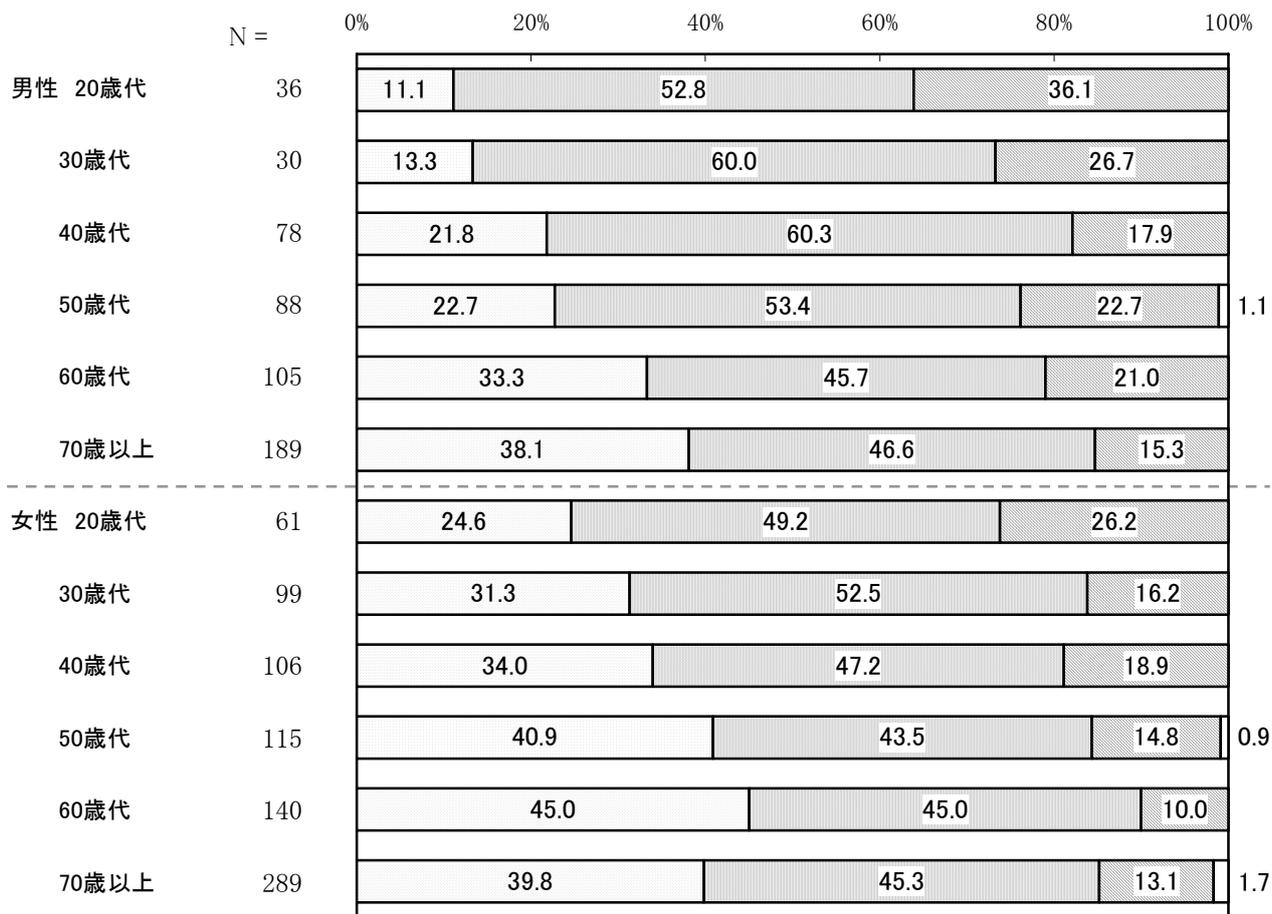
性別で見ると、男性に比べ、女性で「ほぼ毎日食べている」の割合が高く、約 4 割となっています。また、女性に比べ、男性で「ほとんど食べていない」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

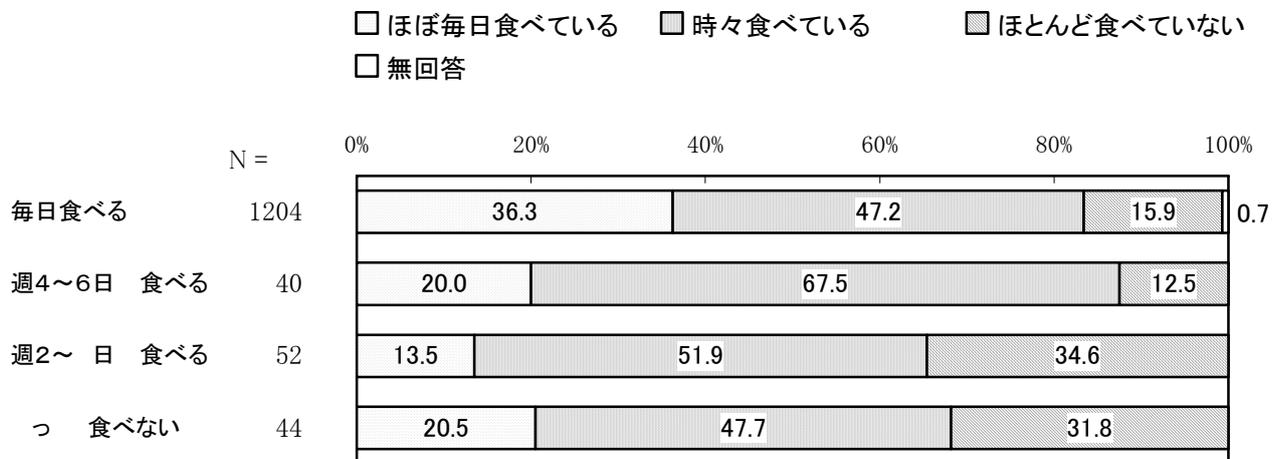
性・年代別でみると、女性の70歳以上を除き、男女ともに年代が下がるほど「ほぼ毎日食べている」の割合が低くなる傾向がみられます。また、男性の20歳代で「ほとんど食べていない」の割合が高く、約4割となっています。

ほぼ毎日食べている
 時々食べている
 ほとんど食べていない
 無回答



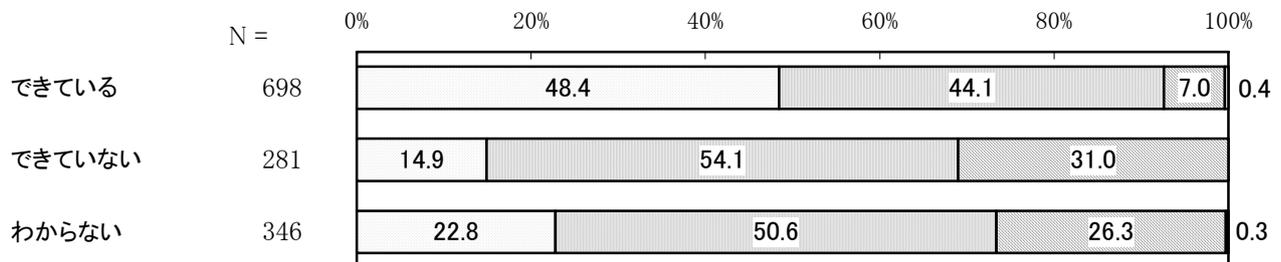
【朝食の摂取状況別（問 14）×（問 11）】

朝食の摂取状況別でみると、他に比べ、週2～3日は食べる人、まったく食べない人で「ほとんど食べていない」の割合が高くなっています。



【自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別（問 14）×（問 12）】

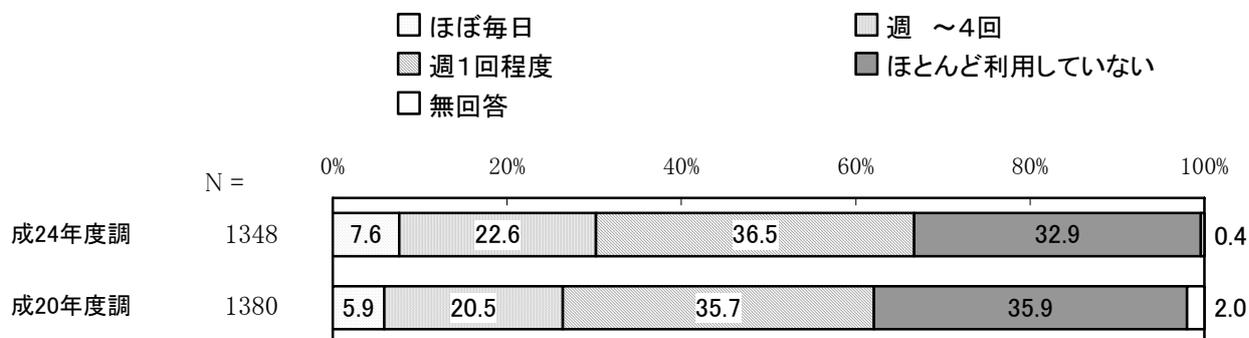
自分に適した食事内容や量を考えた食事の状況別でみると、他に比べ、できている人で「ほぼ毎日食べている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、できていない人で「ほとんど食べていない」の割合が高くなっています。



問 15 あなたは、市販のお弁当・惣菜・調理パン・調理済み冷凍食品などをどのくらいの頻度で利用していますか。(は1つだけ)

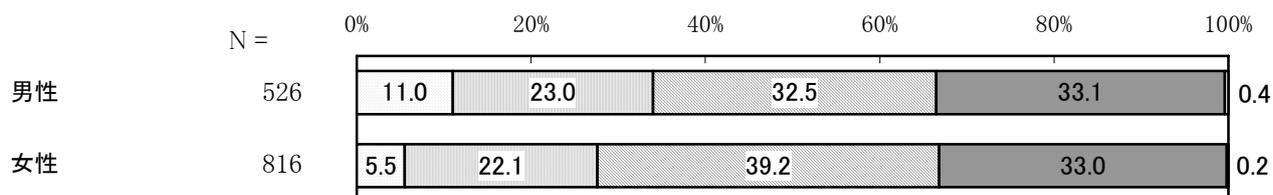
「週1回程度」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「ほとんど利用していない」の割合が 32.9%。「週3～4回」の割合が 22.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



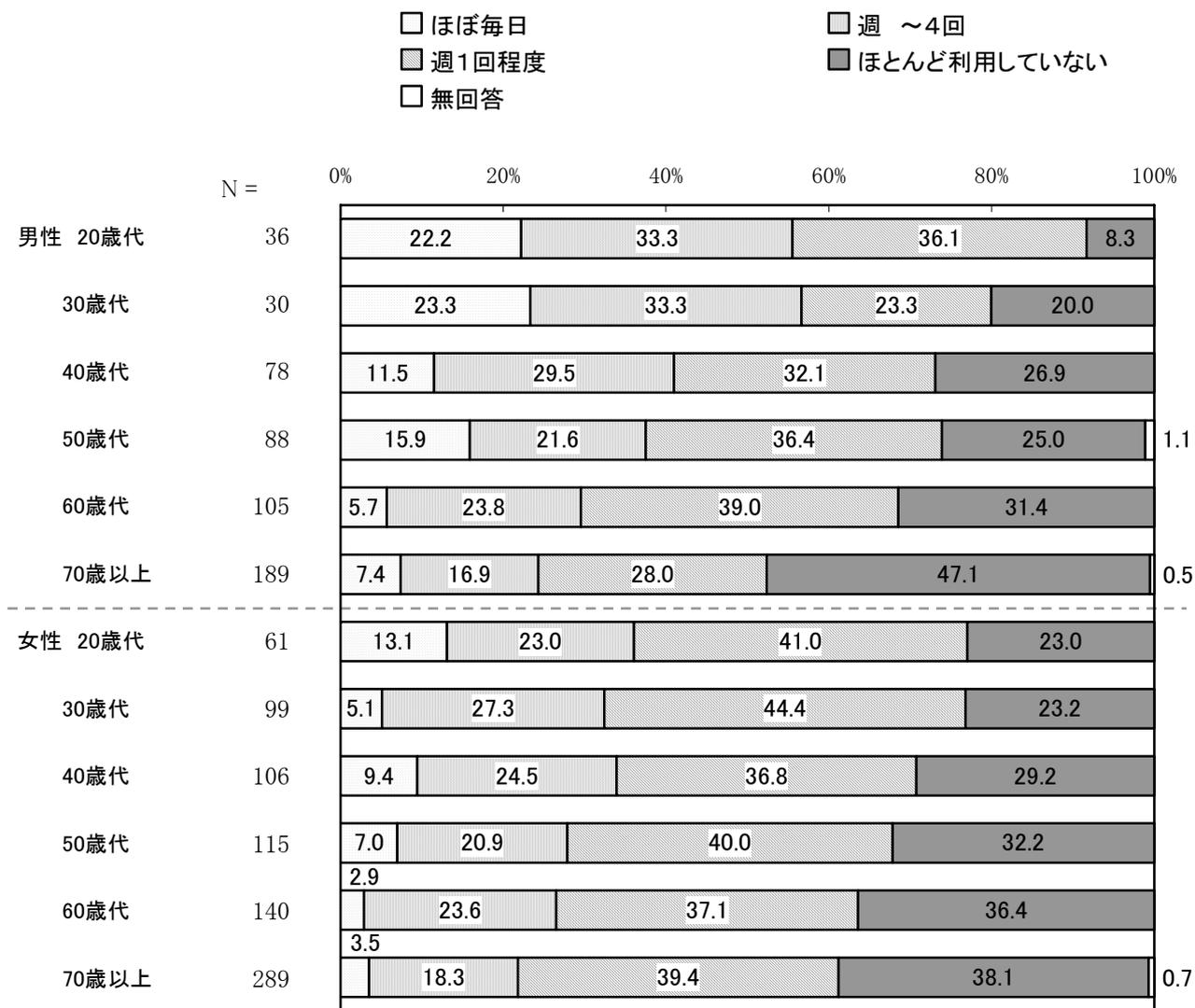
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

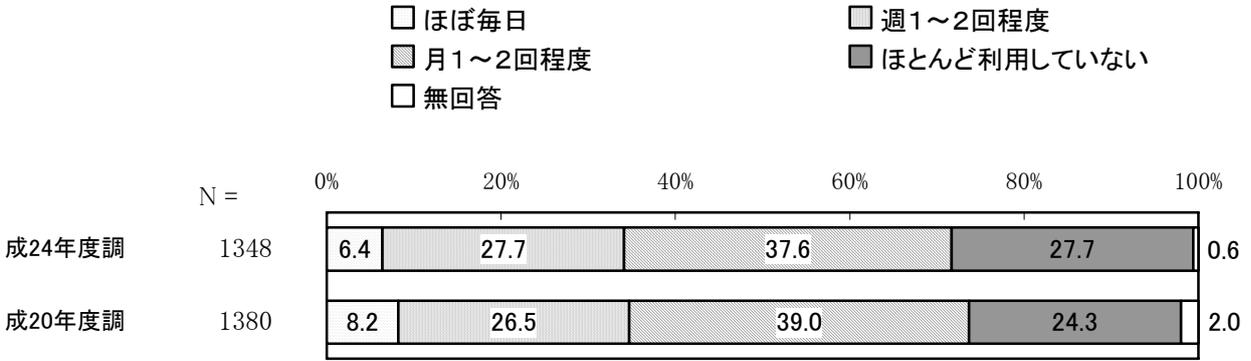
性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、30歳代で「ほぼ毎日」の割合が高く、2割を超えています。また、男性の70歳以上で「ほとんど利用していない」の割合が高く、約5割となっています。男女ともに年代が上がるほど「ほとんど利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 16 あなたは、外食をどのくらいの頻度で利用していますか。(は1つだけ)

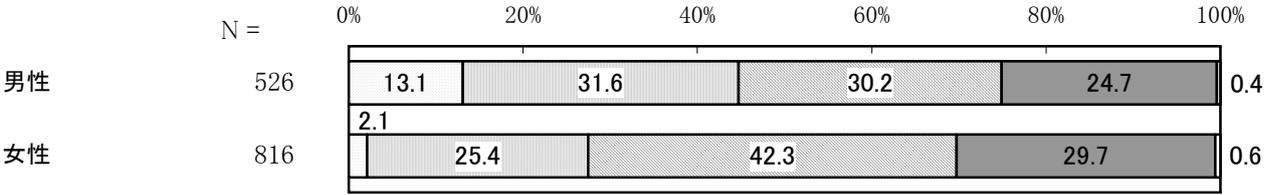
「月1～2回程度」の割合が37.6%と最も高く、次いで「週1～2回程度」「ほとんど利用していない」の割合が27.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



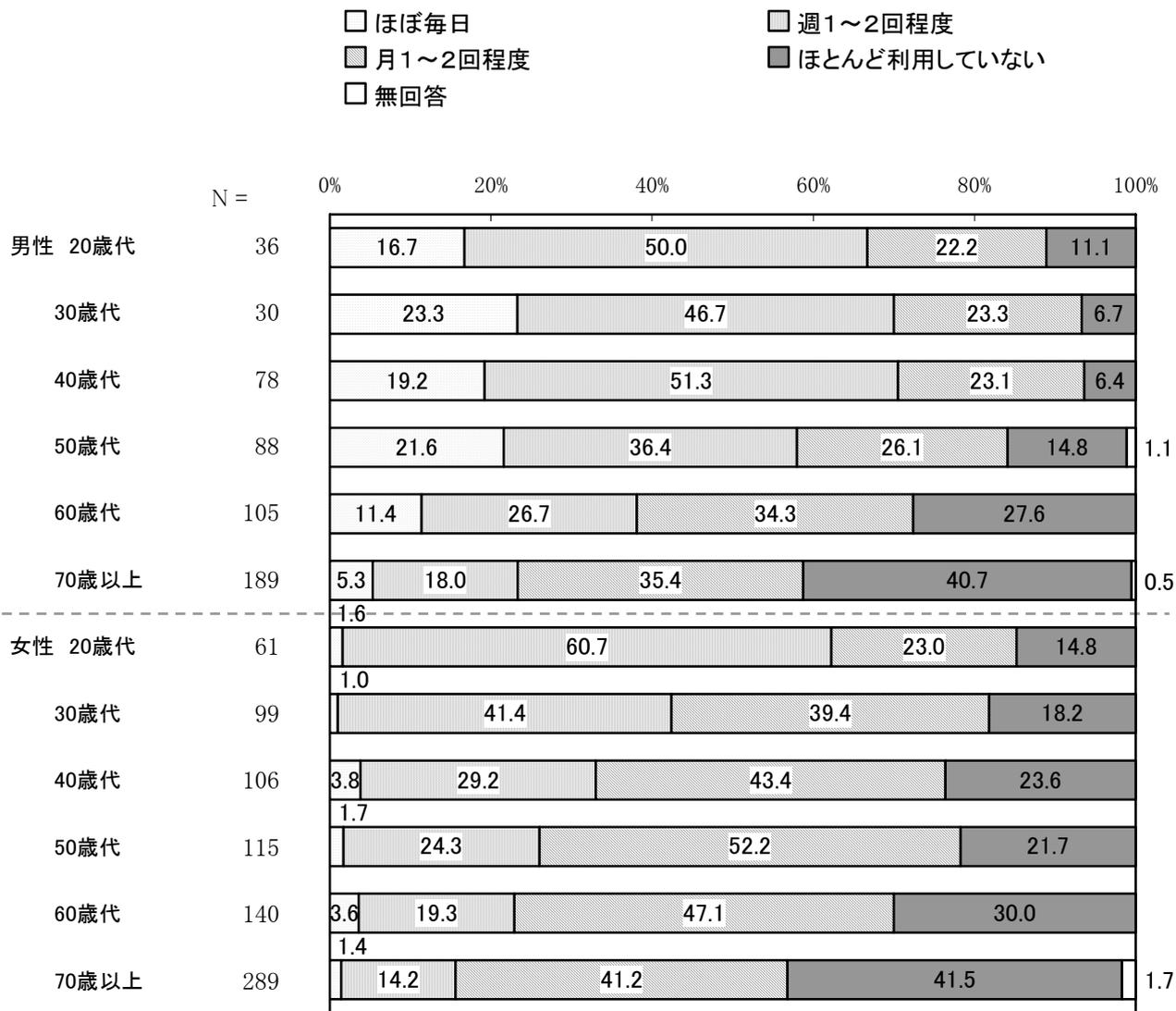
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「月1～2回程度」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

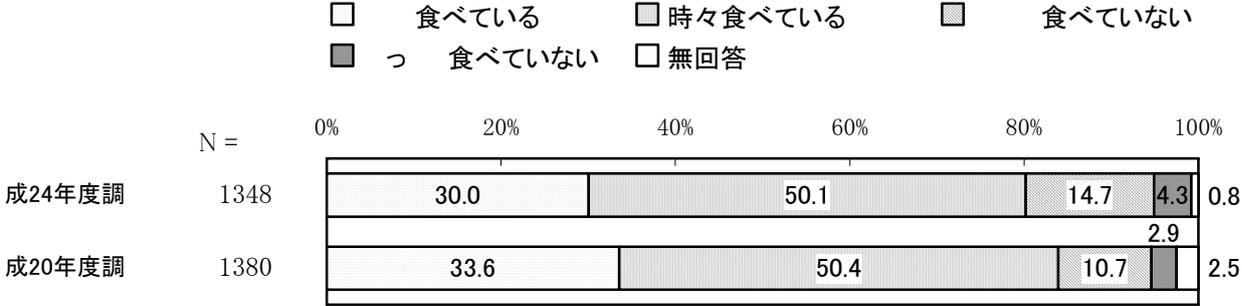
性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代～50歳代で「ほぼ毎日」の割合が高く、約2割となっています。また、男性の20歳代、40歳代、女性の20歳代で「週1～2回程度」の割合が高くなっています。一方、男性の20歳代を除き、男女ともに年代が上がるほど「ほとんど利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 17 あなたは、行事食を食べていますか。(は1つだけ)

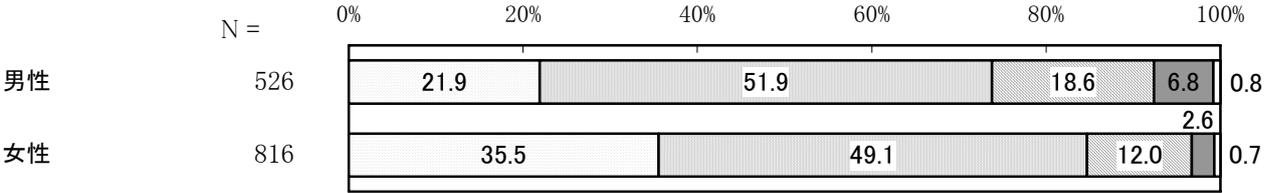
「必ず食べている」と「時々食べている」をあわせた“食べている人”の割合が80.1%、「あまり食べていない」と「まったく食べていない」をあわせた“食べていない人”の割合が19.0%となっています。

前回調査と比較すると、“食べていない人”の割合が5.4ポイント増加しています。



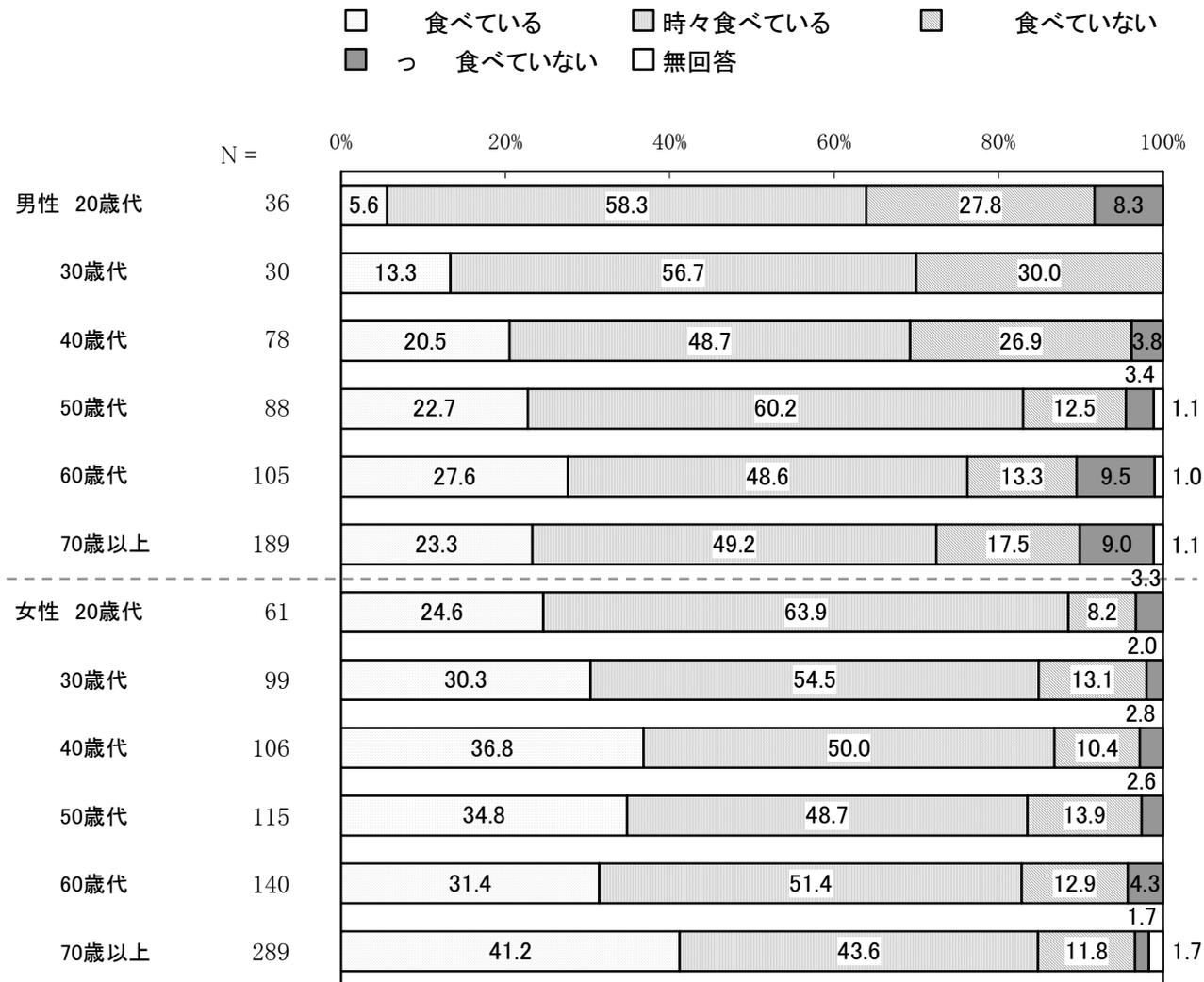
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“食べていない人”の割合が高くなっています。



【性・年代別】

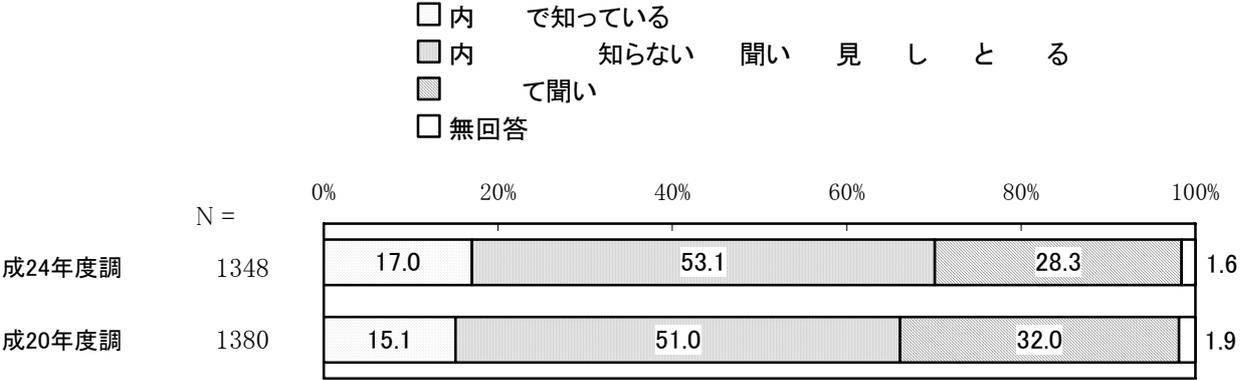
性・年代別でみると、他に比べ、女性の70歳以上で「必ず食べている」の割合が高く、約4割となっています。また、男性の60歳代、70歳以上で「まったく食べていない」の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、「食事バランスガイド」を知っていますか。(は1つだけ)

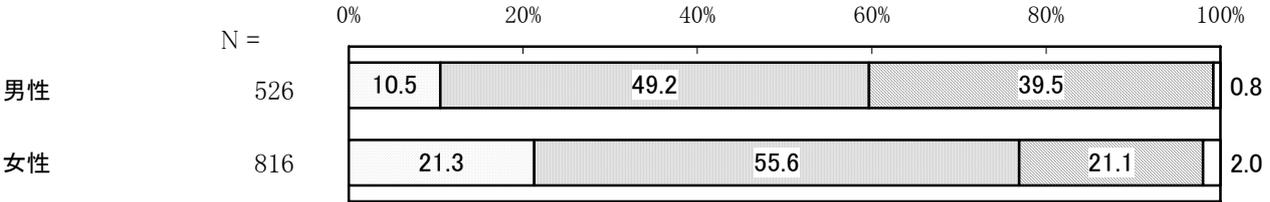
「内容はあまり知らないが、聞いたり見たりしたことがある」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「はじめて聞いた」の割合が 28.3%、「内容まで知っている」の割合が 17.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



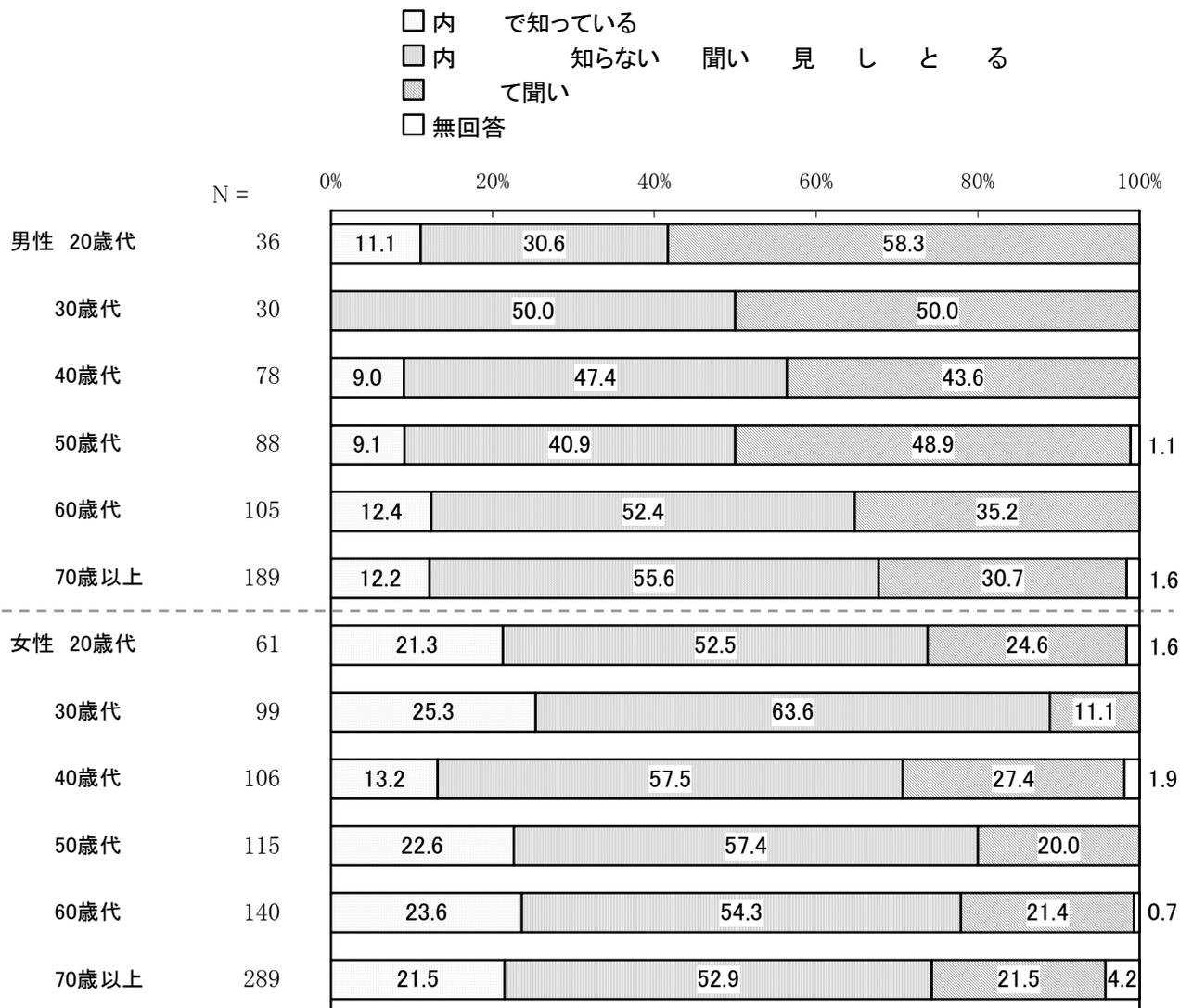
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「内容まで知っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「はじめて聞いた」の割合が高くなっています。



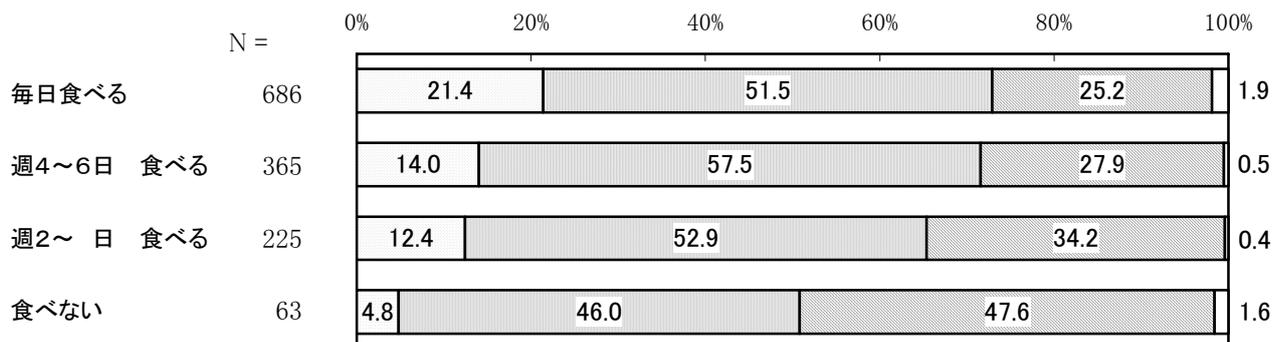
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代～50歳代で「はじめて聞いた」の割合が高く、4割を超えています。



【主食・主菜・副菜のそろった食事状況別（問18）×（問13）】

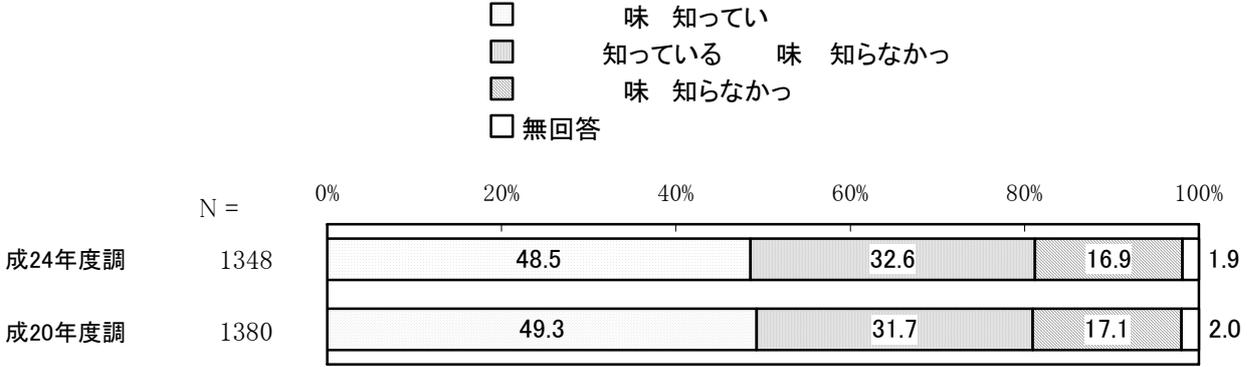
主食・主菜・副菜のそろった食事状況別でみると、食べる日数が増えるほど「内容まで知っている」の割合が高くなっています。



問 19 あなたは、「食育」という言葉を知っていましたか。(は1つだけ)

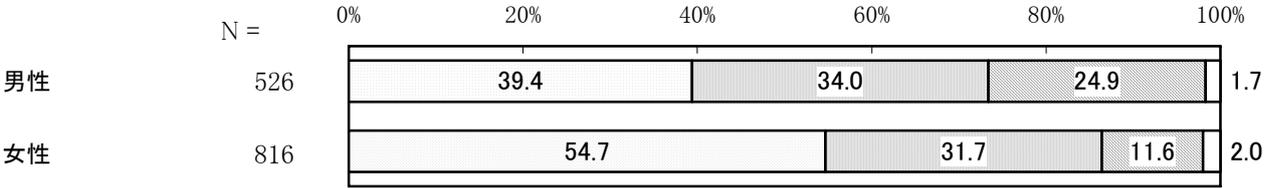
「言葉も意味も知っていた」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が 32.6%、「言葉も意味も知らなかった」の割合が 16.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

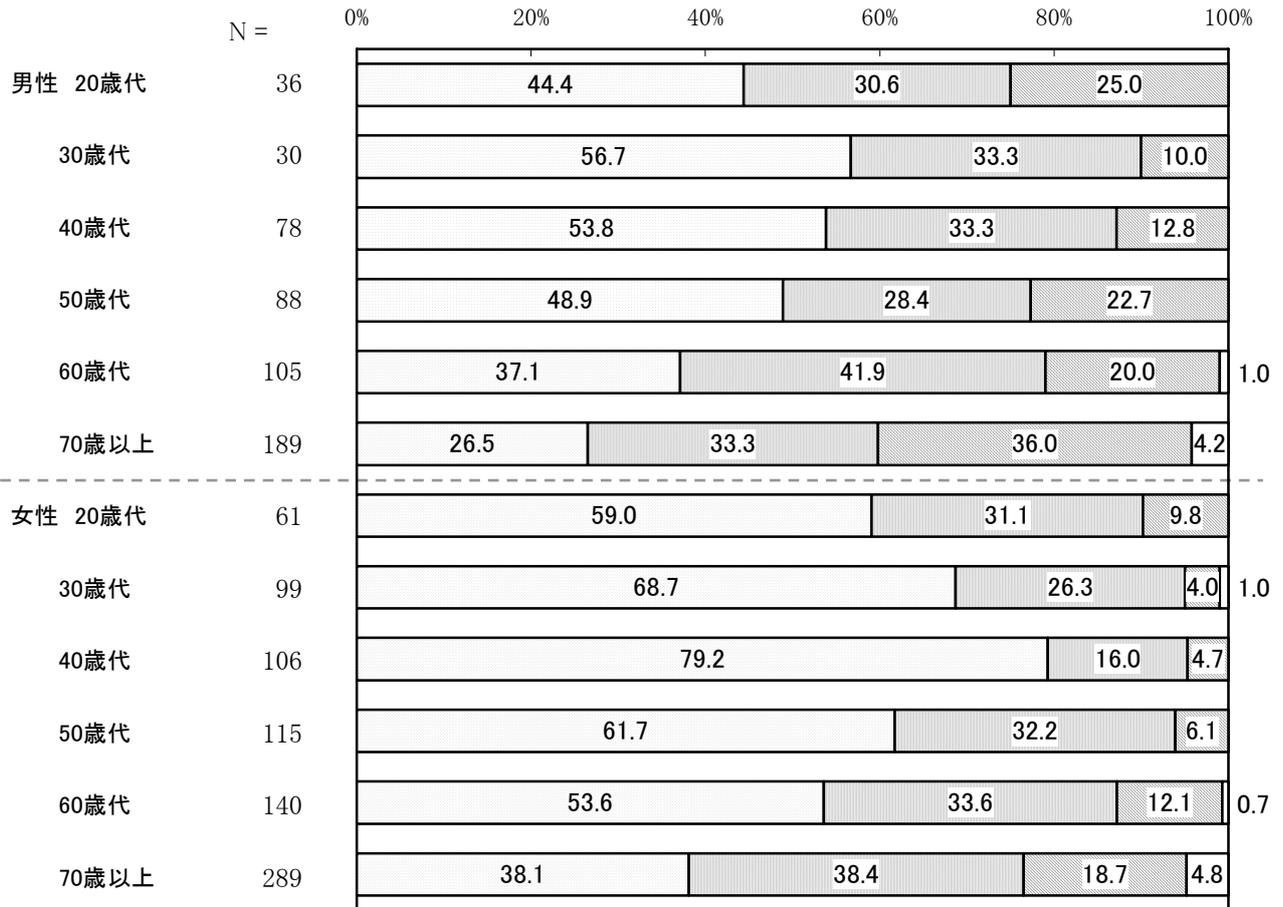
性別でみると、男性に比べ、女性で「言葉も意味も知っていた」の割合が高く、5割を超えています。



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の30歳代～50歳代で「言葉も意味も知っていた」の割合が高く、6割を超えています。

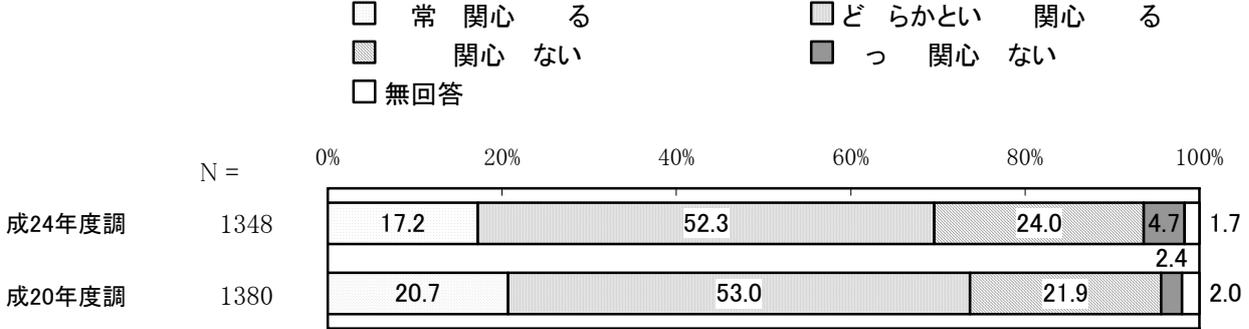
- 味 知ってい
- 知っている 味 知らなかつ
- 味 知らなかつ
- 無回答



問 20 あなたは、「食育」に関心がありますか。(は1つだけ)

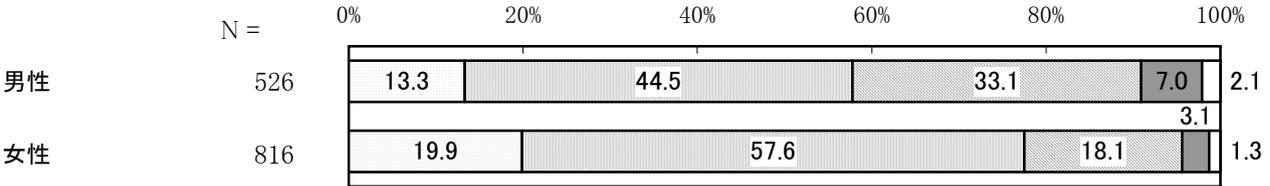
「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある人”の割合が69.5%、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」をあわせた“関心がない人”の割合が28.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

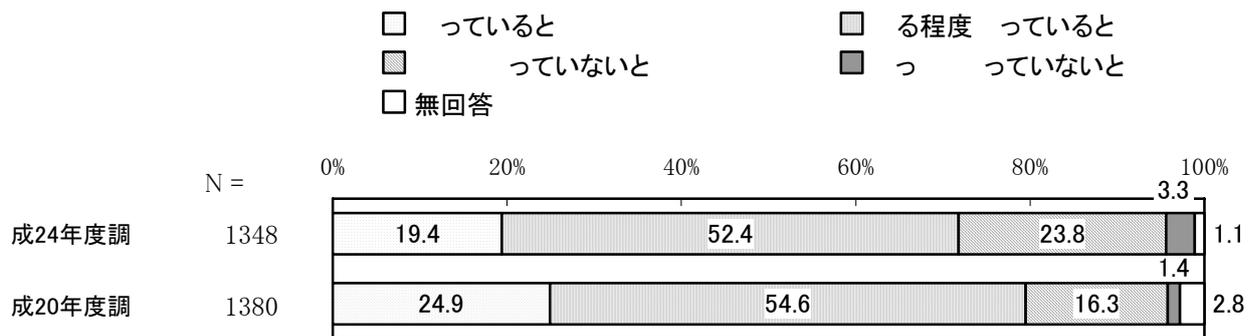
性別でみると、男性に比べ、女性で“関心がある人”の割合が高く、約8割となっています。



問 21 あなたは、食品の安全性に関してどの程度知識を持っていると思いますか。
(は1つだけ)

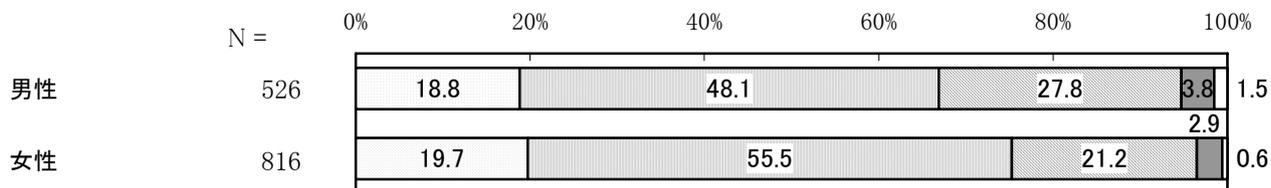
「持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」をあわせた“知識を持っていると思う人”の割合が71.8%、「あまり持っていないと思う」と「まったく持っていないと思う」をあわせた“知識を持っていないと思う人”の割合が27.1%となっています。

前回調査と比較すると、“知識を持っていないと思う人”の割合が9.4ポイント増加しています。



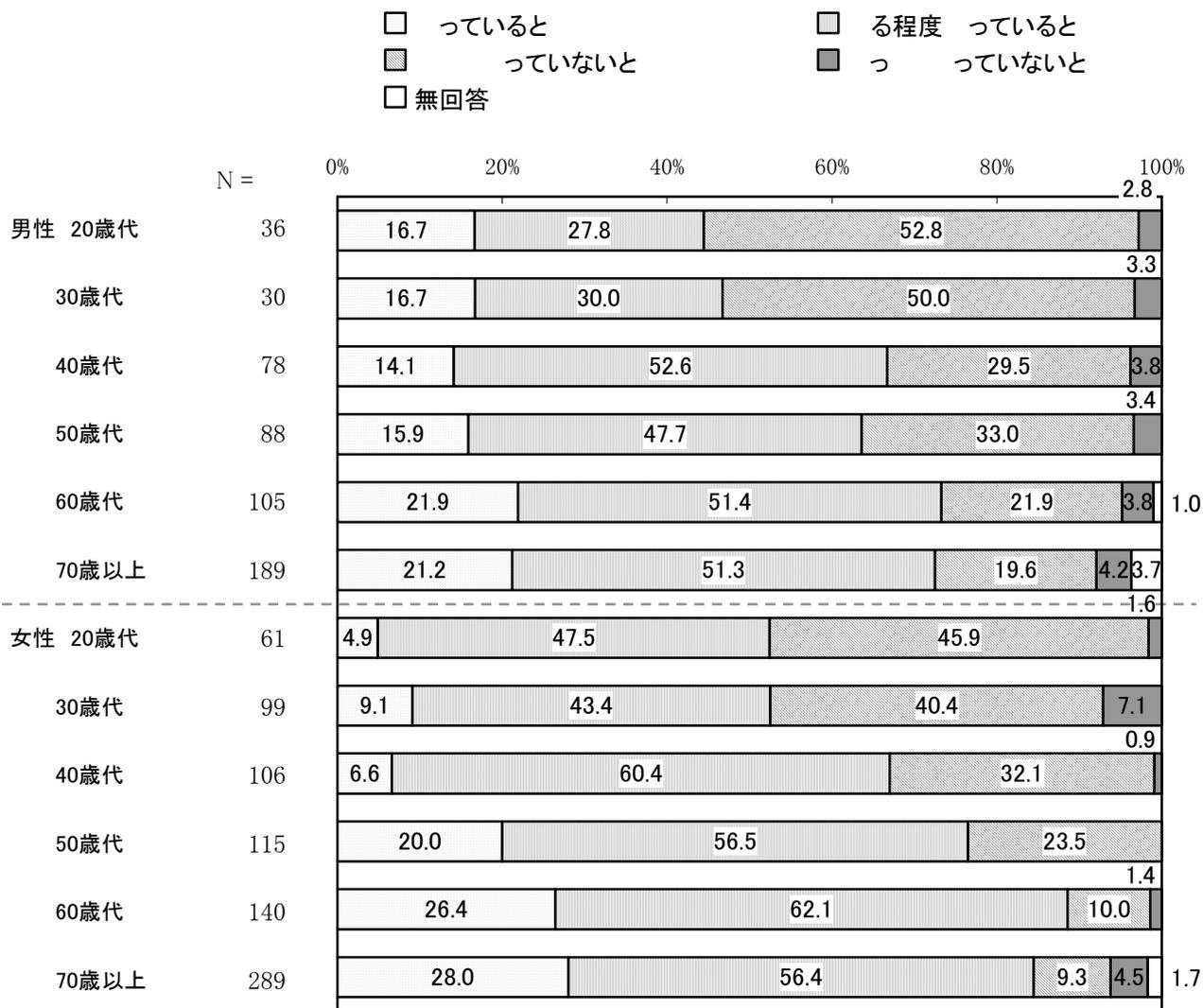
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“知識を持っていると思う人”の割合が高く、7割を超えています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性では年代が上がるほど、「持っていると思う」の割合が高くなる傾向がみられます。また、男性の20歳代、30歳代で“知識を持っていないと思う人”の割合が高く、5割を超えています。



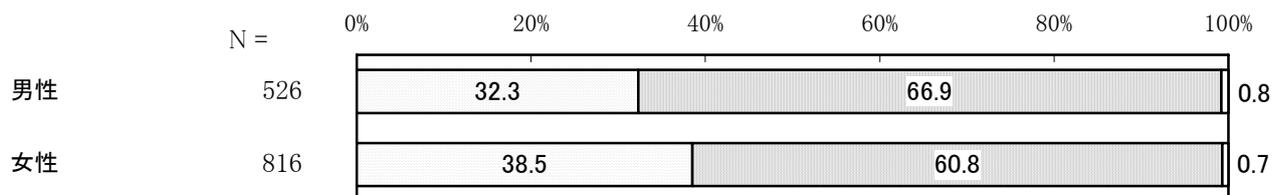
問 22 あなたは、家庭で災害時に備え、非常用食料などを備蓄していますか。
 (は1つだけ)

「はい」の割合が36.0%、「いいえ」の割合が63.2%となっています。
 前回調査と比較すると、「はい」の割合が9.3ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。

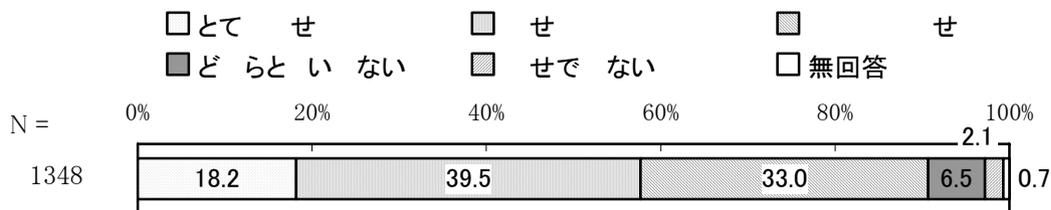


3 健康づくりについて

《健康全般について》

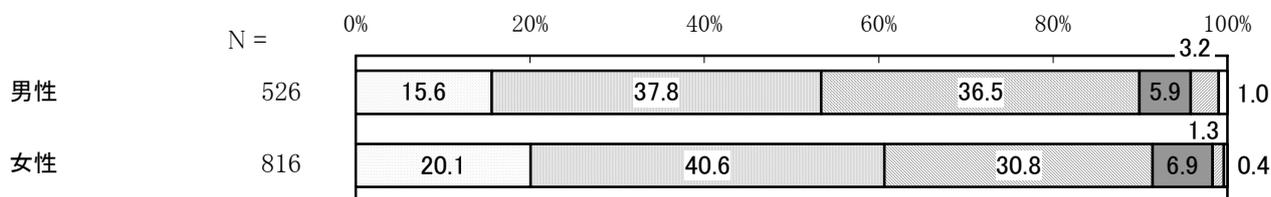
問 23 現在、あなたは幸せですか。() は1つだけ)

「幸せ」の割合が39.5%と最も高く、次いで「まあまあ幸せ」の割合が33.0%、「とても幸せ」の割合が18.2%となっています。



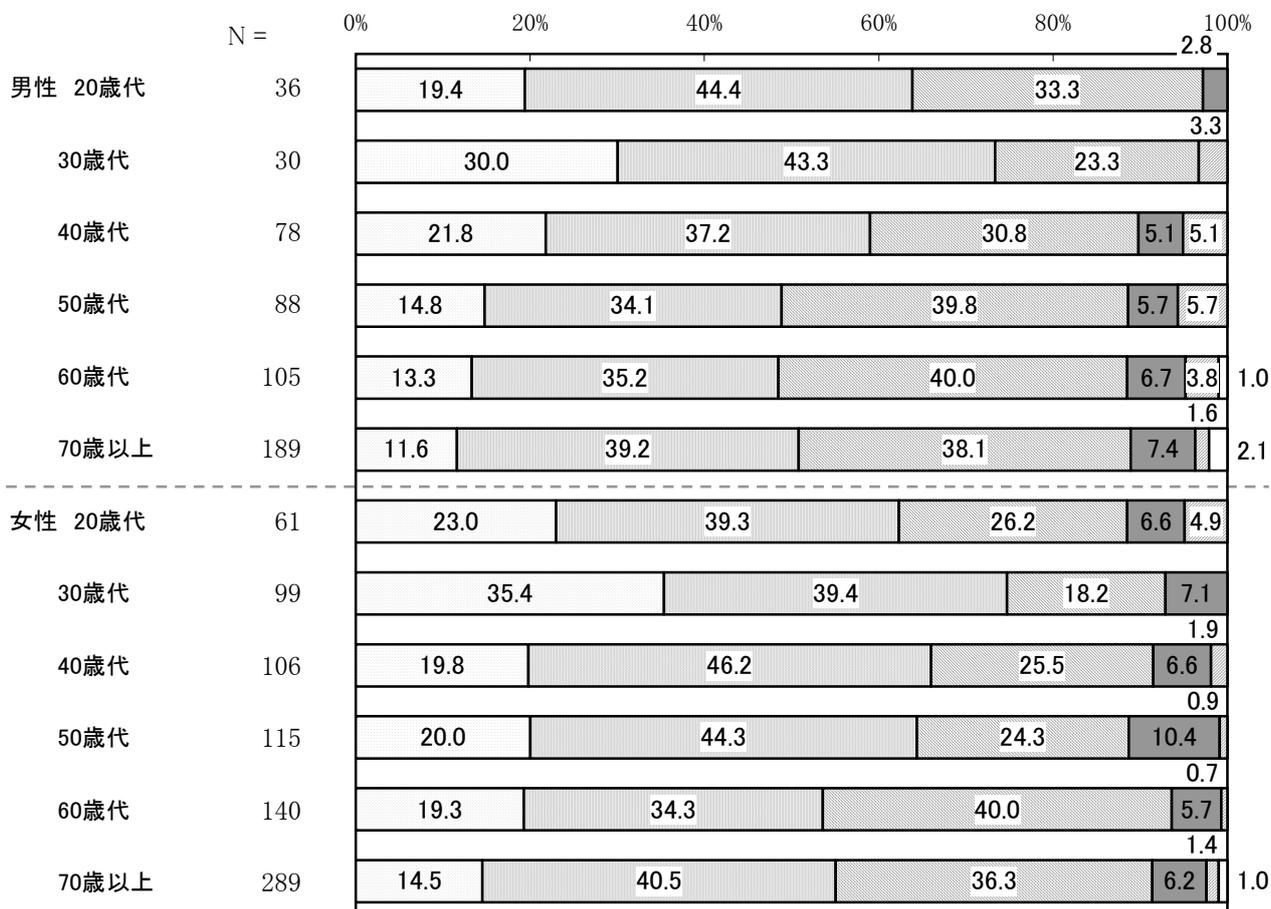
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「まあまあ幸せ」の割合が高くなっています。



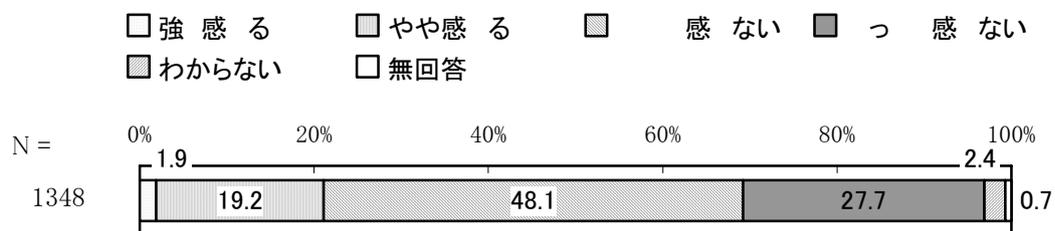
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに30歳代で「とても幸せ」の割合が高く、3割を超えています。



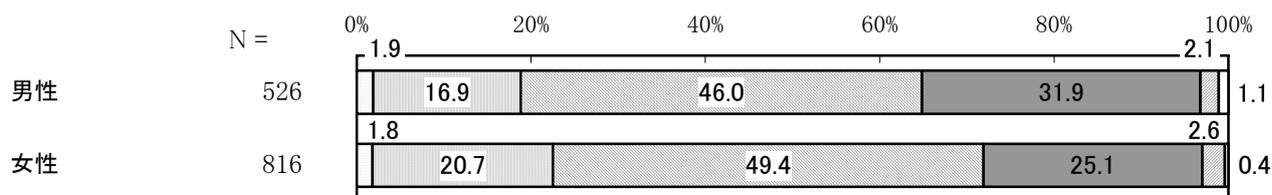
問 24 あなたは、日常生活において孤立感を感じていますか。(は1つだけ)

「強く感じる」と「やや感じる」をあわせた“孤立感を感じる人”の割合が21.1%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“孤立感を感じない人”の割合が75.8%となっています。



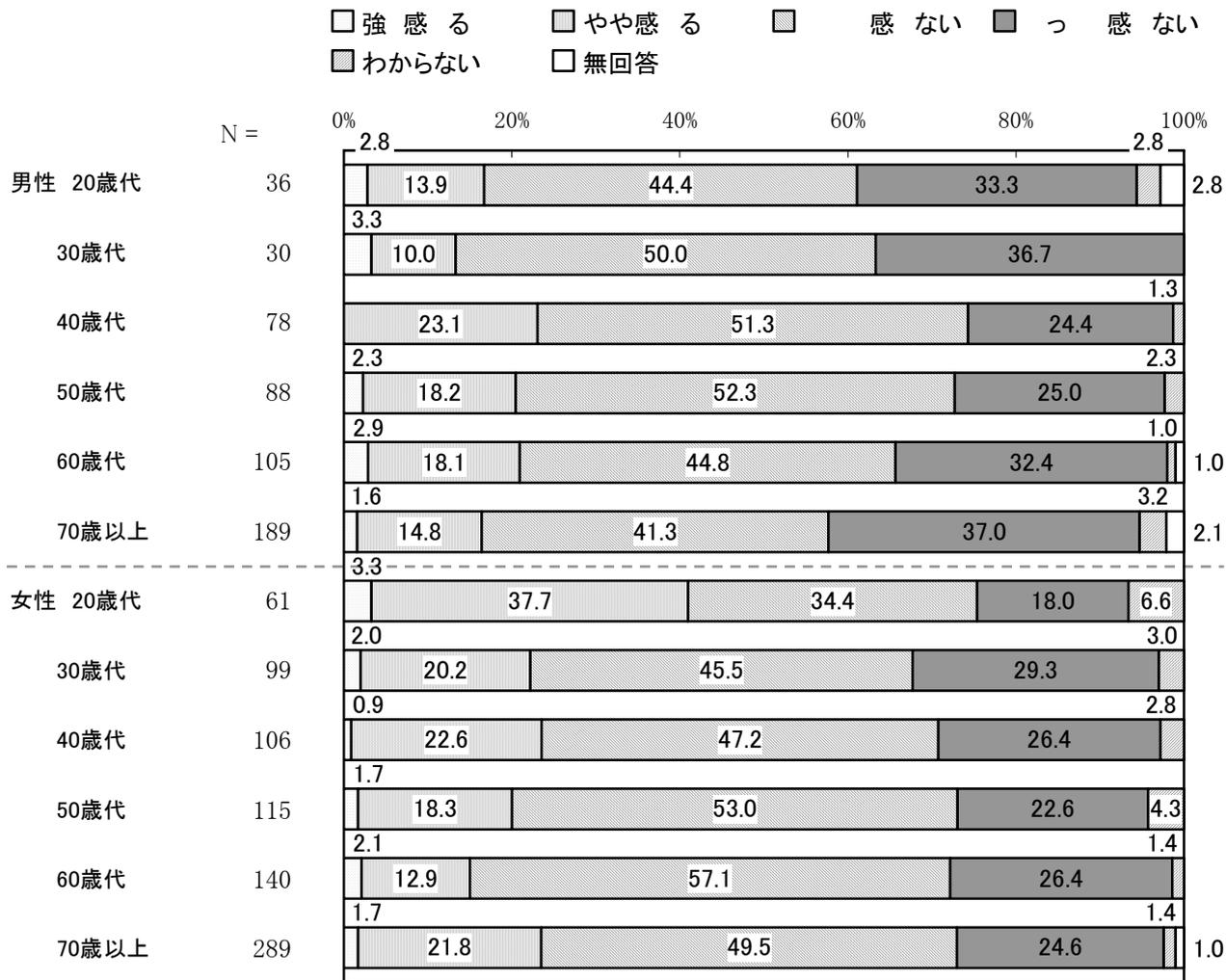
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「まったく感じない」の割合が高くなっています。



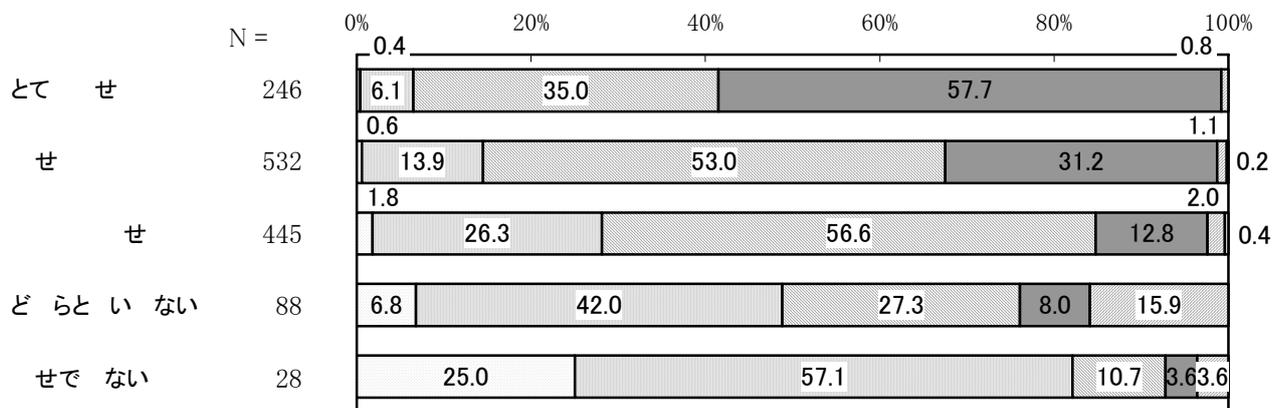
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性の20歳代で「やや感じる」の割合が高く、3割を超えています。



【幸福感別（問24）×（問23）】

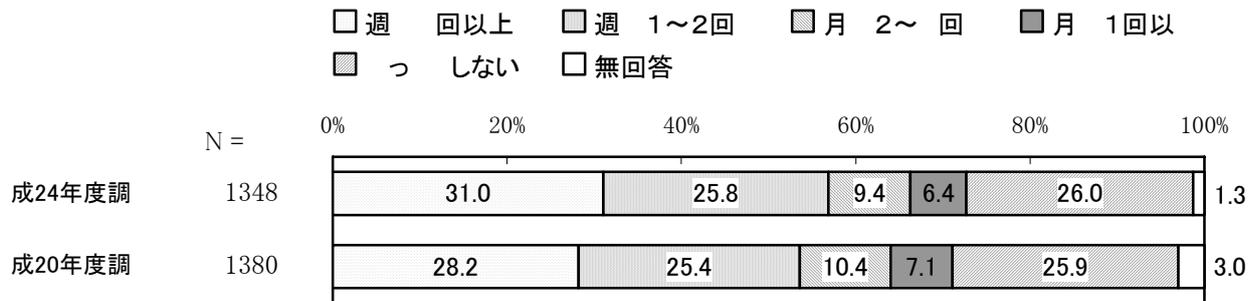
幸福感別でみると、幸福感が高くなるほど「まったく感じない」の割合が高くなる傾向がみられます。



《運動と休養について》

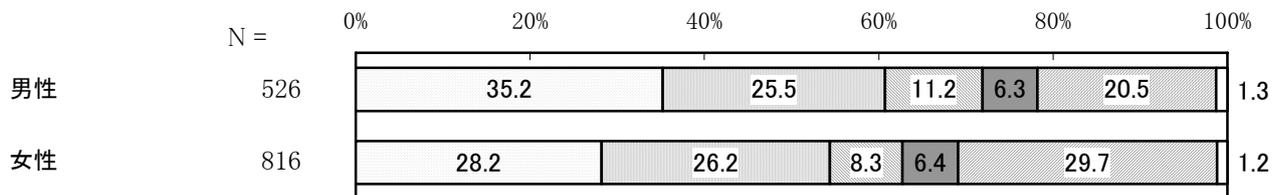
問 25 あなたは、運動（1日に1回30分以上のウォーキング，ジョギング，ゲートボール，体操など）をどのくらい行っていますか。（ は1つだけ）

「週に3回以上」の割合が31.0%と最も高く、次いで「まったくしない」の割合が26.0%。
 「週に1～2回」の割合が25.8%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



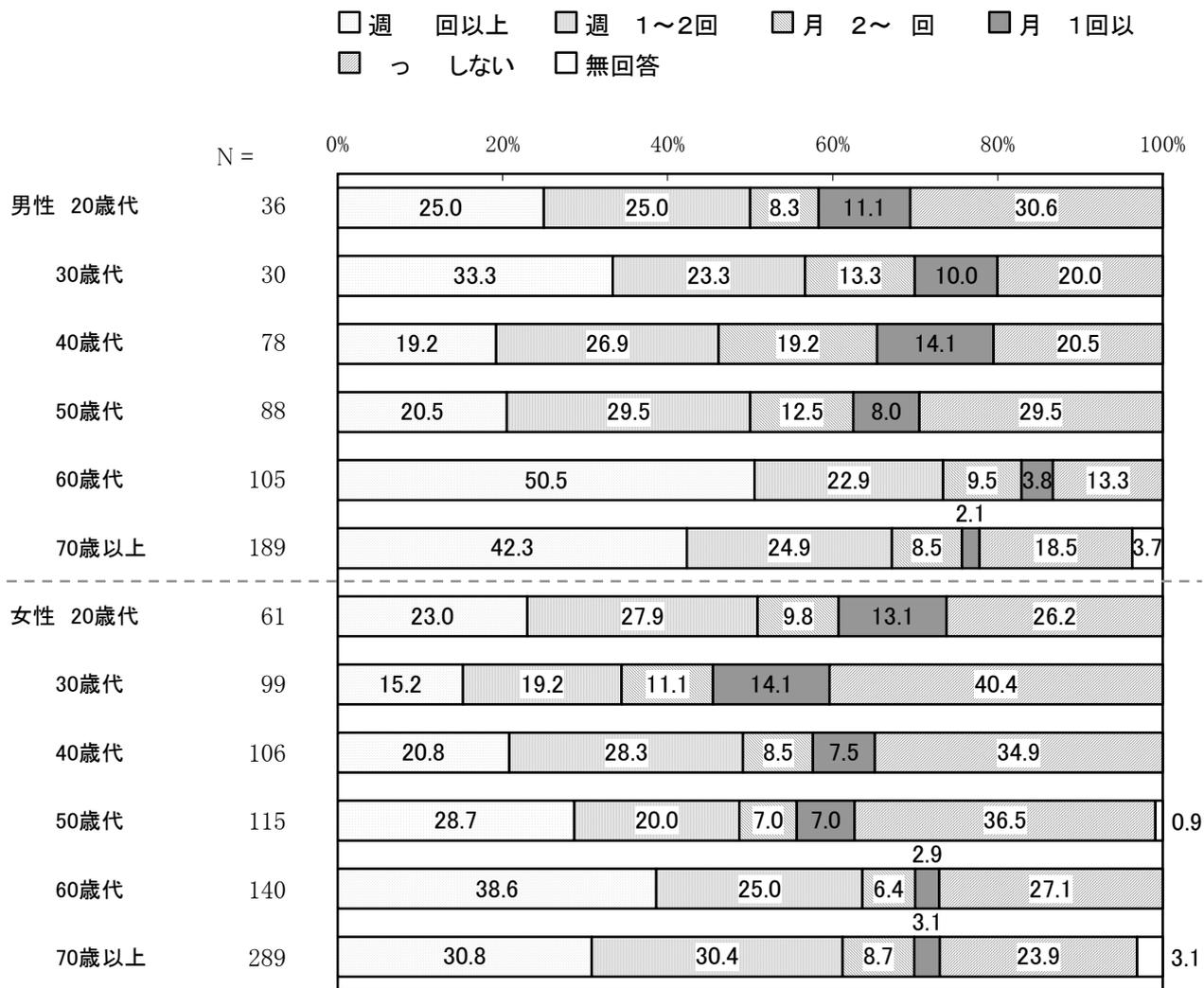
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週に3回以上」の割合が高く、3割を超えています。



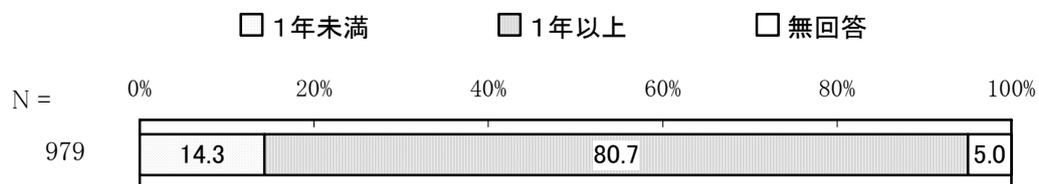
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の60歳代以上で「週に3回以上」の割合が高く、4割を超えています。また、男性の40歳代で「月に2~3回」の割合が高くなっています。一方、女性の30歳代で「まったくしない」の割合が高く、約4割となっています。



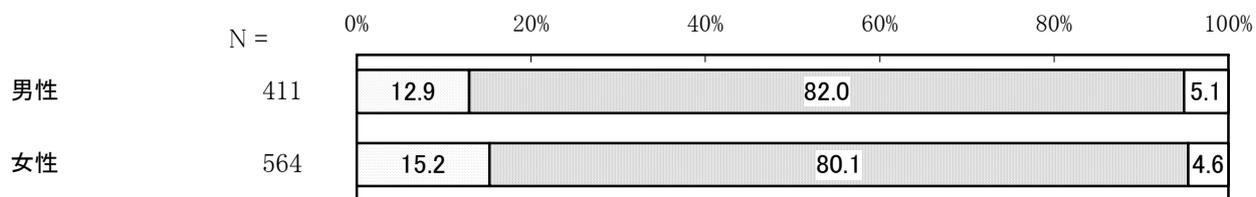
問 25-1 (問 25 で「1 . 週に 3 回以上」「2 . 週に 1 ~ 2 回」「3 . 月に 2 ~ 3 回」「4 . 月に 1 回以下」に つけた方におたずねします)
 上記の運動はどのくらい続けていますか。(は 1 つだけ)

「1 年未満」の割合が 14.3%, 「1 年以上」の割合が 80.7%となっています。



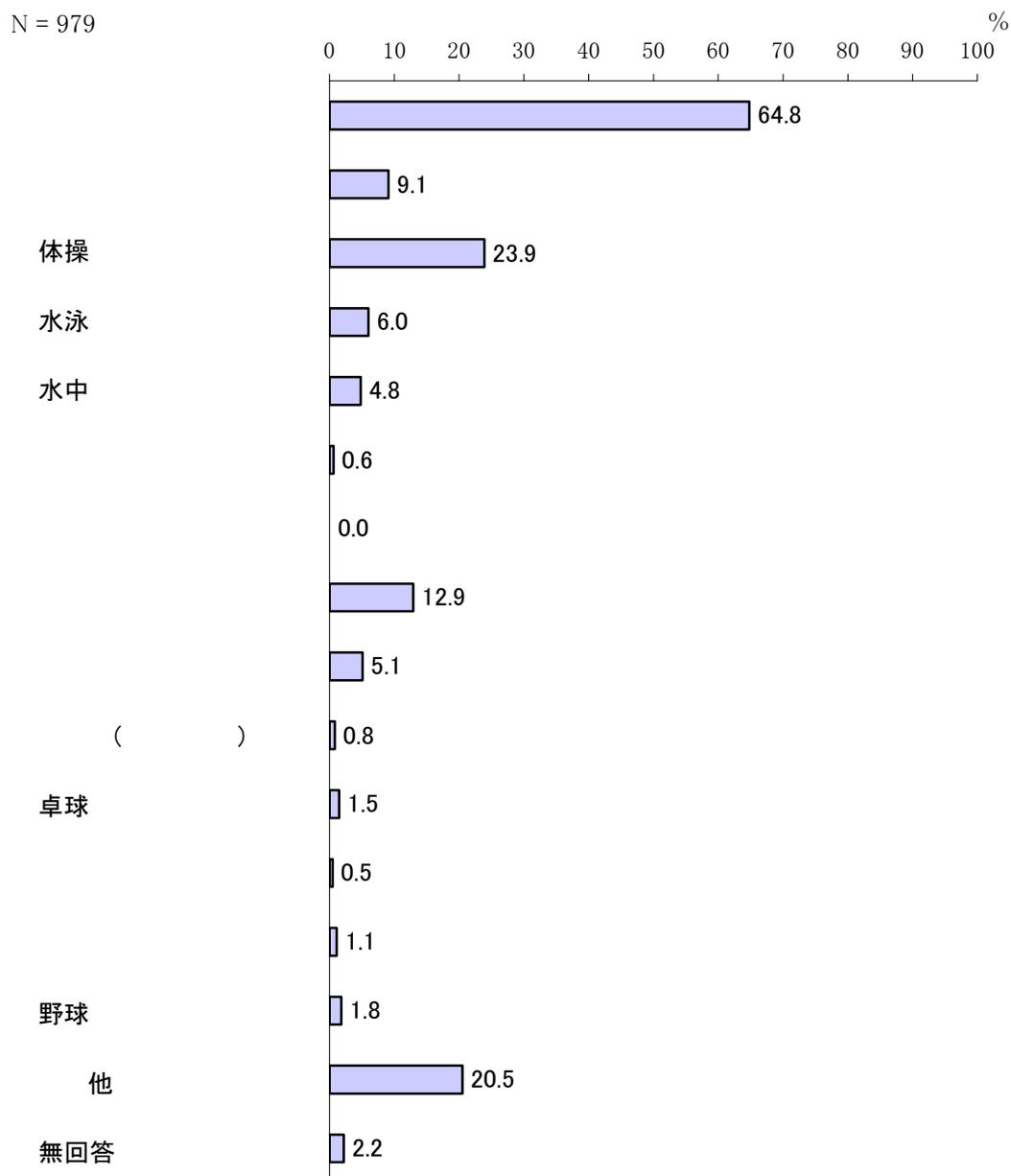
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



どのような運動をしていますか。(あてはまるものすべてに)

「ウォーキング」の割合が64.8%と最も高く、次いで「体操」の割合が23.9%、「ゴルフ」の割合が12.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ゴルフ」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「体操」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ウォーキング	ジョギング	体操	水泳	水中ウォーキング	グラウンドゴルフ	ゲートボール	ゴルフ
男性	411	66.7	12.2	16.5	6.1	4.4	—	—	21.4
女性	564	63.5	6.9	29.3	6.0	5.1	1.1	—	6.7

区分	テニス	バレー(ミニバレー)	卓球	バドミントン	サッカー	野球	その他	無回答
男性	5.6	0.2	1.7	0.2	2.7	4.1	18.5	1.9
女性	4.8	1.2	1.4	0.7	—	0.2	22.2	2.3

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代で「ジョギング」の割合が高くなっています。また、男性の20歳代、30歳代で「サッカー」「野球」の割合が高くなっています。男性の60歳代で「水泳」の割合が高くなっています。女性の70歳以上で「体操」の割合が高く、4割を超えています。

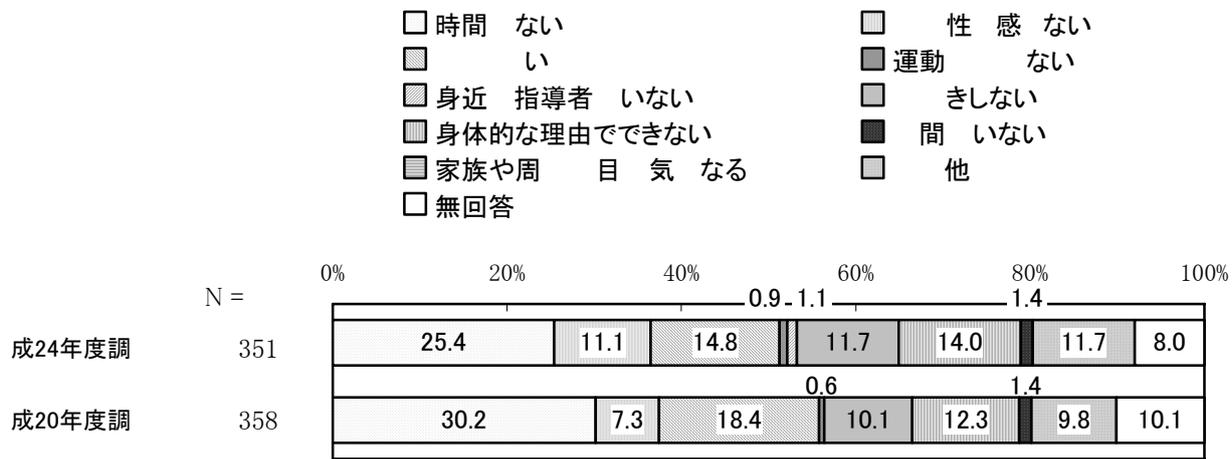
単位：%

区分	有効回答数(件)	ウォーキング	ジョギング	体操	水泳	水中ウォーキング	グラウンドゴルフ	ゲートボール	ゴルフ
男性 20歳代	25	32.0	24.0	4.0	8.0	—	—	—	20.0
30歳代	24	50.0	16.7	4.2	—	—	—	—	4.2
40歳代	62	61.3	12.9	4.8	3.2	3.2	—	—	21.0
50歳代	62	72.6	17.7	11.3	3.2	4.8	—	—	24.2
60歳代	91	72.5	9.9	15.4	15.4	6.6	—	—	26.4
70歳以上	147	71.4	8.2	28.6	3.4	4.8	—	—	20.4
女性 20歳代	45	57.8	15.6	—	4.4	2.2	—	—	6.7
30歳代	59	64.4	10.2	11.9	5.1	3.4	—	—	5.1
40歳代	69	56.5	13.0	17.4	5.8	—	—	—	5.8
50歳代	72	58.3	2.8	22.2	6.9	4.2	—	—	13.9
60歳代	102	75.5	4.9	31.4	9.8	8.8	1.0	—	8.8
70歳以上	211	61.6	4.7	46.0	4.7	6.6	2.4	—	4.3

区分	テニス	バレー(ミニバレー)	卓球	バドミントン	サッカー	野球	その他	無回答
男性 20歳代	4.0	4.0	—	4.0	24.0	12.0	32.0	4.0
30歳代	8.3	—	—	—	12.5	16.7	25.0	4.2
40歳代	8.1	—	—	—	1.6	4.8	21.0	4.8
50歳代	9.7	—	1.6	—	—	6.5	11.3	—
60歳代	5.5	—	1.1	—	1.1	—	20.9	1.1
70歳以上	2.7	—	3.4	—	—	2.0	15.6	1.4
女性 20歳代	11.1	4.4	—	—	—	2.2	26.7	6.7
30歳代	6.8	5.1	—	—	—	—	23.7	3.4
40歳代	7.2	2.9	1.4	—	—	—	21.7	1.4
50歳代	9.7	—	—	4.2	—	—	29.2	2.8
60歳代	1.0	—	2.9	—	—	—	23.5	2.0
70歳以上	2.4	—	1.9	0.5	—	—	17.1	1.4

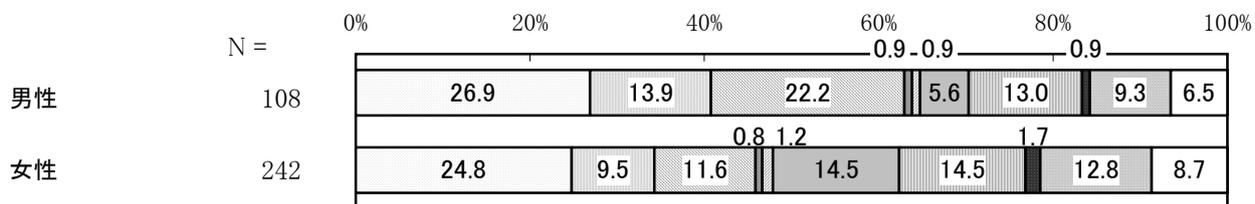
問 25-2 (問 25 で「5 . まったくしない」に つけた方におたずねします)
 運動をしない理由はどのようなことですか。(は1つだけ)

「時間がない」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「面倒くさい」の割合が 14.8%, 「身体的な理由でできない」の割合が 14.0%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

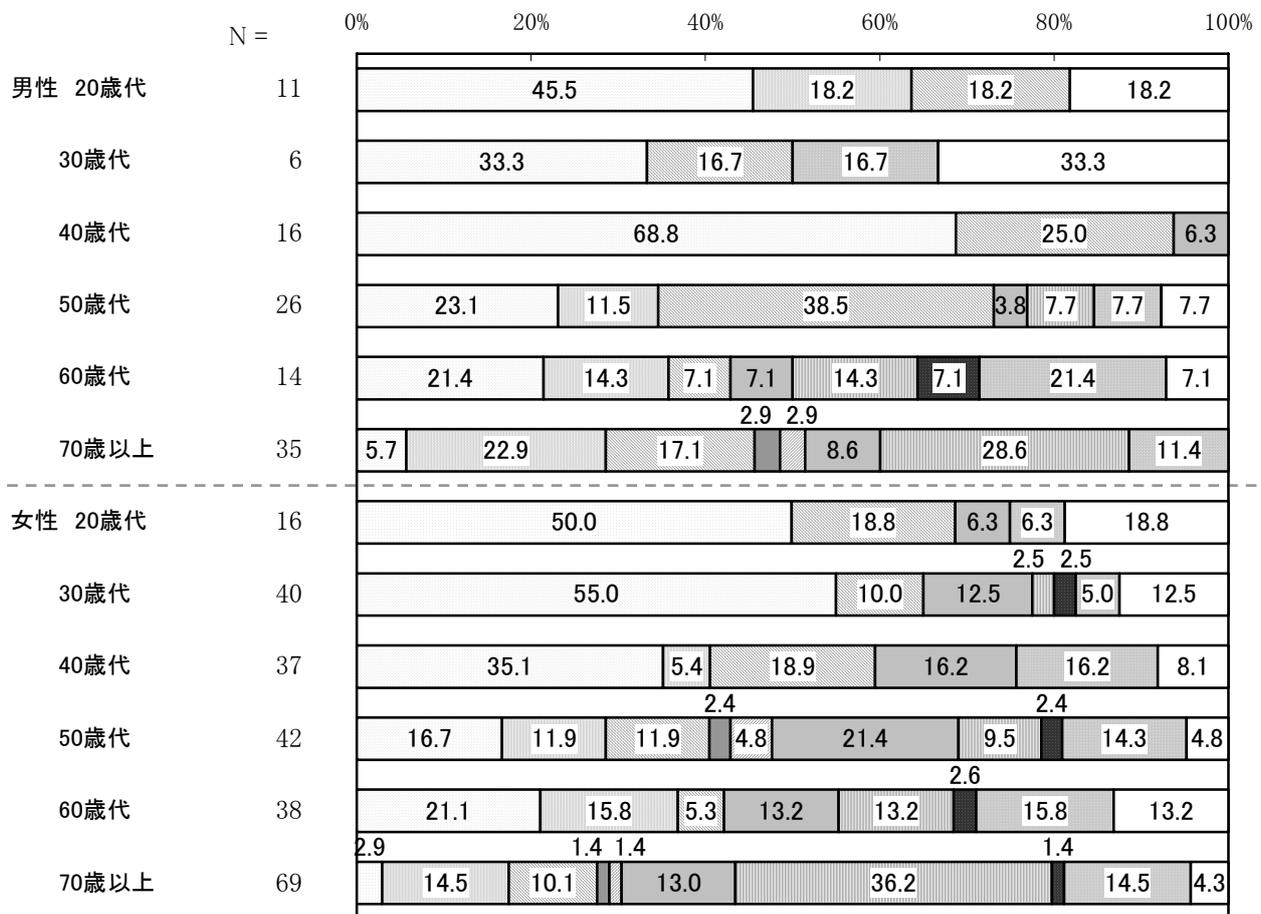
性別でみると、女性に比べ、男性で「面倒くさい」の割合が高く、2割を超えています。



【性・年代別】

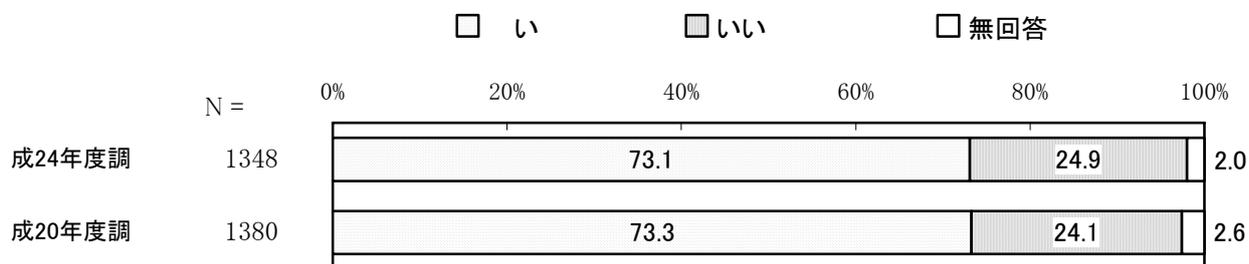
性・年代別でみると、他に比べ、男性の40歳代、女性の20歳代、30歳代で「時間がない」の割合が高く、5割を超えています。また、男性の50歳代で「面倒くさい」の割合が高く、約4割となっています。女性の50歳代で「長続きしない」の割合が高くなっています。男女ともに70歳以上で「身体的な理由でできない」の割合が高く、2割を超えています。

- 時間 ない
- 性 感 ない
- い
- 運 動 ない
- 身 近 指 導 者 い ない
- き し 不 満
- 身 体 的 な 理 由 で で き 不 満
- 間 い 不 満
- 家 族 や 周 目 気 不 満
- 他
- 無 回 答



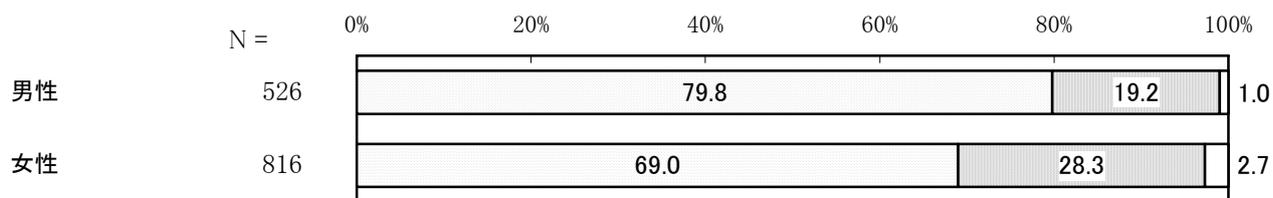
問 26 あなたは、身体を動かすことや運動することが好きですか。(は1つだけ)

「はい」の割合が73.1%、「いいえ」の割合が24.9%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



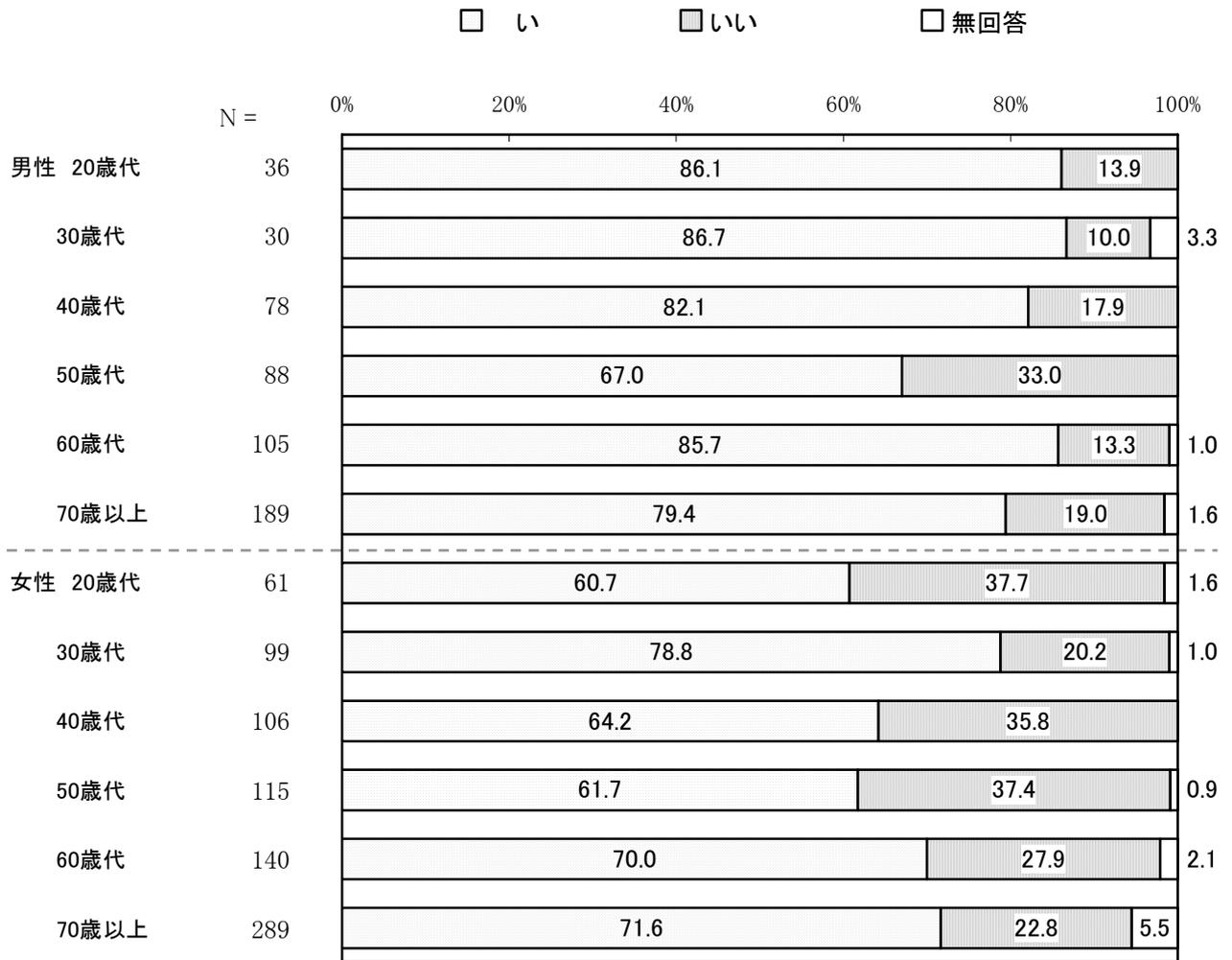
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約8割となっています。



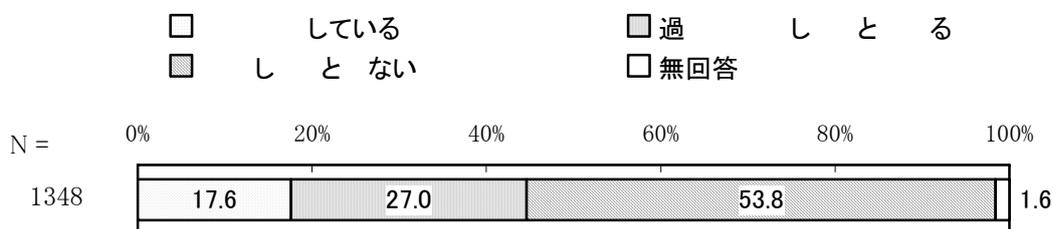
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の50歳代、女性の20歳代、40歳代、50歳代で「いい」の割合が高く、3割を超えています。



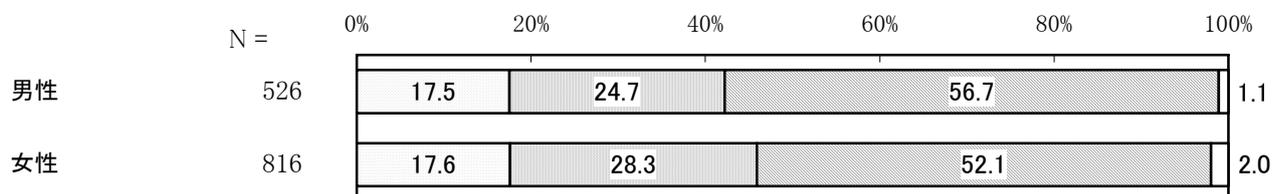
問 27 仕事以外で何か地域の活動に参加していますか。(は1つだけ)

「参加したことがない」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が 27.0%、「現在参加している」の割合が 17.6%となっています。



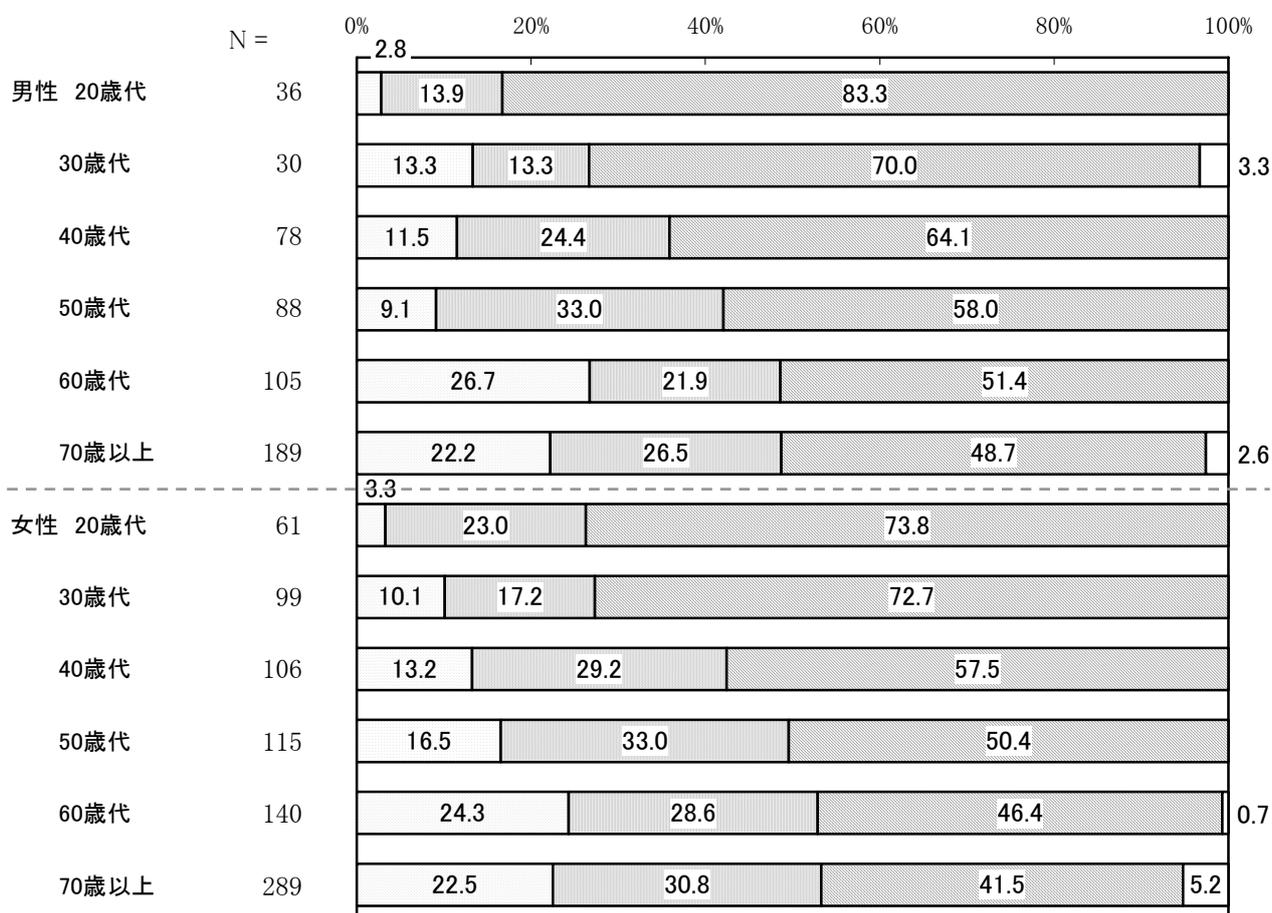
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

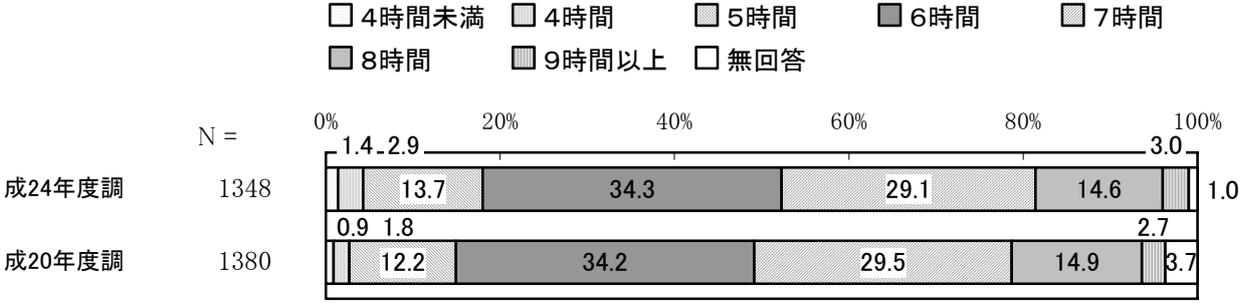
性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに 20 歳代、30 歳代で「参加したことがない」の割合が高く、7割を超えています。



問 28 あなたの1日の平均睡眠時間は何時間ですか。

「6時間」の割合が34.3%と最も高く、次いで「7時間」の割合が29.1%、「8時間」の割合が14.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



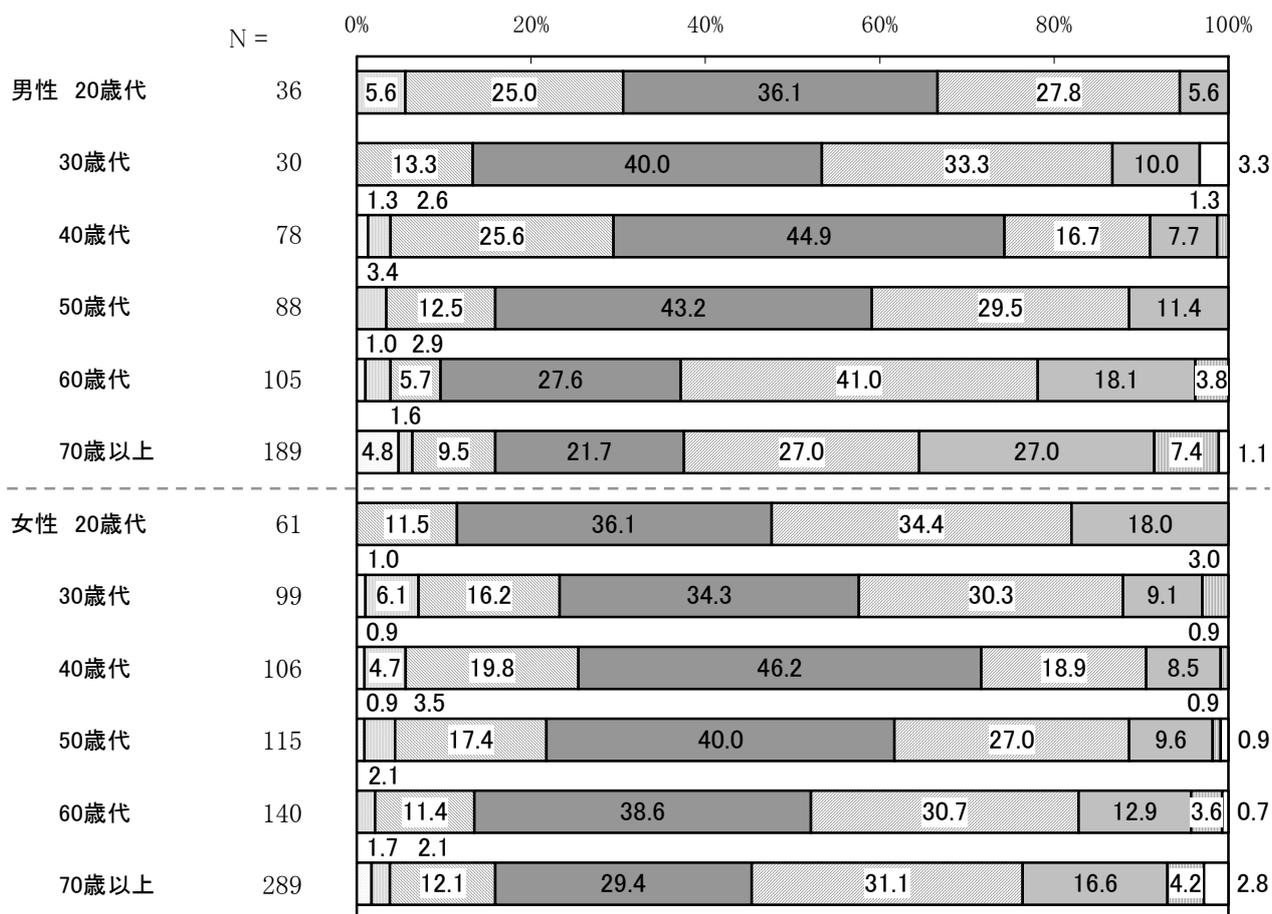
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

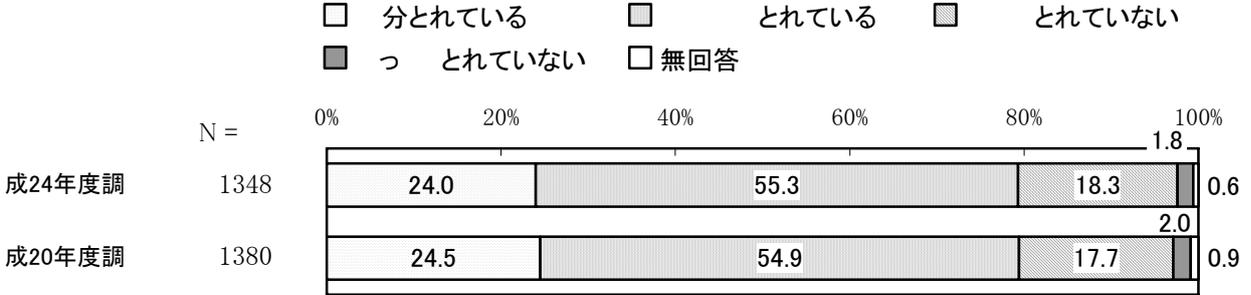
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代～50歳代、女性の40歳代、50歳代で「6時間」の割合が高く、4割を超えています。また、男性の60歳代で「7時間」の割合が高く、約4割となっています。男性の70歳以上で「8時間」の割合が高く、2割を超えています。



問 29 あなたは、普段の睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(は1つだけ)

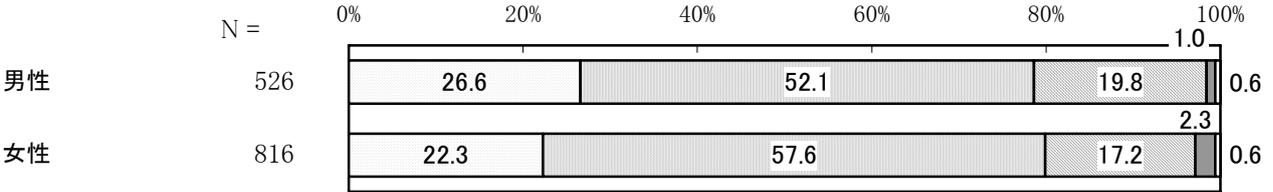
「十分とれている」と「まあまあとれている」をあわせた“睡眠がとれている人”の割合が79.3%、「あまりとれていない」と「まったくとれていない」をあわせた“睡眠がとれていない人”の割合が20.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



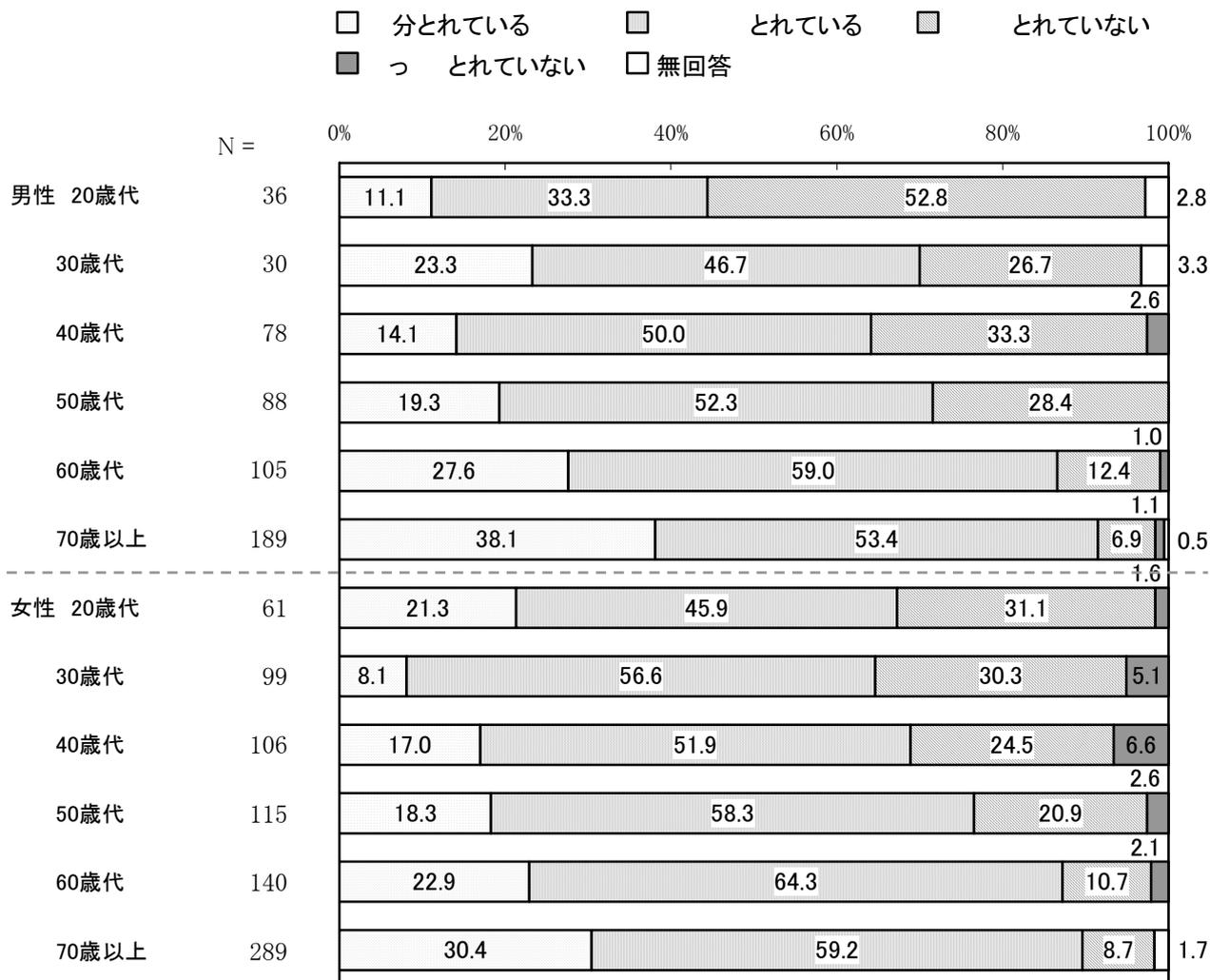
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「まあまあとれている」の割合が低くなっています。



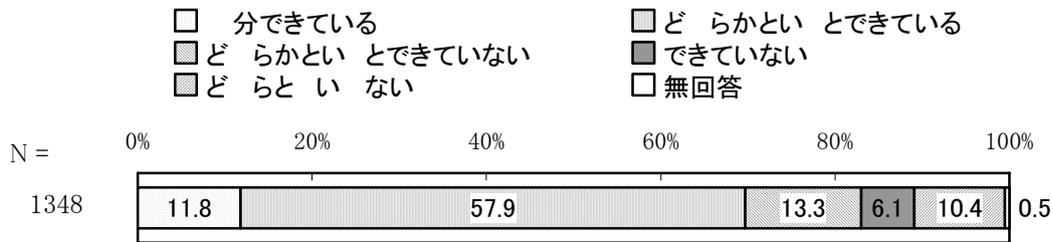
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男女ともに70歳以上で「十分とれている」の割合が高く、3割を超えています。一方、男性の20歳代、40歳代、女性の20歳代、30歳代で「あまりとれていない」の割合が高く、3割を超えています。



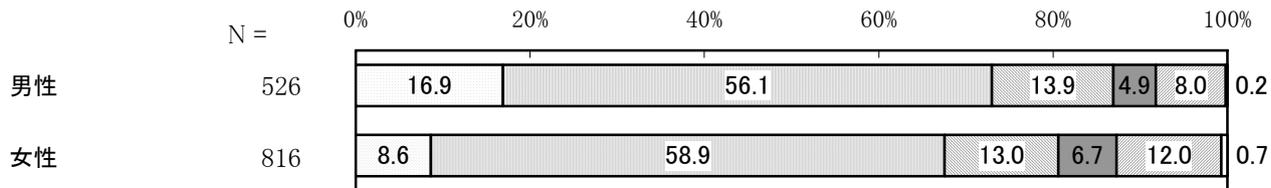
問 30 あなたは、ストレスや悩みなどにうまく対処できていると思いますか。
 (は1つだけ)

「十分できている」と「どちらかというのできている」をあわせた“対処できている人”の割合が69.7%、「どちらかというのできていない」と「できていない」をあわせた“対処できていない人”の割合が19.4%、「どちらともいえない」の割合が10.4%となっています。



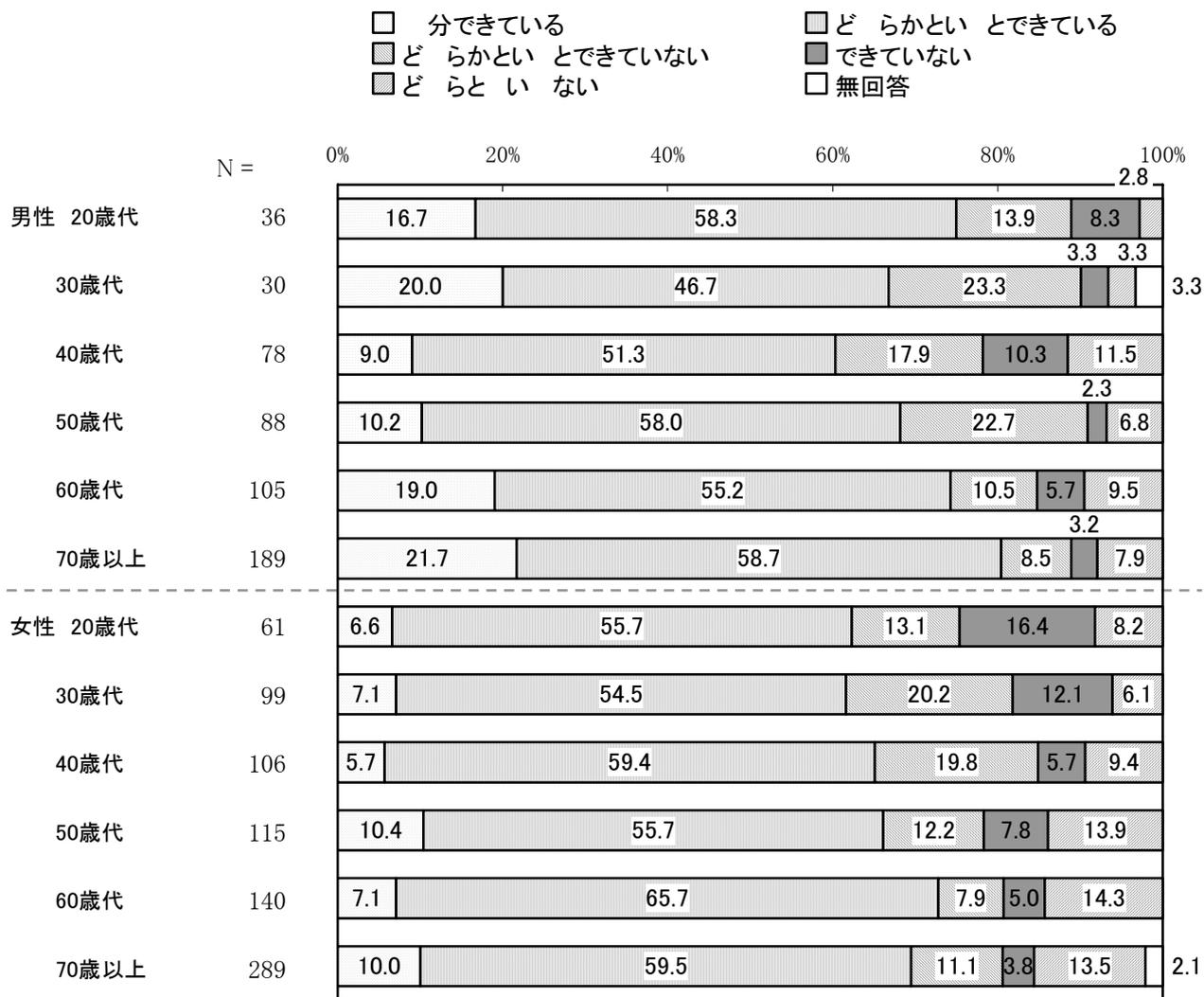
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“対処できている人”の割合が高く、7割を超えています。



【性・年代別】

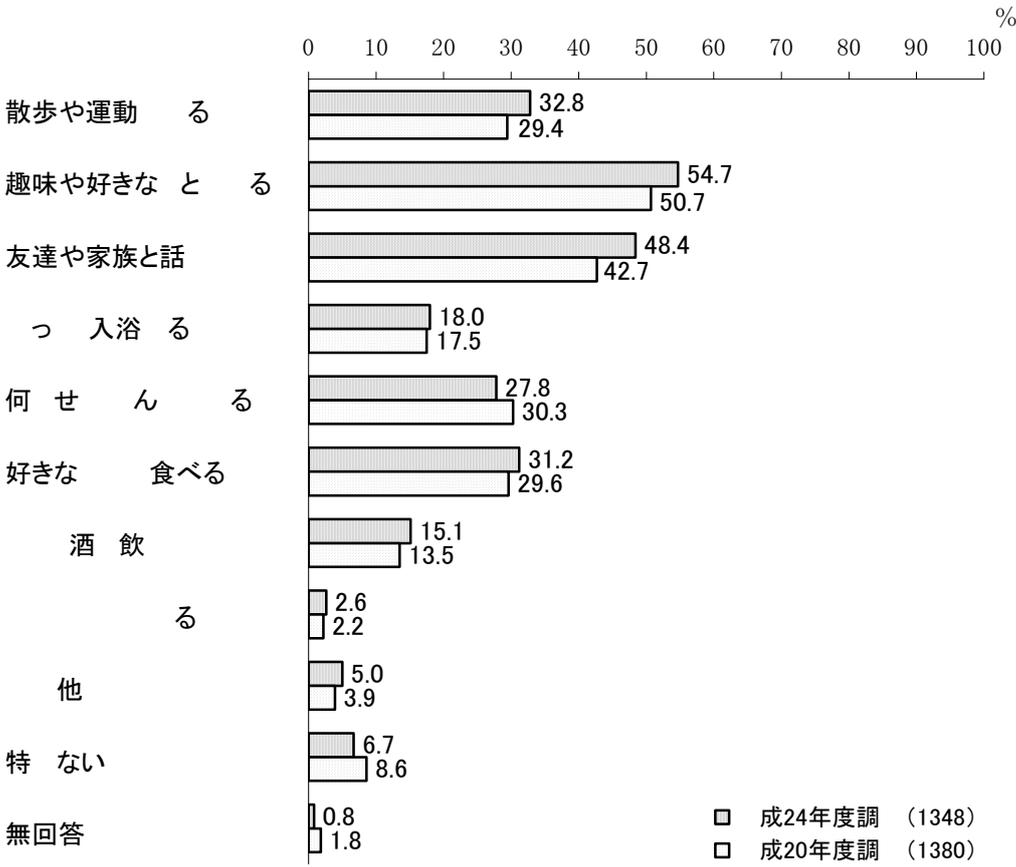
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上で“対処できている人”の割合が高く、約8割となっています。一方、女性の30歳代で“対処できていない人”の割合が高く、3割を超えています。



問 31 あなたは、自分でストレスを解消するためにしていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに)

「趣味や好きなことをする」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「友達や家族と話す」の割合が 48.4%、「散歩や運動をする」の割合が 32.8%となっています。

前回調査と比較すると、「友達や家族と話す」の割合が 5.7 ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「よくお酒を飲む」「ギャンブルをする」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「友達や家族と話す」「好きなものを食べる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	散歩や運動をする	趣味や好きなことをする	友達や家族と話す	ゆつくり入浴する	何もせずのんびりする	好きなものを食べる	よくお酒を飲む	ギャンブルをする	その他	特にない	無回答
男性	526	37.8	54.6	32.1	16.7	22.8	23.0	27.2	6.1	4.4	7.6	1.1
女性	816	29.5	55.1	59.2	19.0	31.0	36.6	7.4	0.4	5.4	6.0	0.6

【性・年代別】

性・年代別でみると、男女ともに年代が下がるほど「友達や家族と話す」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、男性の40歳代～60歳代で「よくお酒を飲む」の割合が高く、3割を超えています。男性の60歳代以上で「散歩や運動をする」の割合が高くなっています。男性の30歳代、女性の20歳代～40歳代で「好きなものを食べる」の割合が高く、4割を超えています。

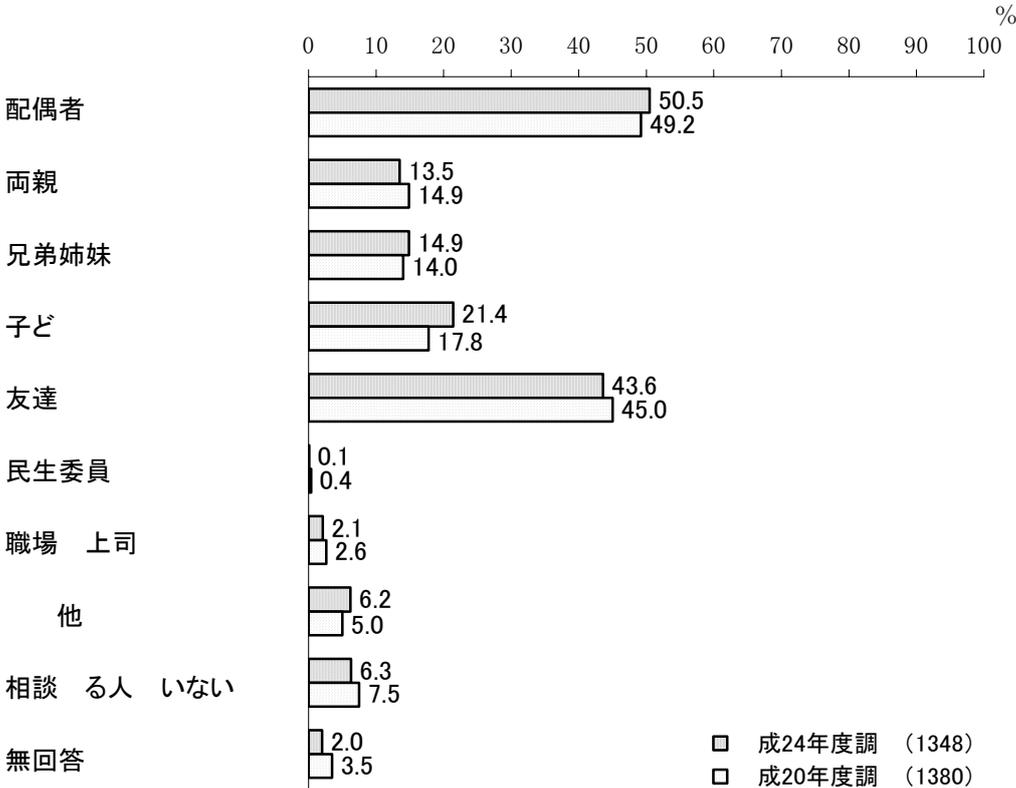
単位：%

区分	有効回答数(件)	散歩や運動をする	趣味や好きなことをする	友達や家族と話す	ゆつくり入浴する	何もせずのんびりする	好きなものを食べる	よくお酒を飲む	ギャンブルをする	その他	特にない	無回答
男性 20歳代	36	27.8	55.6	61.1	8.3	22.2	25.0	11.1	2.8	2.8	8.3	2.8
30歳代	30	26.7	53.3	50.0	16.7	36.7	50.0	20.0	3.3	3.3	3.3	3.3
40歳代	78	25.6	55.1	39.7	12.8	23.1	29.5	41.0	3.8	1.3	3.8	—
50歳代	88	36.4	52.3	27.3	14.8	27.3	25.0	36.4	5.7	2.3	4.5	1.1
60歳代	105	50.5	59.0	23.8	24.8	19.0	24.8	31.4	10.5	5.7	7.6	—
70歳以上	189	40.2	52.9	27.5	16.4	20.6	13.8	19.0	5.8	6.3	11.1	1.6
女性 20歳代	61	11.5	54.1	80.3	13.1	42.6	60.7	21.3	—	9.8	1.6	—
30歳代	99	26.3	49.5	69.7	13.1	28.3	49.5	8.1	—	6.1	2.0	1.0
40歳代	106	23.6	55.7	60.4	18.9	40.6	46.2	10.4	—	4.7	4.7	—
50歳代	115	20.9	59.1	62.6	18.3	34.8	37.4	7.8	0.9	5.2	5.2	—
60歳代	140	39.3	57.1	59.3	19.3	28.6	28.6	9.3	0.7	4.3	6.4	—
70歳以上	289	35.3	54.0	49.1	22.5	25.3	27.7	2.1	0.3	4.8	8.7	1.4

問 32 あなたは、悩んだりストレスを抱えた時に、身近でだれに相談しますか。
 (あてはまるものすべてに)

「配偶者」の割合が50.5%と最も高く、次いで「友達」の割合が43.6%、「子ども」の割合が21.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「配偶者」の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で「両親」「兄弟姉妹」「子ども」「友達」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	配偶者	両親	兄弟姉妹	子ども	友達	民生委員	職場の上司	その他	相談する人がいない	無回答
男性	526	59.7	5.7	4.2	9.7	28.3	0.2	2.9	7.2	9.3	2.5
女性	816	44.9	18.5	21.9	28.9	53.7	0.1	1.6	5.3	4.4	1.7

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、30歳代で「職場の上司」の割合が高くなっています。また、女性の20歳代で「友達」の割合が高く、7割を超えています。女性の20歳代、30歳代で「両親」の割合が高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	配偶者	両親	兄弟姉妹	子ども	友達	民生委員	職場の上司	その他	相談する人がいない	無回答
男性 20歳代	36	16.7	33.3	2.8	—	69.4	—	11.1	13.9	—	2.8
30歳代	30	40.0	26.7	—	—	43.3	—	13.3	13.3	10.0	3.3
40歳代	78	66.7	7.7	—	1.3	30.8	—	7.7	3.8	12.8	—
50歳代	88	58.0	4.5	3.4	6.8	25.0	—	1.1	8.0	11.4	1.1
60歳代	105	62.9	—	7.6	7.6	35.2	—	—	4.8	11.4	—
70歳以上	189	67.2	—	5.3	19.0	14.8	0.5	—	7.4	7.4	5.3
女性 20歳代	61	24.6	55.7	26.2	—	72.1	—	6.6	4.9	1.6	—
30歳代	99	69.7	53.5	21.2	4.0	59.6	—	4.0	2.0	1.0	—
40歳代	106	55.7	37.7	14.2	15.1	57.5	—	3.8	6.6	6.6	—
50歳代	115	62.6	16.5	20.9	35.7	62.6	0.9	0.9	3.5	3.5	0.9
60歳代	140	50.7	2.9	26.4	32.1	52.1	—	—	5.7	5.0	0.7
70歳以上	289	27.0	—	22.1	45.0	42.9	—	—	6.6	5.2	4.2

【家族構成別（問 32）×（問 6）】

家族構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らしで「友達」「子ども」「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。また、夫婦のみで「配偶者」の割合が高くなっています。2世代世帯（親と子）で「両親」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	配偶者	両親	兄弟姉妹	子ども	友達	民生委員	職場の上司	その他	相談する人がいない	無回答
ひとり暮らし	198	2.0	7.6	21.7	33.3	54.0	—	2.0	7.6	11.6	3.5
夫婦のみ	465	72.9	4.3	11.0	16.3	31.4	0.2	0.6	5.4	5.8	2.6
2世代世帯 (親と子)	554	54.0	23.1	14.1	20.6	48.6	0.2	2.9	5.1	4.9	1.1
3世代以上の世帯 (親と子と孫など)	68	35.3	17.6	22.1	27.9	48.5	—	2.9	10.3	5.9	1.5
その他	54	24.1	7.4	22.2	22.2	50.0	—	5.6	13.0	7.4	1.9

【孤立感の状況別（問 32）×（問 24）】

孤立感の状況別でみると、孤立感を強く感じている人ほど、「相談する人がいない」の割合が高くなる傾向がみられます。

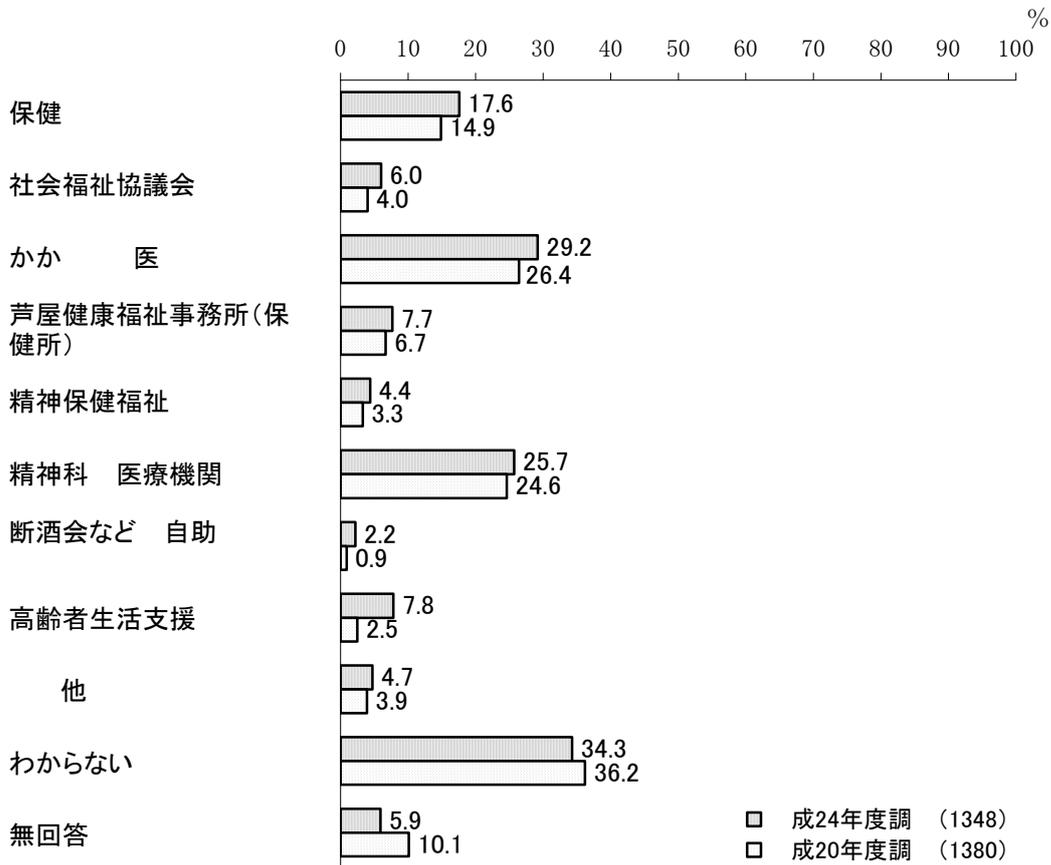
単位：%

区分	有効回答数(件)	配偶者	両親	兄弟姉妹	子ども	友達	民生委員	職場の上司	その他	相談する人がいない	無回答
強く感じる	25	8.0	16.0	8.0	8.0	36.0	—	—	8.0	40.0	—
やや感じる	259	33.6	13.5	14.7	19.3	40.5	0.4	2.7	6.2	13.1	1.2
あまり感じない	649	52.2	14.0	15.6	23.6	45.0	0.2	2.3	4.8	4.3	1.4
まったく感じない	373	63.8	12.3	14.5	21.4	45.8	—	1.6	7.8	1.6	2.9
わからない	32	34.4	18.8	15.6	6.3	28.1	—	—	15.6	21.9	6.3

問 33 精神的ストレス，悩みで困った時の相談先として，あなたが知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

「わからない」の割合が 34.3%と最も高くなっています。一方、「かかりつけ医」の割合が 29.2%、「精神科の医療機関」の割合が 25.7%となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者生活支援センター」の割合が 5.3 ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	保健センター	社会福祉協議会	かかりつけ医	芦屋健康福祉事務所(保健所)	精神保健福祉センター	精神科の医療機関	断酒会などの自助グループ	高齢者生活支援センター	その他	わからない	無回答
男性	526	14.1	5.3	29.8	6.3	4.2	23.6	1.7	5.9	6.5	36.1	4.9
女性	816	20.0	6.5	28.9	8.7	4.5	27.1	2.6	8.9	3.6	33.1	6.5

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性の30歳代で「保健センター」の割合が高く、3割を超えています。また、男女ともに50歳代で「精神科の医療機関」の割合が高く、約4割となっています。男女ともに70歳以上で「かかりつけ医」の割合が高くなっています。女性の60歳代以上で「高齢者生活支援センター」の割合が高くなっています。

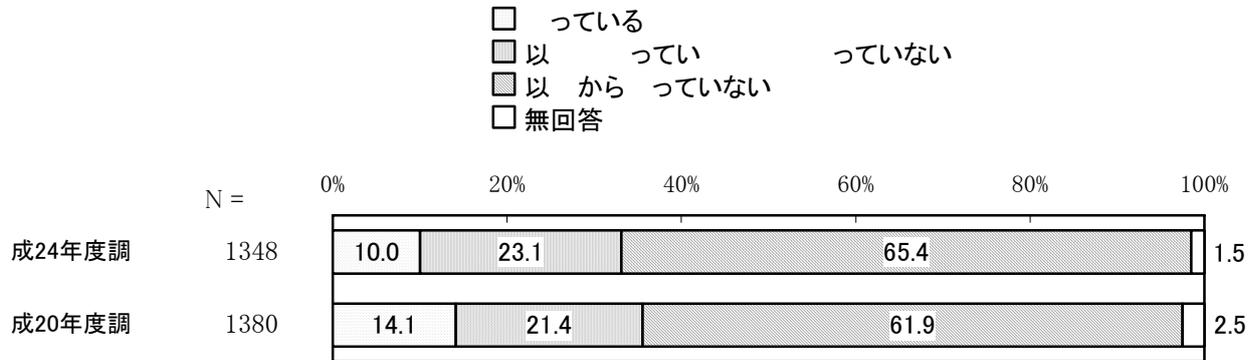
単位：%

区分	有効回答数(件)	保健センター	社会福祉協議会	かかりつけ医	芦屋健康福祉事務所(保健所)	精神保健福祉センター	精神科の医療機関	断酒会などの自助グループ	高齢者生活支援センター	その他	わからない	無回答
男性 20歳代	36	13.9	5.6	11.1	5.6	5.6	33.3	5.6	5.6	5.6	55.6	2.8
30歳代	30	10.0	—	10.0	—	3.3	33.3	3.3	—	3.3	46.7	10.0
40歳代	78	10.3	1.3	16.7	2.6	1.3	32.1	1.3	1.3	7.7	48.7	1.3
50歳代	88	15.9	4.5	23.9	9.1	8.0	40.9	3.4	5.7	5.7	37.5	—
60歳代	105	16.2	10.5	32.4	7.6	5.7	19.0	1.0	4.8	4.8	37.1	3.8
70歳以上	189	14.3	5.3	43.4	6.9	2.6	11.1	0.5	9.5	7.9	24.3	9.0
女性 20歳代	61	16.4	3.3	13.1	6.6	4.9	29.5	6.6	3.3	3.3	57.4	1.6
30歳代	99	32.3	2.0	17.2	6.1	3.0	28.3	1.0	—	2.0	38.4	2.0
40歳代	106	22.6	2.8	24.5	7.5	4.7	33.0	3.8	4.7	1.9	37.7	—
50歳代	115	21.7	9.6	27.0	8.7	5.2	41.7	4.3	7.0	4.3	30.4	2.6
60歳代	140	17.9	10.7	25.7	10.7	6.4	27.9	3.6	13.6	5.7	37.1	6.4
70歳以上	289	15.6	6.6	40.5	9.3	3.8	17.6	0.7	13.5	3.5	23.2	13.1

《たばこについて》

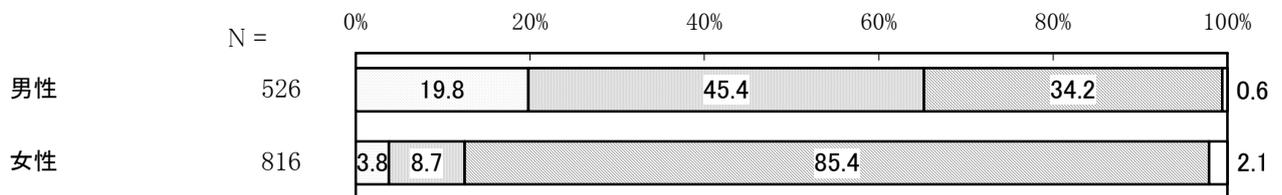
問 34 あなたは、たばこを吸いますか。(は1つだけ)

「以前から吸っていない」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「以前は吸っていたが今は吸っていない」の割合が 23.1%、「吸っている」の割合が 10.0%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



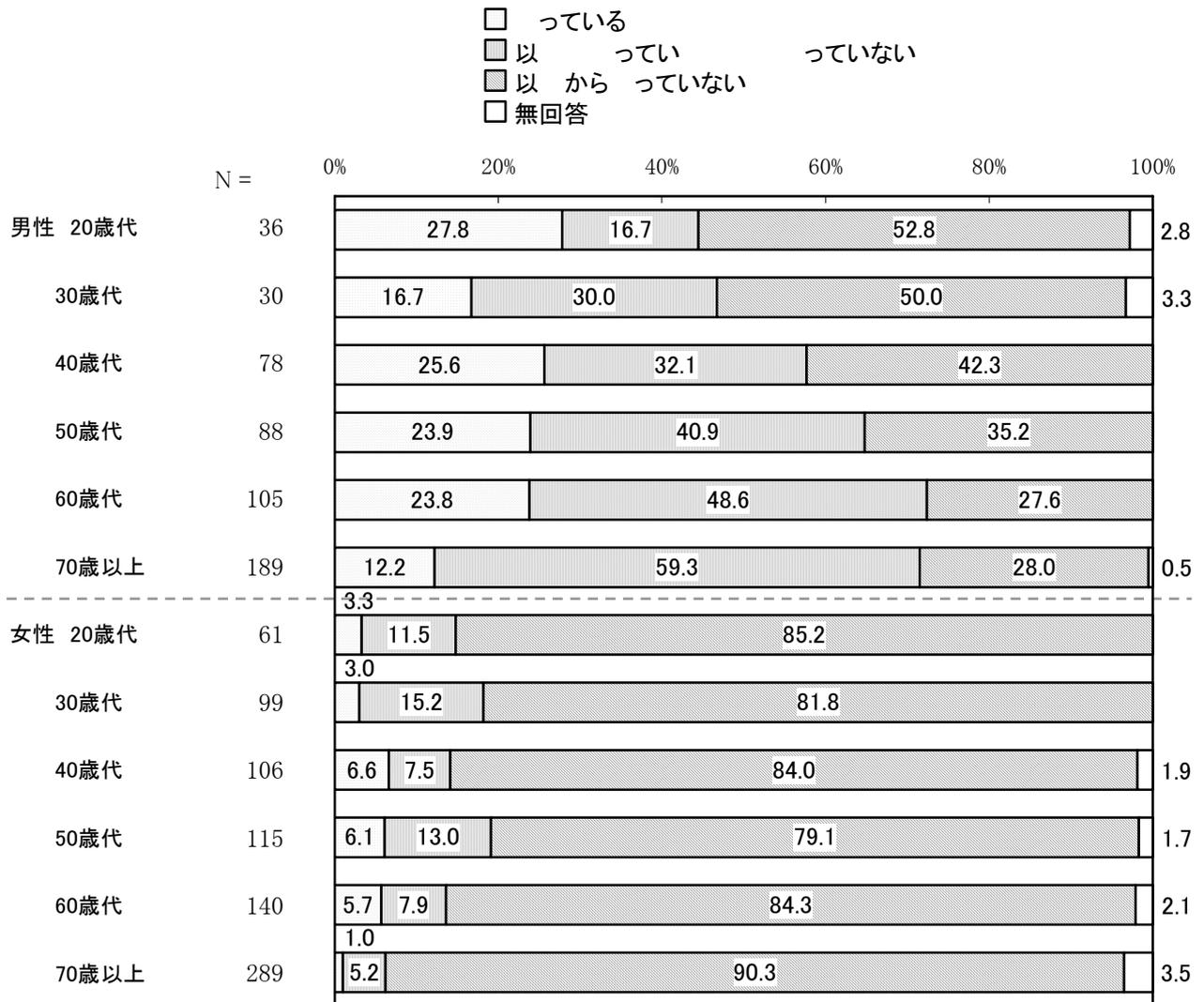
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「吸っている」「以前は吸っていたが今は吸っていない」の割合が高くなっています。



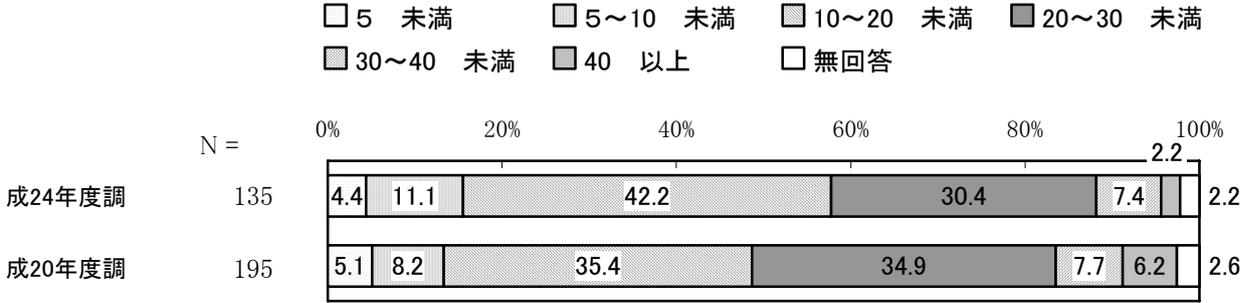
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、40歳代、50歳代、60歳代で「吸っている」の割合が高く、2割を超えています。



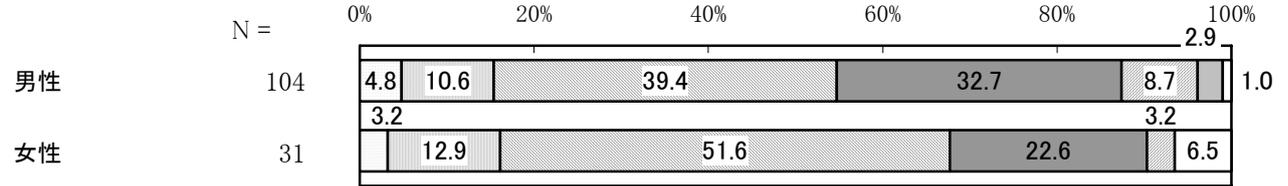
問 34-1 (問 34 で「1 . 吸っている」に つけた方におたずねします)
 あなたが一日に吸うたばこの量は平均何本ですか。

「10～20 本未満」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「20～30 本未満」の割合が 30.4%、
 「5～10 本未満」の割合が 11.1%となっています。
 前回調査と比較すると、「10～20 本未満」の割合が 6.8 ポイント増加しています。



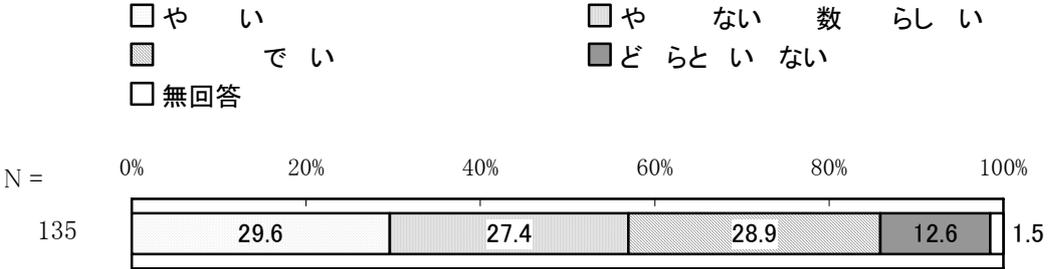
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「10～20 本未満」の割合が高く、約 5 割となっています。



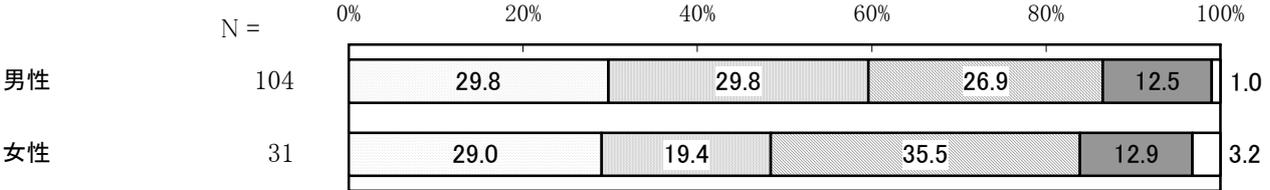
あなたは、たばこをやめたいと思ったことはありますか。(は1つだけ)

「やめたい」の割合が29.6%と最も高く、次いで「今のままでよい」の割合が28.9%、「やめたくないが本数を減らしたい」の割合が27.4%となっています。



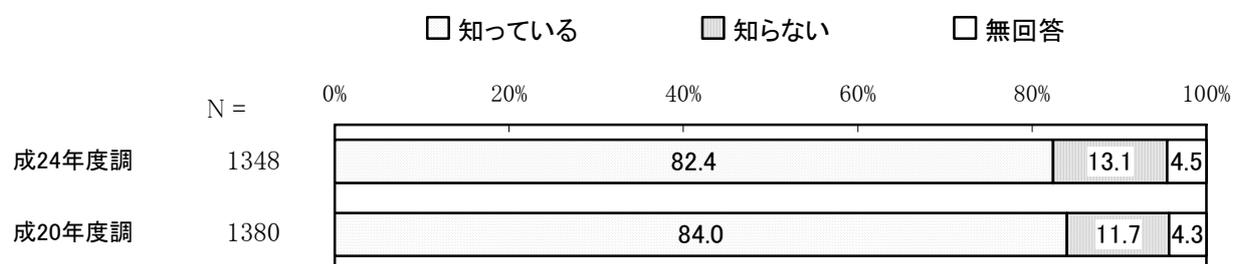
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「やめたくないが本数を減らしたい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「今のままでよい」の割合が高くなっています。



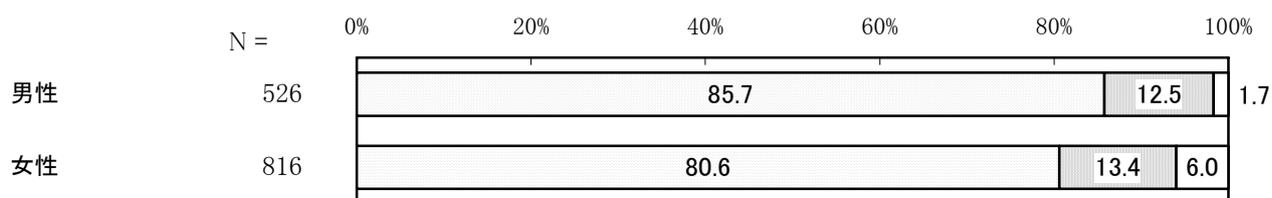
問 35 あなたは、「副流煙」が及ぼす健康影響について知っていますか。(は1つだけ)

「知っている」の割合が82.4%、「知らない」の割合が13.1%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性別】

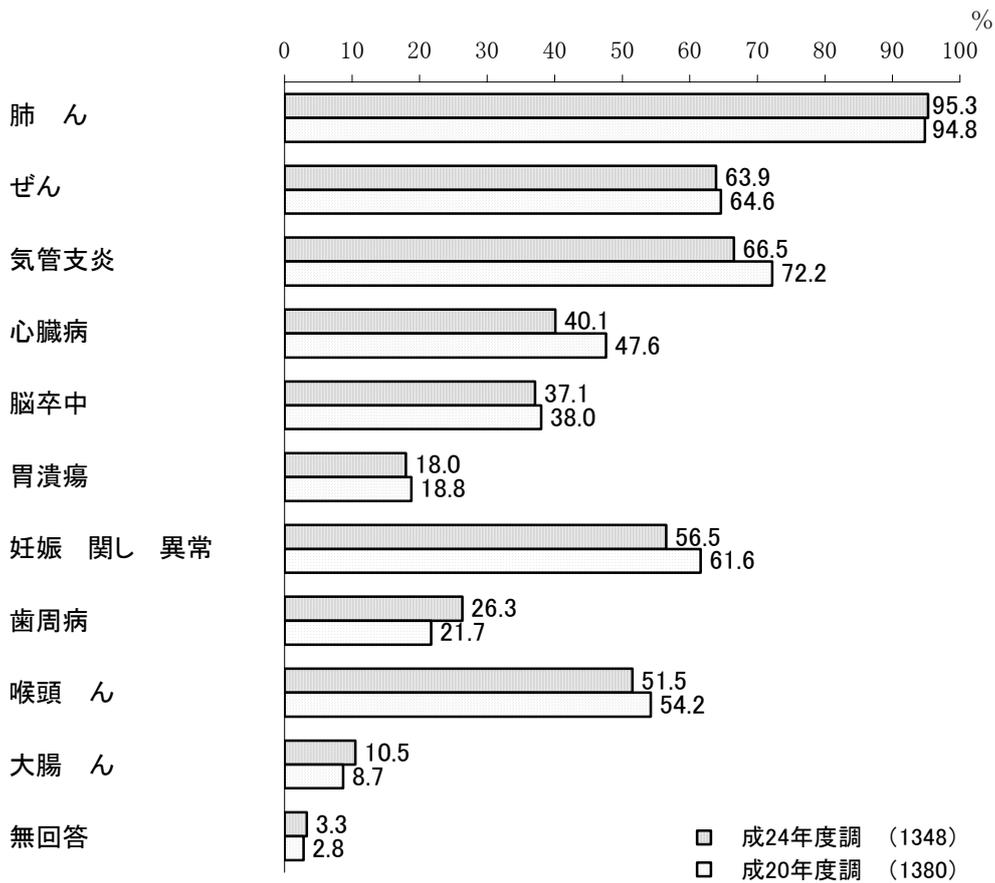
性別でみると、女性に比べ、男性で「知っている」の割合が高くなっています。



問 36 あなたは、下記の疾患のうち、喫煙が影響すると知っていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに)

「肺がん」の割合が95.3%と最も高く、次いで「気管支炎」の割合が66.5%、「ぜんそく」の割合が63.9%となっています。

前回調査と比較すると、「気管支炎」「心臓病」「妊娠に関する異常」の割合が減少しており、特に「心臓病」では、7.5ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「心臓病」「脳卒中」「胃潰瘍」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「妊娠に関する異常」の割合が高く、6割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	肺がん	ぜんそく	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍	妊娠に関する異常	歯周病	喉頭がん	大腸がん	無回答
男性	526	96.2	66.9	69.6	46.4	42.2	24.5	43.3	26.8	52.3	12.9	2.1
女性	816	94.6	61.8	64.6	36.2	33.8	13.8	65.2	25.9	51.2	8.9	4.2

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の30歳代で「脳卒中」の割合が高く、7割を超えています。また、男性の40歳代で「大腸がん」の割合が高く、2割を超えています。男性の60歳代で「ぜんそく」の割合が高く、7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	肺がん	ぜんそく	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍	妊娠に関する異常	歯周病	喉頭がん	大腸がん	無回答
男性 20歳代	36	97.2	58.3	55.6	25.0	44.4	25.0	58.3	33.3	47.2	13.9	2.8
30歳代	30	100.0	63.3	66.7	40.0	73.3	20.0	60.0	36.7	63.3	10.0	—
40歳代	78	100.0	61.5	69.2	41.0	46.2	25.6	66.7	37.2	57.7	24.4	—
50歳代	88	98.9	69.3	72.7	60.2	52.3	34.1	50.0	33.0	55.7	15.9	1.1
60歳代	105	97.1	76.2	78.1	52.4	47.6	30.5	45.7	31.4	63.8	14.3	1.0
70歳以上	189	92.1	65.1	66.7	43.9	27.5	16.9	23.8	14.3	41.3	6.3	4.2
女性 20歳代	61	96.7	55.7	52.5	19.7	34.4	13.1	80.3	36.1	47.5	8.2	1.6
30歳代	99	96.0	63.6	67.7	23.2	40.4	13.1	88.9	35.4	54.5	7.1	1.0
40歳代	106	98.1	68.9	70.8	34.0	41.5	13.2	84.0	27.4	50.9	15.1	0.9
50歳代	115	97.4	56.5	67.0	46.1	44.3	16.5	73.0	31.3	57.4	9.6	2.6
60歳代	140	96.4	66.4	67.9	45.7	35.7	12.9	66.4	27.1	56.4	9.3	2.9
70歳以上	289	90.3	59.5	61.2	36.3	23.9	13.8	43.6	17.3	45.7	7.3	8.3

【喫煙状況別（問36）×（問34）】

喫煙状況別で見ると、他に比べ、吸っている人で「心臓病」「脳卒中」「歯周病」「喉頭がん」の割合が高くなっています。また、以前から吸っていない人では「妊娠に関する異常」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

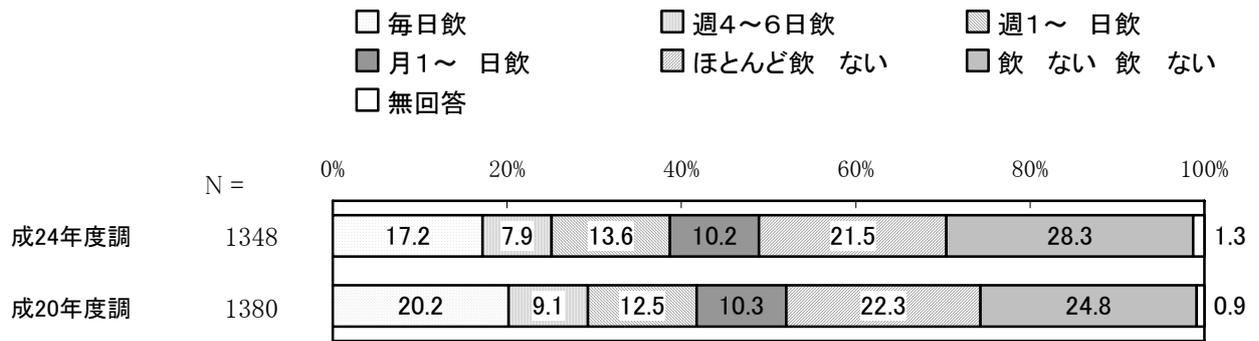
区分	有効回答数(件)	肺がん	ぜんそく	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍	妊娠に関する異常	歯周病	喉頭がん	大腸がん	無回答
吸っている	135	96.3	63.7	71.9	54.8	59.3	29.6	52.6	43.0	60.0	16.3	0.7
以前は吸っていたが今は吸っていない	312	95.8	68.3	68.9	46.8	40.1	23.7	46.5	26.9	50.6	11.5	2.2
以前から吸っていない	881	95.5	62.5	65.0	35.8	32.9	14.4	61.2	23.7	50.6	9.3	3.5

《アルコールについて》

問 37 あなたは、酒やビールなどのアルコール類をどのくらいの頻度で飲んでいますか。
(は1つだけ)

「飲まない、飲めない」の割合が 28.3%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 21.5%、「毎日飲む」の割合が 17.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



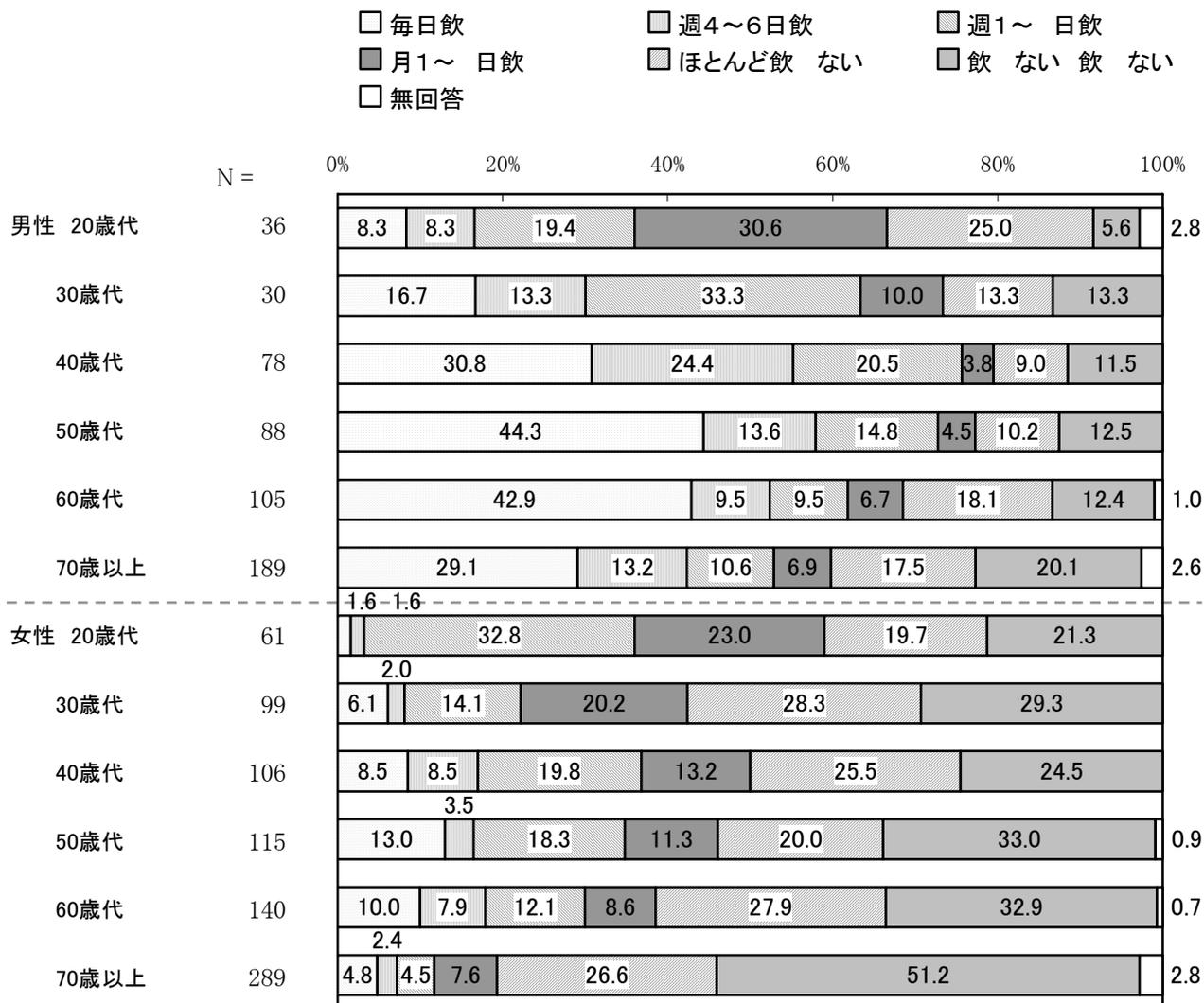
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「毎日飲む」「週4～6日飲む」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「ほとんど飲まない」「飲まない、飲めない」の割合が高くなっています。



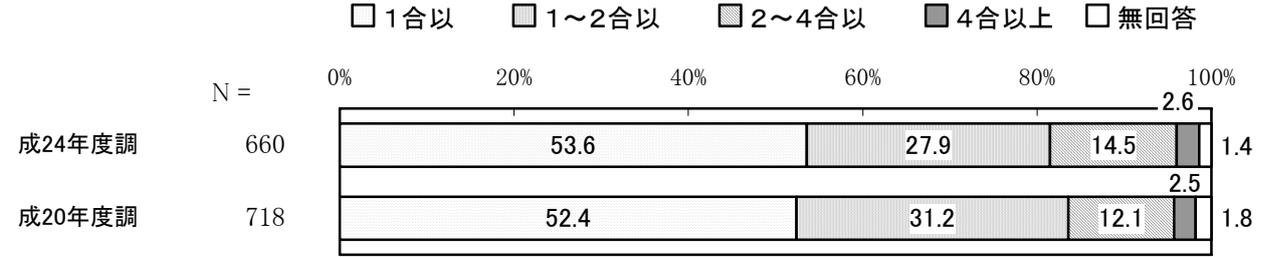
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性で年代が下がるほど飲む頻度が少なくなる傾向がみられます。一方、女性の70歳代で「飲まない、飲めない」の割合が高く、約5割となっています。



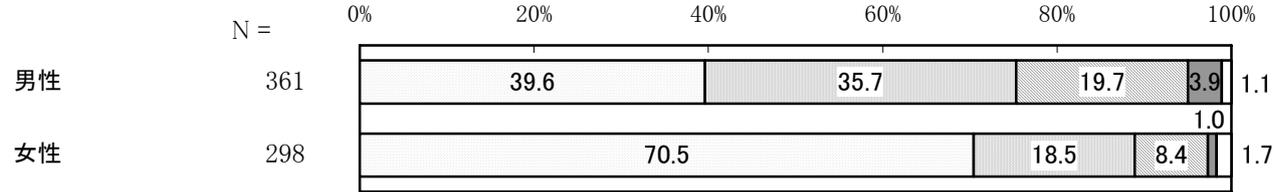
問 37-1 (問 37 で「1 . 毎日飲む」「2 . 週 4 ~ 6 日飲む」「3 . 週 1 ~ 3 日飲む」「4 . 月 1 ~ 3 日飲む」に つけた方におたずねします)
 あなたが 1 回に飲むお酒の量は、日本酒に換算してどのくらいですか。(は 1 つだけ)

「1 合以下」の割合が 53.6% と最も高く、次いで「1 ~ 2 合以下」の割合が 27.9%、「2 ~ 4 合以下」の割合が 14.5% となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



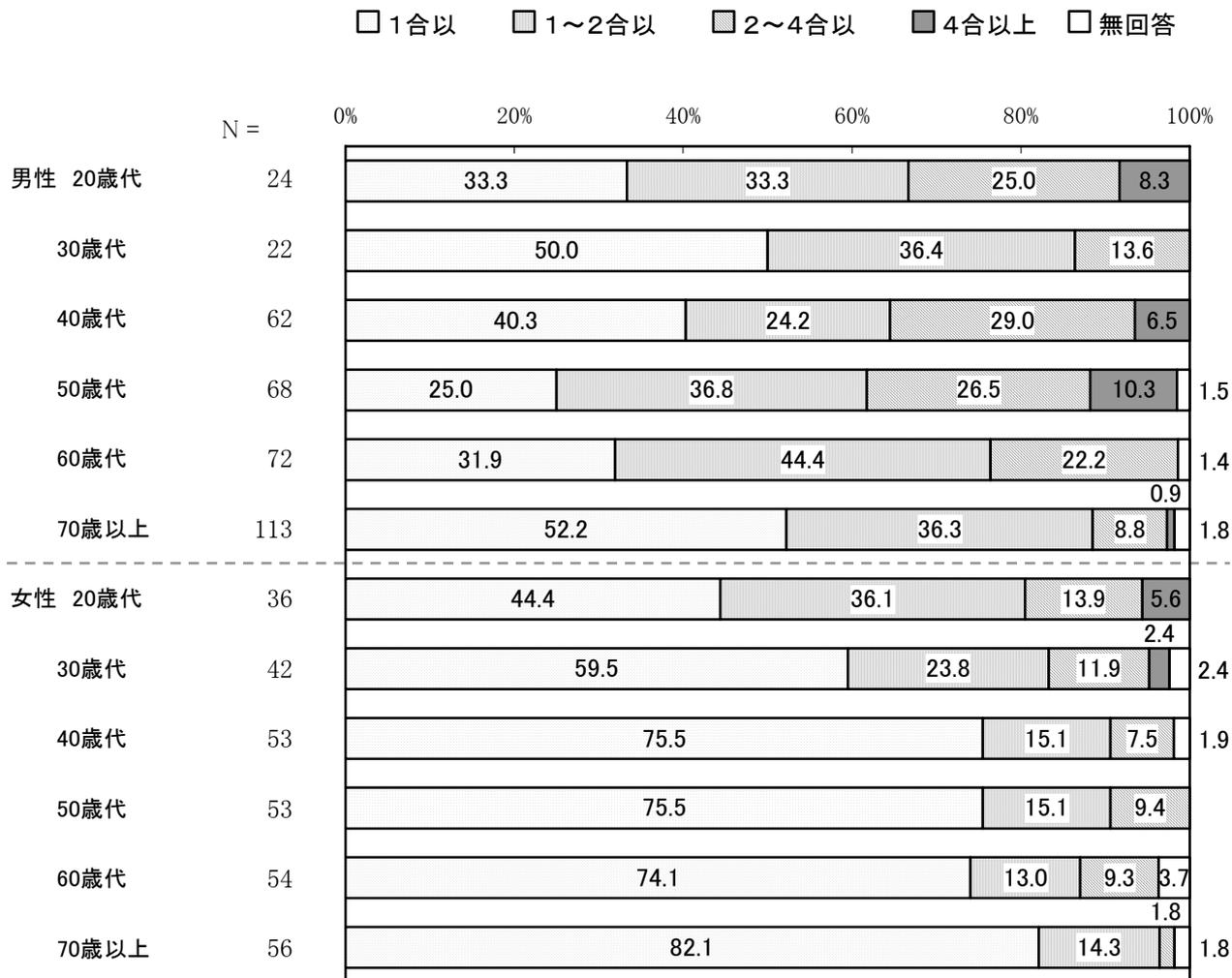
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「1 ~ 2 合以下」「2 ~ 4 合以下」の割合が高くなっています。男性に比べ、女性で「1 合以下」の割合が高く、約 7 割となっています。



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の60歳代で「1～2合以下」の割合が高く、4割を超えています。一方、男性に比べ、女性で40歳代以上で「1合以下」の割合が高く、7割を超えています。

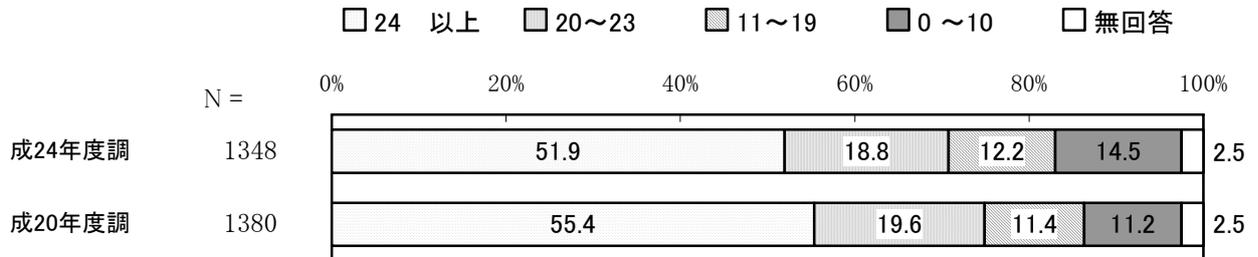


《歯の健康について》

問 38 現在，ご自分の歯は何本ありますか。(は1つだけ)

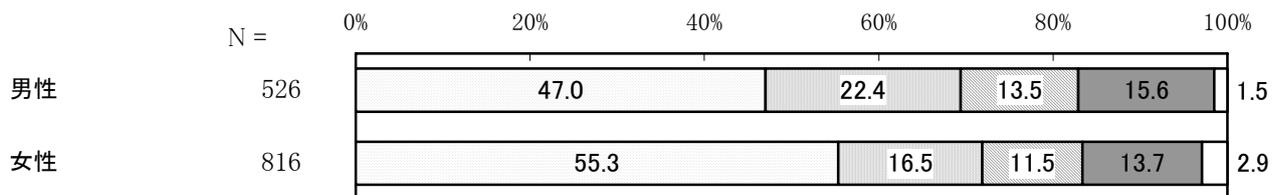
「24 本以上」の割合が 51.9%と最も高く，次いで「20～23 本」の割合が 18.8%，「0～10 本」の割合が 14.5%となっています。

前回調査と比較すると，大きな差異はみられません。



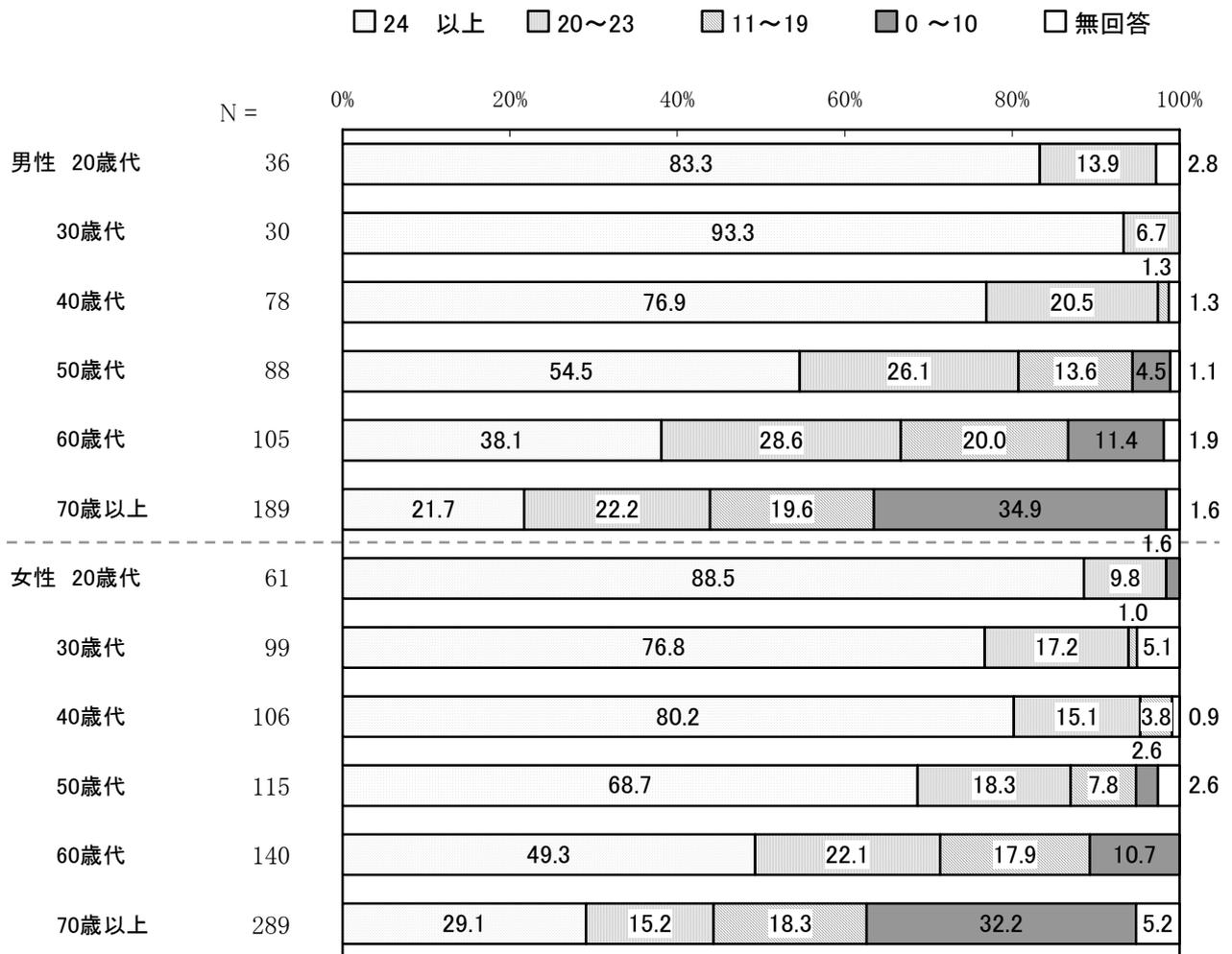
【性別】

性別でみると，女性に比べ，男性で「24 本以上」の割合が低くなっています。



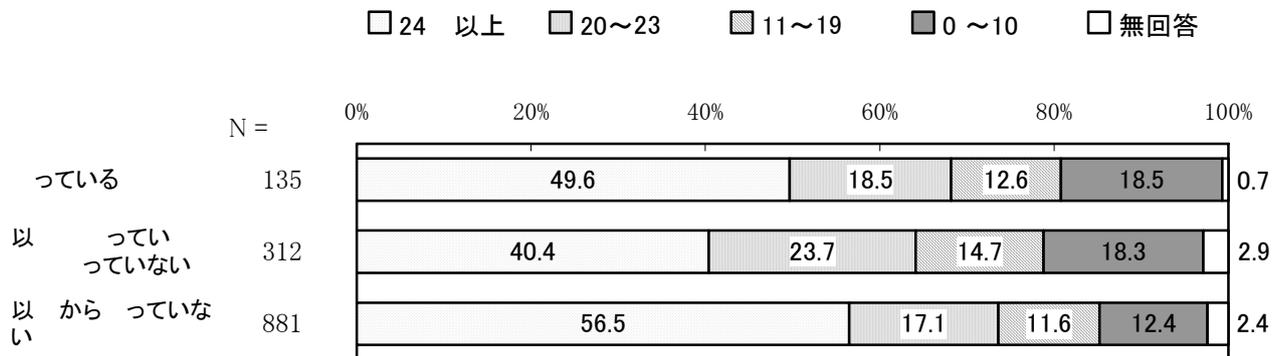
【性・年代別】

性・年代別でみると、男性の20歳代を除き、男女ともに年代が上がるほど「24本以上」の割合が低くなる傾向がみられ、20本以上の割合は男性の70歳以上で43.9%、女性の70歳以上で44.3%となっています。



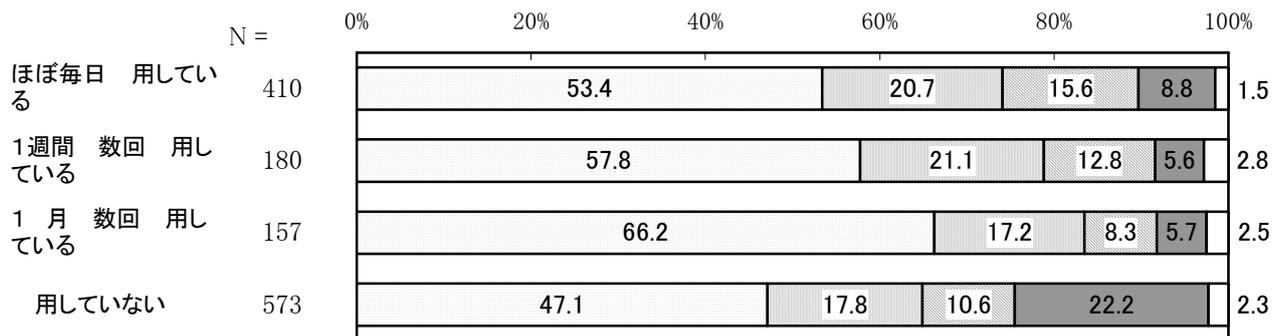
【喫煙状況別（問 38）×（問 34）】

喫煙状況別で見ると、他に比べ、以前から吸っていない人では「24 本以上」の割合が高く、5 割を超えています。



【歯間部清掃用具使用状況別（問 38）×（問 39）】

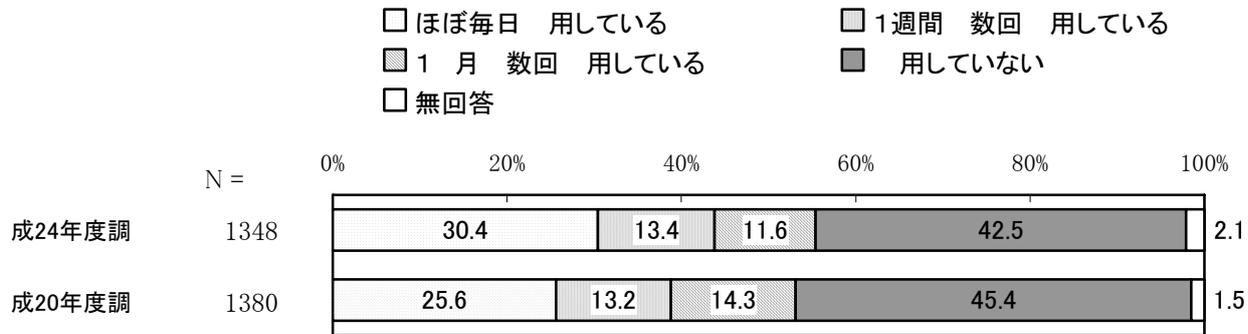
歯間部清掃用具使用状況別で見ると、他に比べ、使用していない人では「0 ~10 本」の割合が高く、2 割を超えています。



問 39 あなたは、歯ブラシの他に歯間部清掃用具（糸ようじ、デンタルフロス、歯間ブラシなど）を使用していますか。（ は1つだけ）

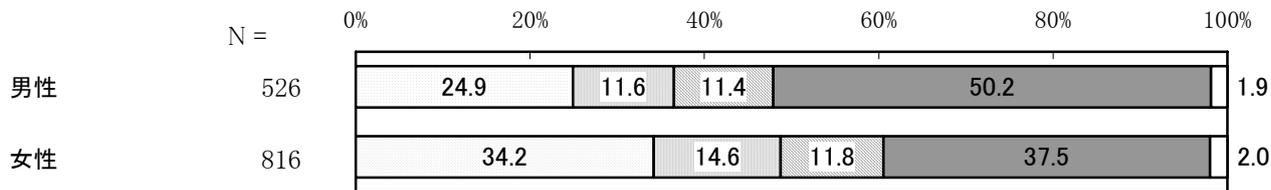
「使用していない」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日使用している」の割合が 30.4%。「1週間に数回使用している」の割合が 13.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



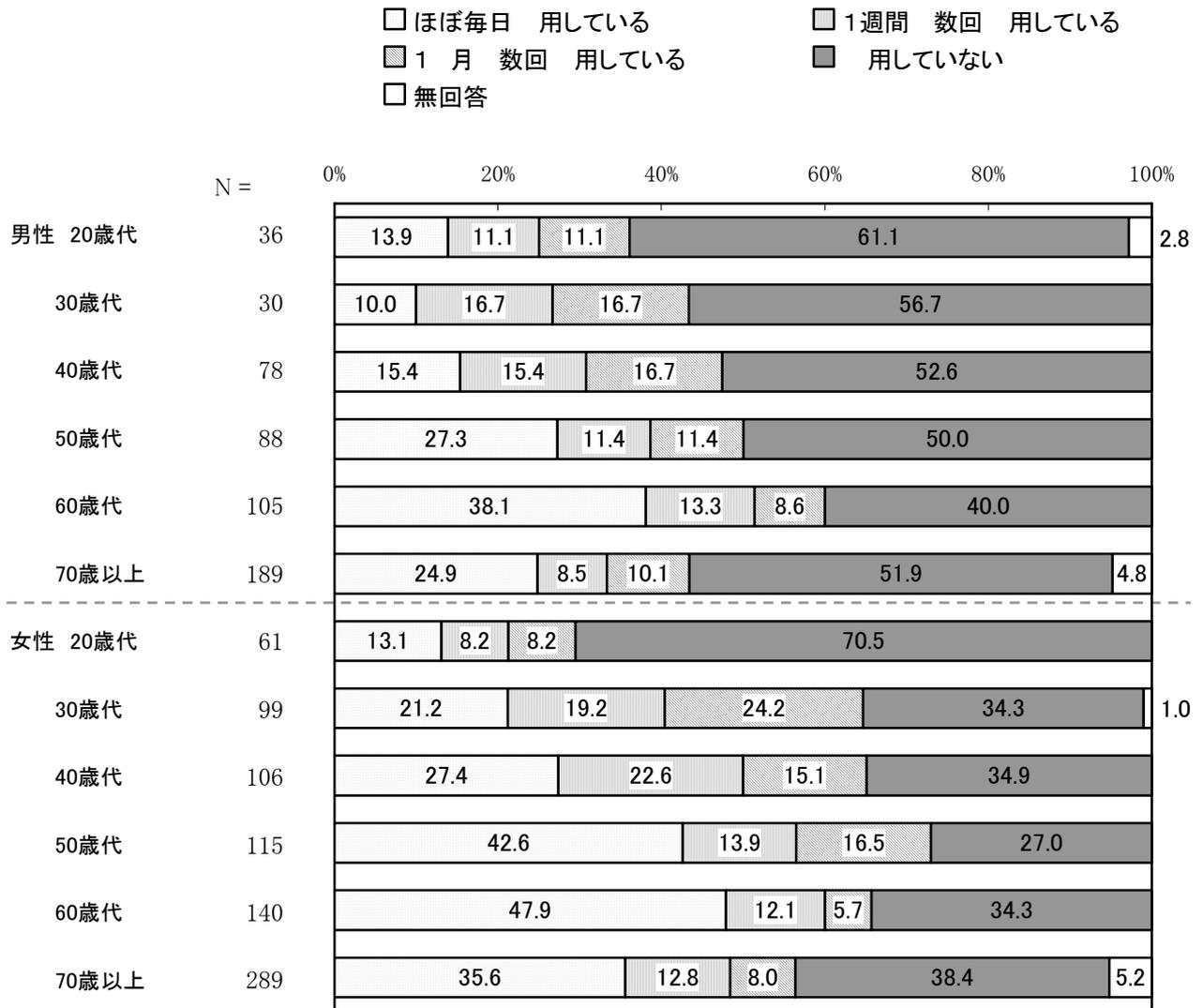
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ほぼ毎日使用している」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「使用していない」の割合が高く、5割を超えています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、男女ともに70歳以上を除く60歳以下では、年代が上がるほど「ほぼ毎日使用している」の割合が高くなる傾向がみられます。



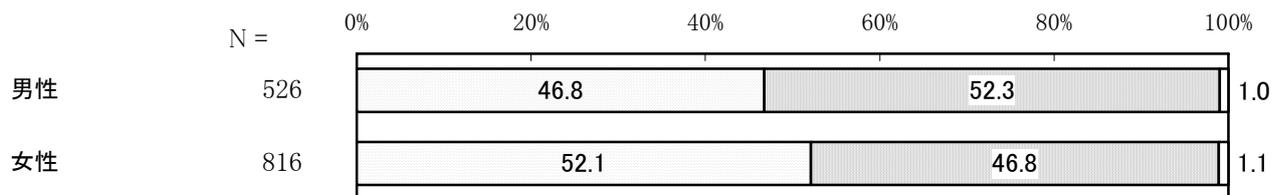
問 40 あなたは、定期的（1年間に1回以上）に歯科健診を受けていますか。
（は1つだけ）

「はい」の割合が49.9%、「いいえ」の割合が49.0%となっています。
前回調査と比較すると、「はい」の割合が5.1ポイント増加しています。



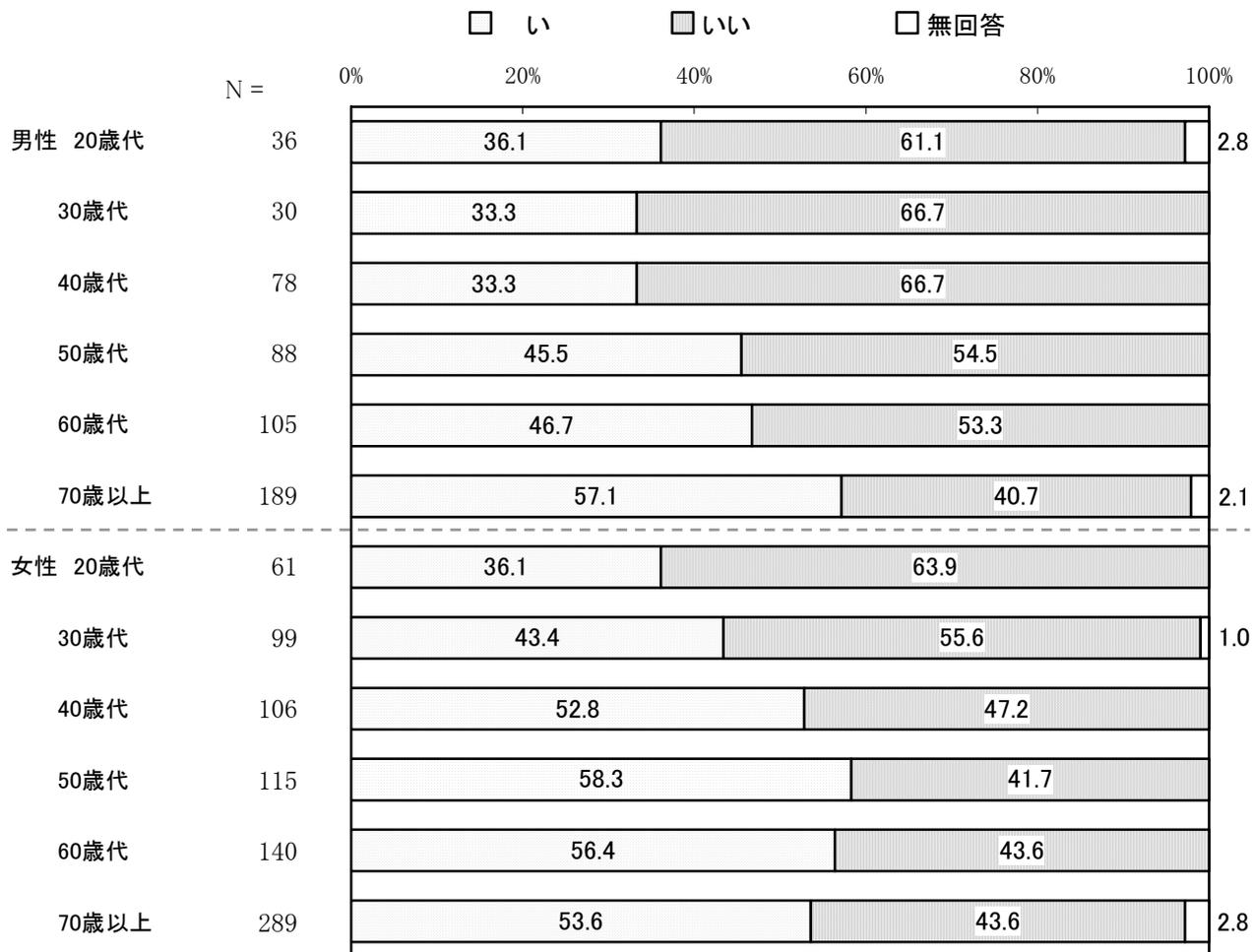
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。



【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代～40歳代、女性の20歳代で「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。



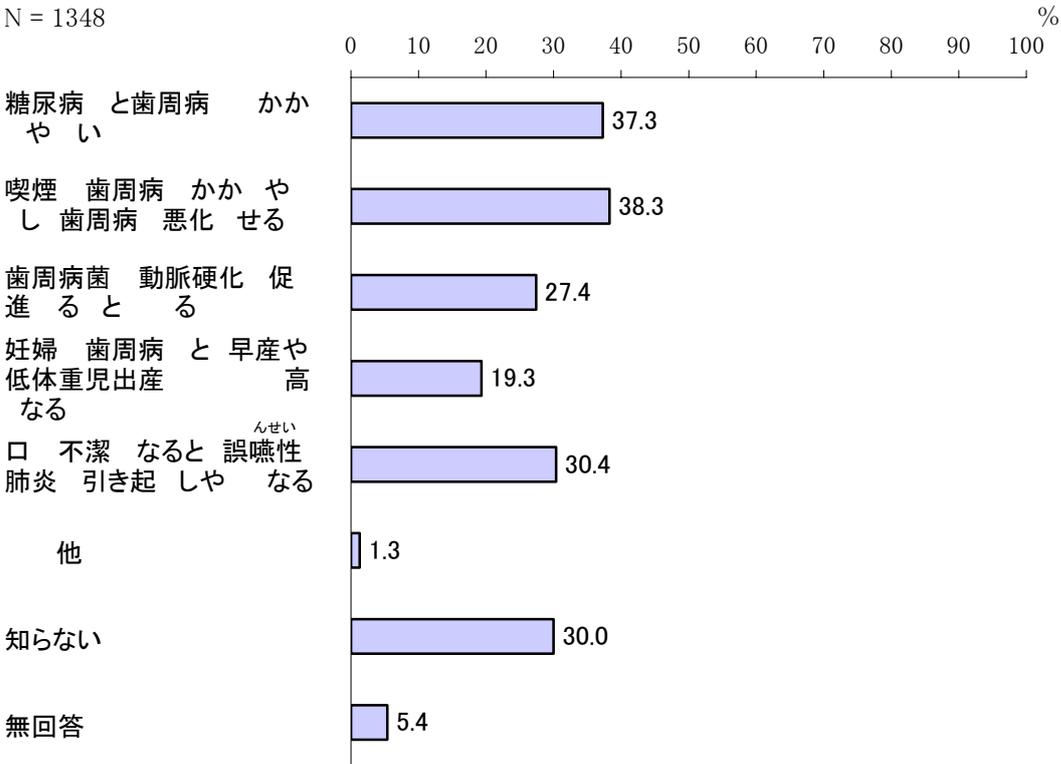
【喫煙状況別（問40）×（問34）】

喫煙状況別で見ると、他に比べ、吸っている人で「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。



問 41 お口と全身の健康について、あなたが知っていることはどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「喫煙は歯周病にかかりやすくし、歯周病を悪化させる」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「糖尿病だと歯周病にもかかりやすい」の割合が 37.3%、「口が不潔になると、誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる」の割合が 30.4%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「妊婦が歯周病だと、早産や低体重児出産のリスクが高くなる」「口が不潔になると、誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	糖尿病だと歯周病にもかかりやすい	喫煙は歯周病にかかりやすくし、歯周病を悪化させる	歯周病菌が動脈硬化を促進することがある	妊婦が歯周病だと、早産や低体重児出産のリスクが高くなる	口が不潔になると、誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる	その他	知らない	無回答
男性	526	35.2	41.4	26.0	11.8	25.7	0.8	34.8	4.6
女性	816	39.0	36.2	28.4	24.3	33.6	1.6	27.1	5.9

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の30歳代、40歳代で「喫煙は歯周病にかかりやすくし、歯周病を悪化させる」の割合が高く、5割を超えています。また、女性の30歳代、40歳代で「妊婦が歯周病だと、早産や低体重児出産のリスクが高くなる」の割合が高く、3割を超えています。女性の50歳代以上で「口が不潔になると、誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

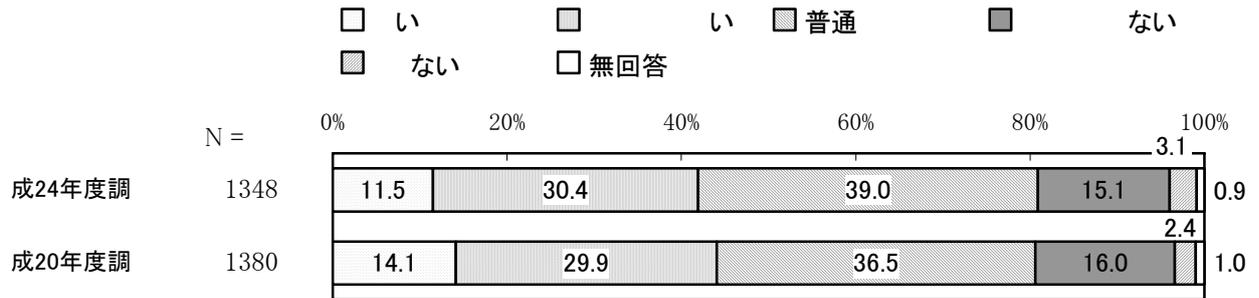
区分	有効回答数(件)	糖尿病だと歯周病にもかかりやすい	喫煙は歯周病にかかりやすくし、歯周病を悪化させる	歯周病菌が動脈硬化を促進することがある	妊婦が歯周病だと、早産や低体重児出産のリスクが高くなる	口が不潔になると、誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる	その他	知らない	無回答
男性 20歳代	36	22.2	41.7	22.2	11.1	13.9	2.8	44.4	2.8
30歳代	30	23.3	53.3	13.3	13.3	20.0	—	33.3	—
40歳代	78	34.6	51.3	23.1	17.9	20.5	2.6	29.5	2.6
50歳代	88	44.3	45.5	25.0	12.5	21.6	—	35.2	—
60歳代	105	43.8	45.7	32.4	14.3	30.5	—	34.3	1.0
70歳以上	189	30.7	31.2	27.0	7.4	30.2	0.5	35.4	10.6
女性 20歳代	61	23.0	42.6	9.8	21.3	13.1	1.6	41.0	3.3
30歳代	99	34.3	46.5	25.3	49.5	20.2	1.0	25.3	2.0
40歳代	106	35.8	40.6	28.3	32.1	30.2	—	35.8	2.8
50歳代	115	43.5	39.1	30.4	22.6	38.3	3.5	24.3	1.7
60歳代	140	42.1	31.4	33.6	17.9	41.4	0.7	29.3	2.9
70歳以上	289	41.9	30.8	30.4	17.3	38.1	1.7	21.1	12.1

《健康状態や健診について》

問 42 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(は1つだけ)

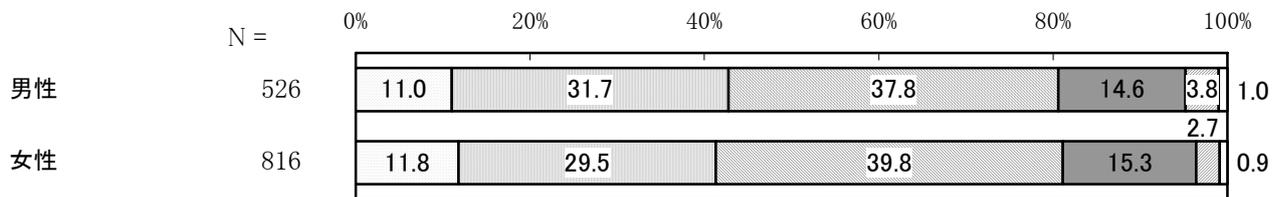
「よい」と「まあまあよい」をあわせた“健康状態がよいと感じる人”の割合が41.9%、「普通」の割合が39.0%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“健康状態がよくないと感じる人”の割合が18.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



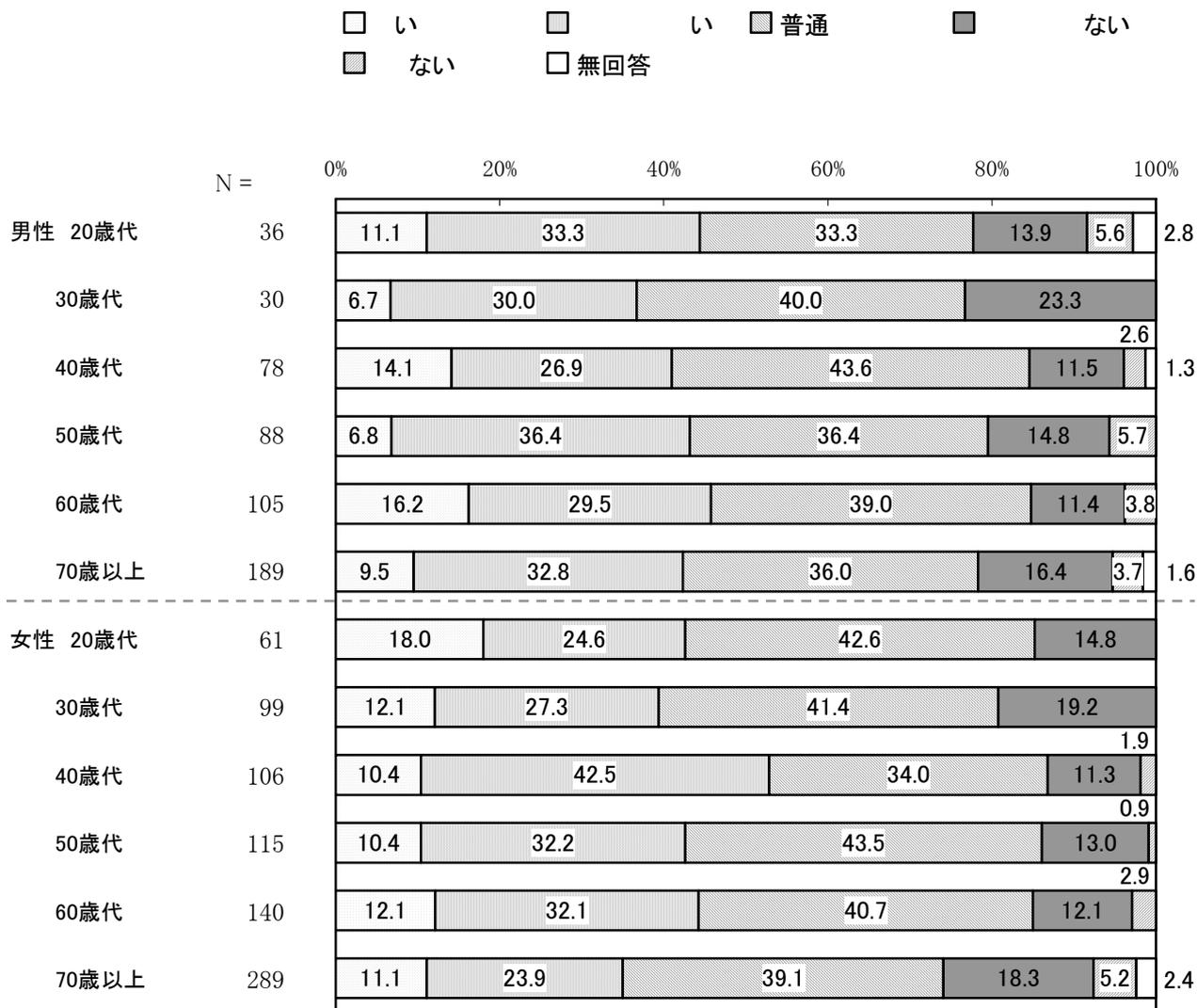
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



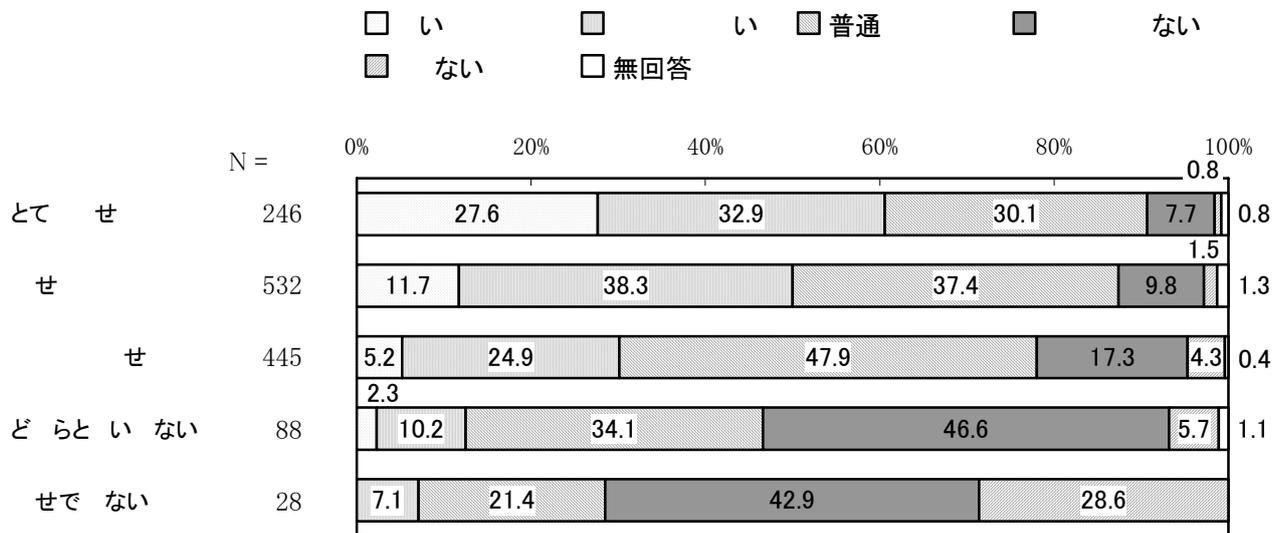
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の40歳代で“健康状態がよいと感じる人”の割合が高く、5割を超えています。一方、男性の30歳代、50歳代、70歳以上、女性の70歳以上で“健康状態がよくないと感じる人”の割合が高く、2割を超えています。



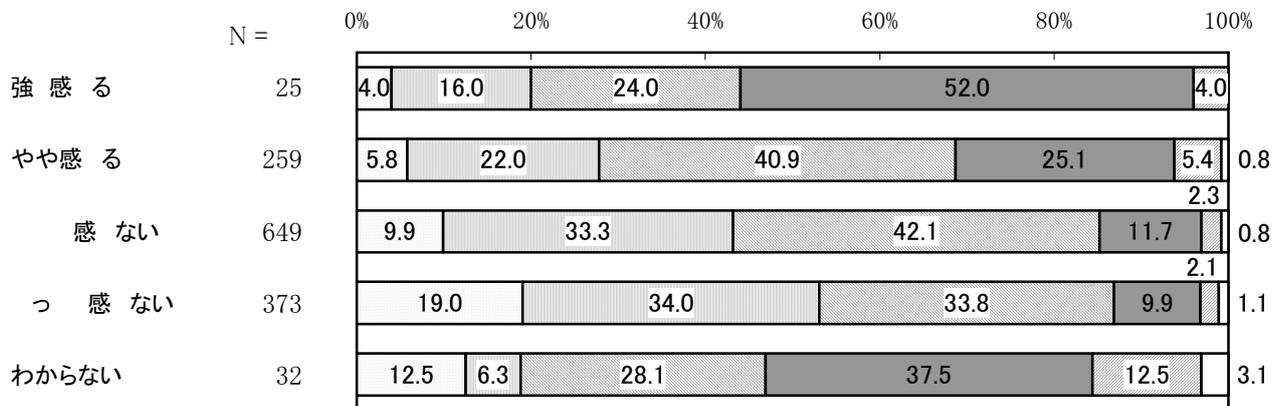
【幸福感別（問 42）×（問 23）】

幸福感別でみると、幸福感が低くなるほど“健康状態がよくないと感じる人”の割合が高くなっています。



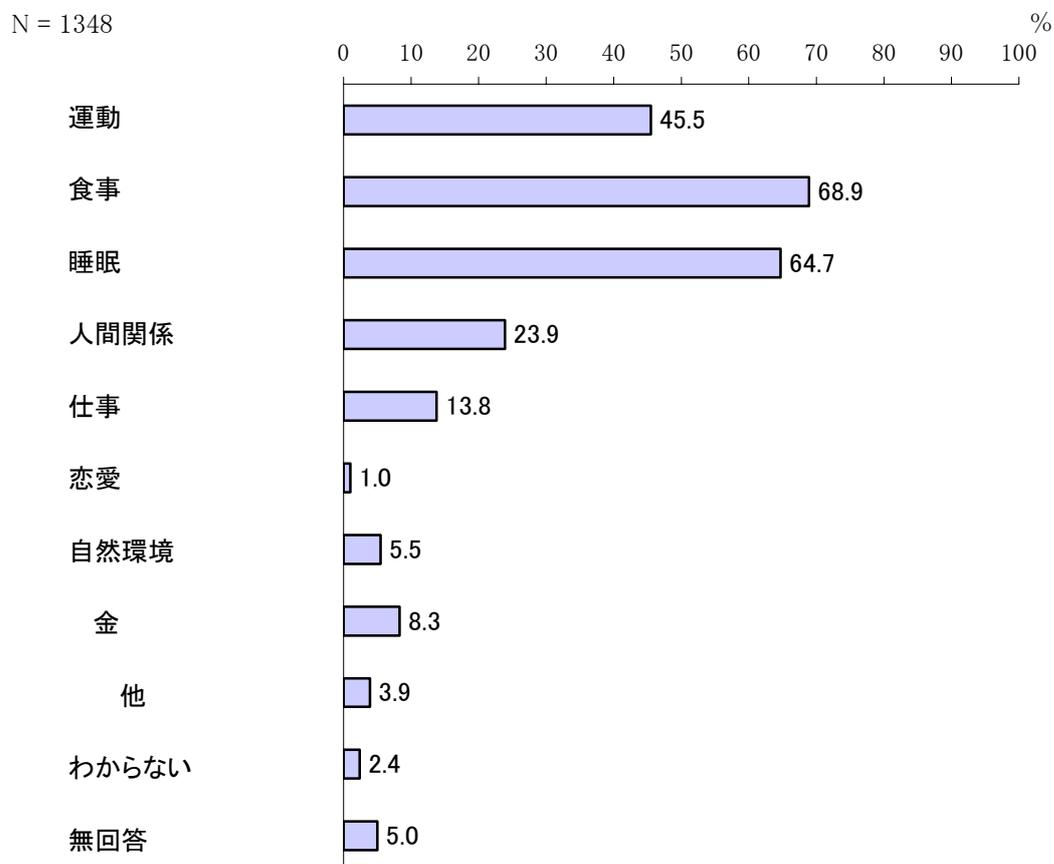
【孤独感別（問 42）×（問 24）】

孤独感別でみると、孤独感が高くなるほど“健康状態がよくないと感じる人”の割合が高くなっています。



問 43 あなたの健康に最も影響を与えるものは何だと思いますか。(は3つまで)

「食事」の割合が 68.9%と最も高く、次いで「睡眠」の割合が 64.7%、「運動」の割合が 45.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「運動」「仕事」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「睡眠」「人間関係」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	運動	食事	睡眠	人間関係	仕事	恋愛	自然環境	お金	その他	わからない	無回答
男性	526	53.8	66.9	60.6	16.2	20.3	—	5.5	10.3	3.2	2.9	4.8
女性	816	40.1	70.3	67.5	29.0	9.6	1.6	5.5	7.1	4.4	2.2	4.9

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の30歳代～50歳代、女性の20歳代で「仕事」の割合が高く、3割を超えています。また、女性の40歳代、50歳代で「人間関係」の割合が高く、約4割となっています。

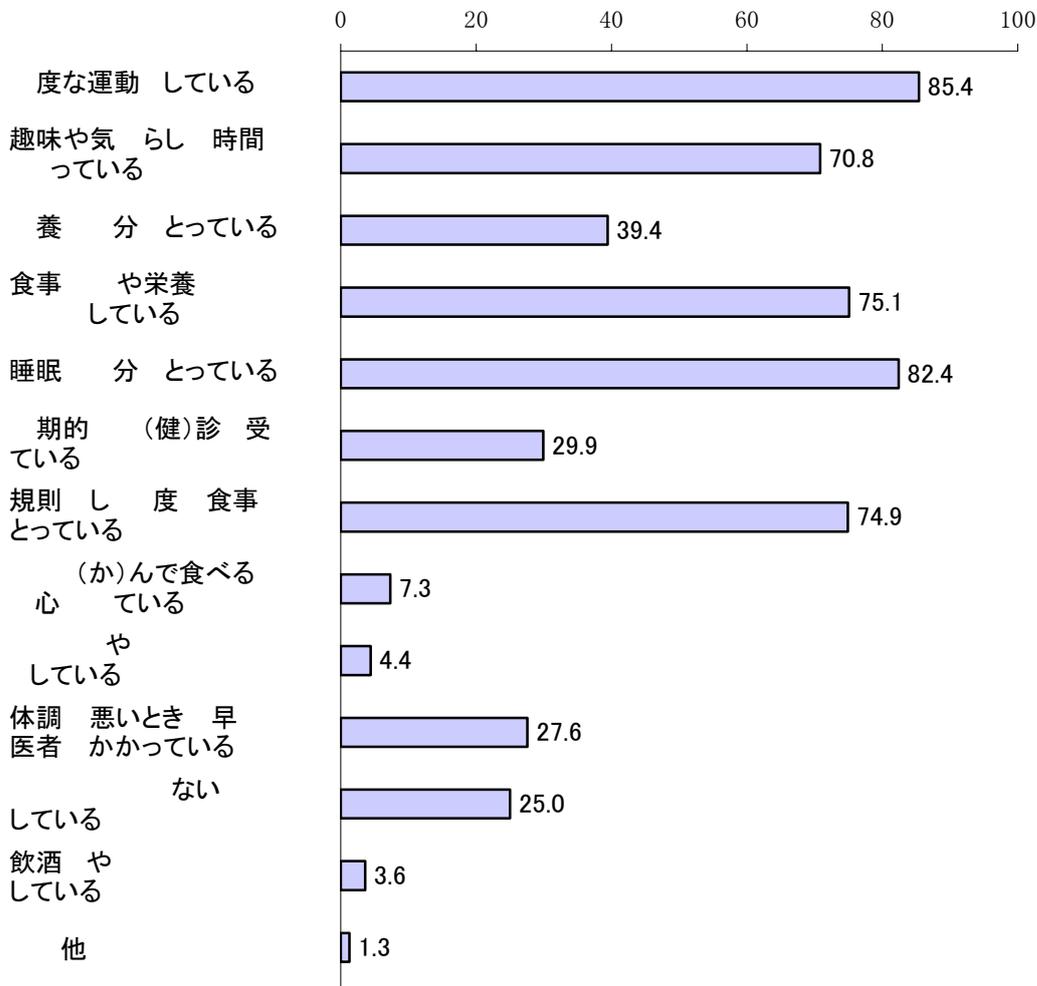
単位：%

区分	有効回答数(件)	運動	食事	睡眠	人間関係	仕事	恋愛	自然環境	お金	その他	わからない	無回答
男性 20歳代	36	44.4	63.9	55.6	11.1	22.2	—	8.3	8.3	2.8	11.1	8.3
30歳代	30	43.3	53.3	50.0	33.3	33.3	—	6.7	13.3	3.3	—	10.0
40歳代	78	39.7	57.7	64.1	23.1	37.2	—	5.1	11.5	1.3	1.3	5.1
50歳代	88	44.3	70.5	60.2	22.7	36.4	—	3.4	11.4	5.7	—	4.5
60歳代	105	56.2	64.8	60.0	14.3	12.4	—	6.7	15.2	2.9	4.8	2.9
70歳以上	189	66.1	73.0	62.4	9.5	7.9	—	5.3	6.3	3.2	2.6	4.2
女性 20歳代	61	13.1	57.4	62.3	32.8	36.1	8.2	—	9.8	3.3	—	6.6
30歳代	99	36.4	70.7	79.8	29.3	13.1	3.0	3.0	4.0	6.1	1.0	3.0
40歳代	106	33.0	73.6	71.7	39.6	13.2	3.8	5.7	6.6	2.8	1.9	1.9
50歳代	115	39.1	75.7	64.3	38.3	12.2	0.9	7.0	9.6	3.5	0.9	3.5
60歳代	140	47.9	75.0	67.9	25.0	7.1	—	6.4	7.9	4.3	2.1	2.9
70歳以上	289	45.7	66.8	64.0	22.5	1.7	—	6.2	6.6	5.2	3.8	8.0

問 44 健康づくりのために、日ごろから何か心がけていることはありますか。上位3位までの番号を下の表にご記入ください。

「適度な運動をしている」の点数が最も高く、次いで「睡眠を十分にとっている」「食事の量や栄養バランスに注意している」が高くなっています。

N = 1348

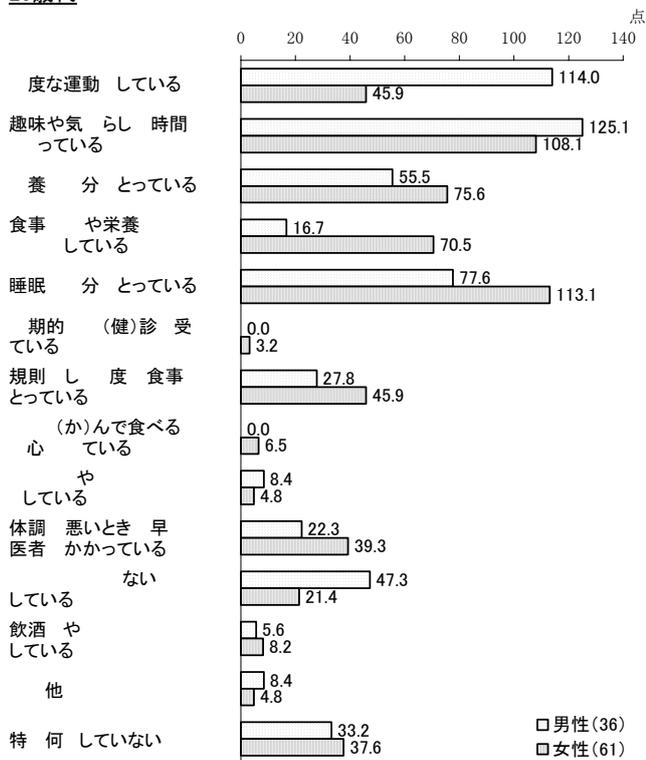


点数は、回答割合に1位は3点、2位は2点、3位は1点を乗じて算出しています。

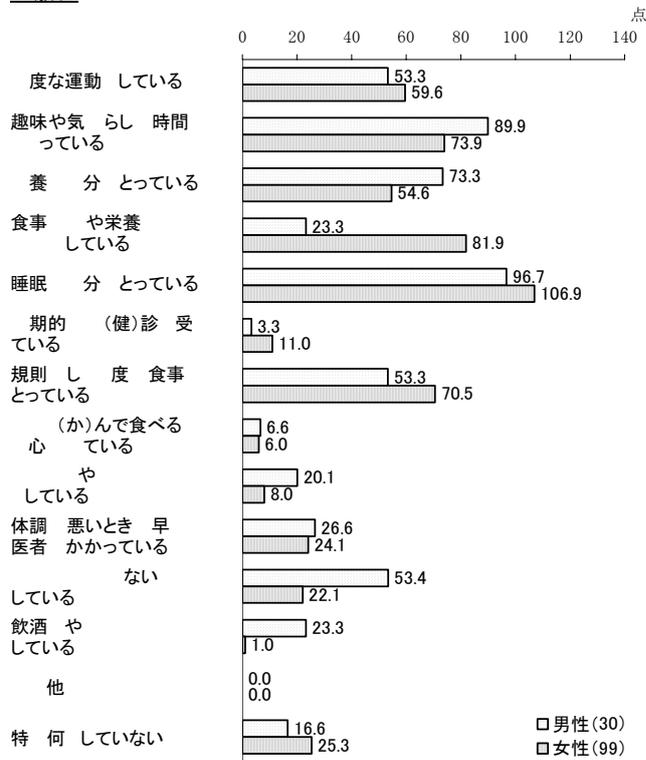
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代で50歳代、70歳以上で「適度な運動をしている」の割合が高くなっています。また、すべての年代において、男性に比べ、女性で「食事の量や栄養バランスに注意している」「規則正しく三度の食事をとっている」の割合が高くなっています。

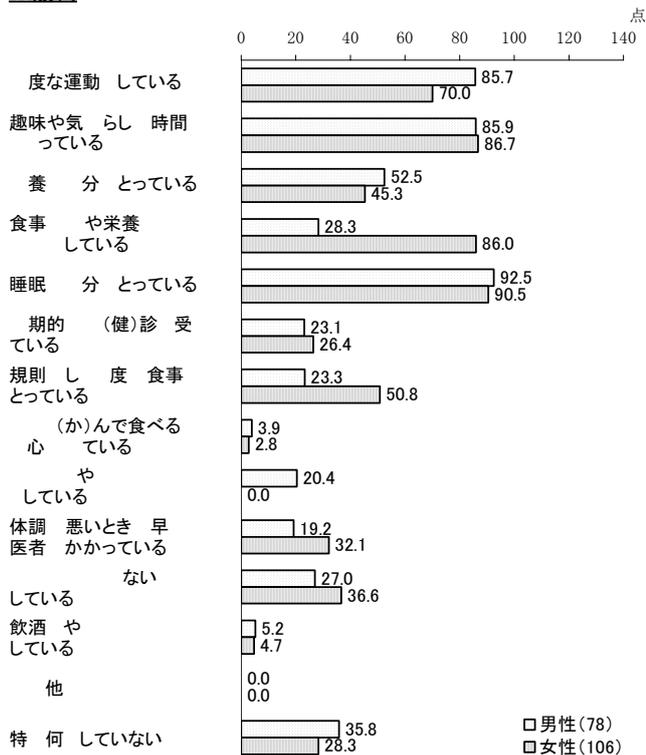
20歳代



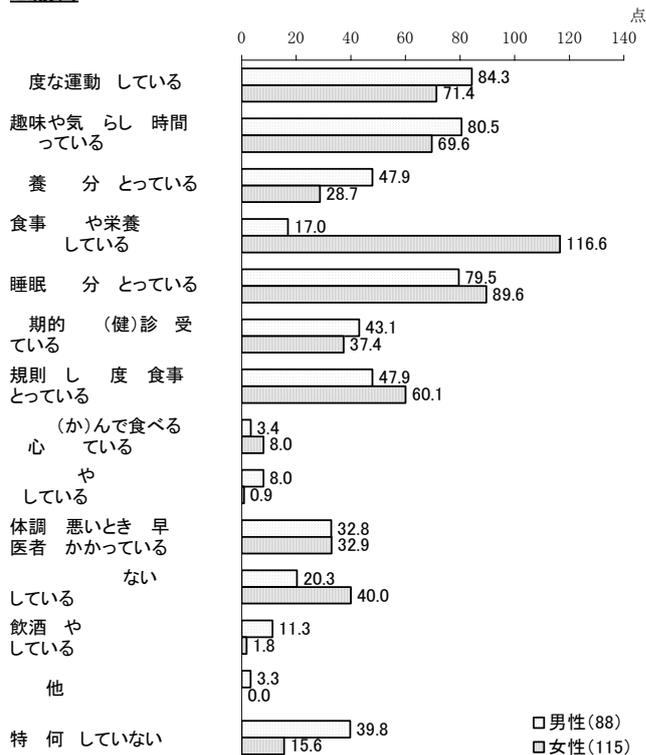
30歳代



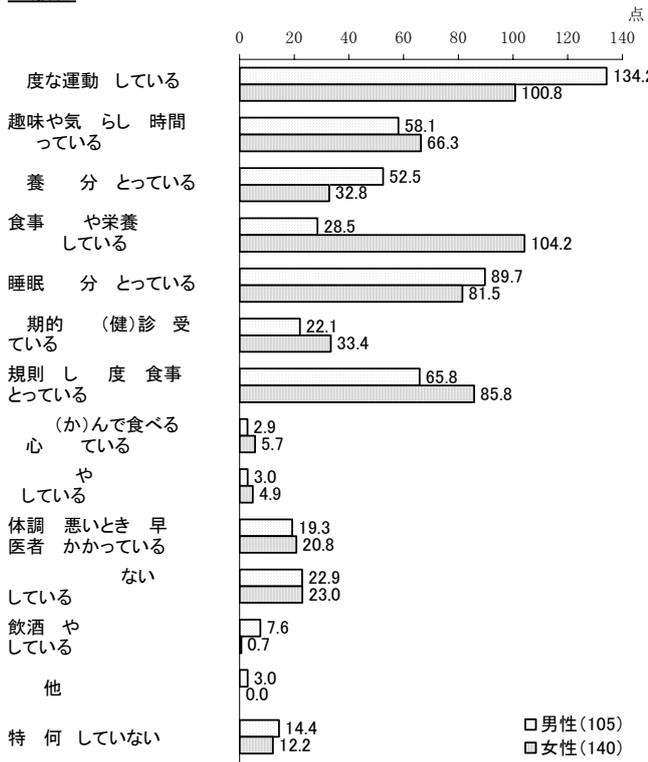
40歳代



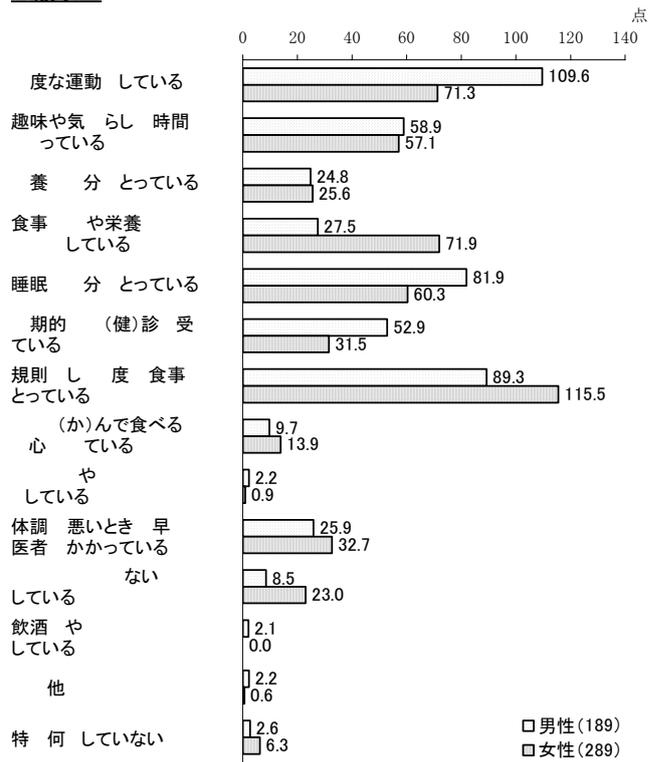
50歳代



60歳代



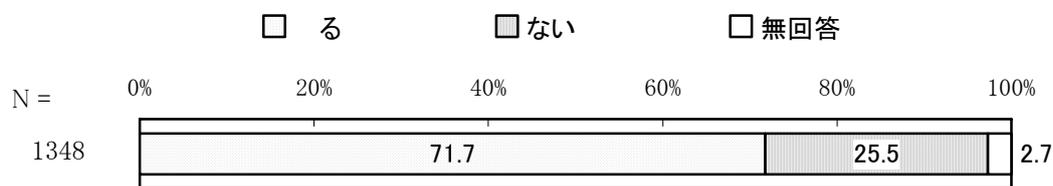
70歳以上



問 45 かかりつけの医師や歯科医師や薬局がありますか。(はそれぞれ1つ)

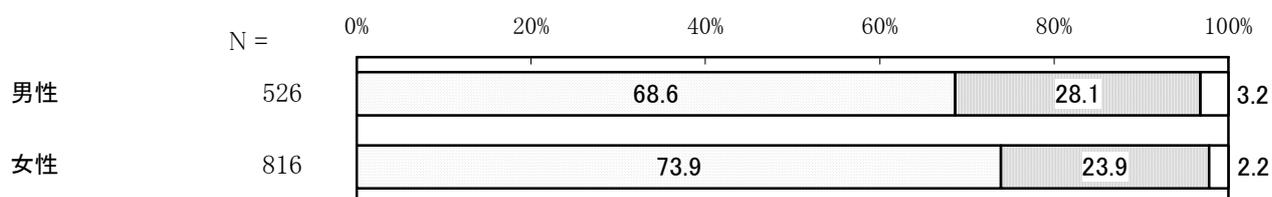
(ア) かかりつけ医師

「ある」の割合が71.7%、「ない」の割合が25.5%となっています。



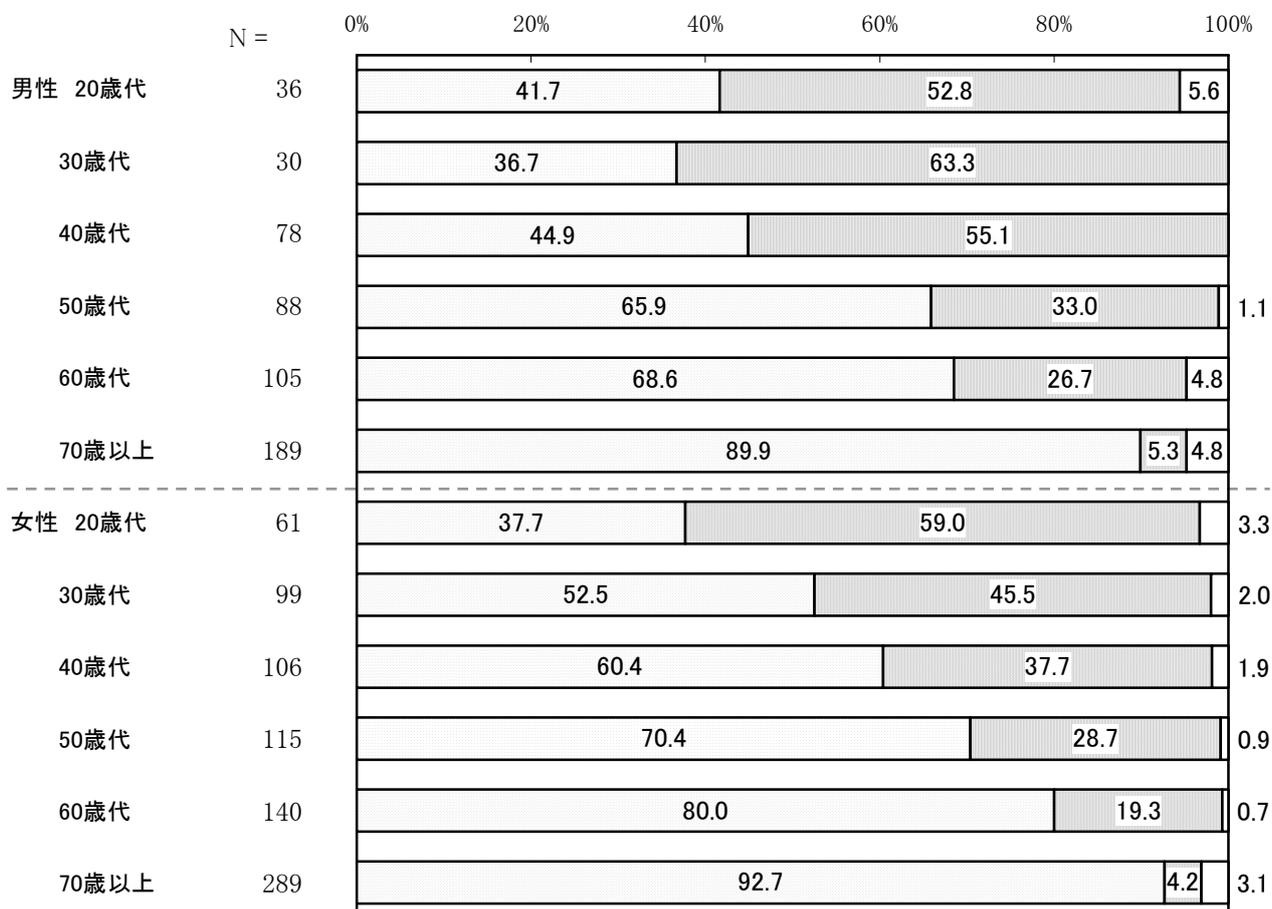
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ない」の割合が高くなっています。



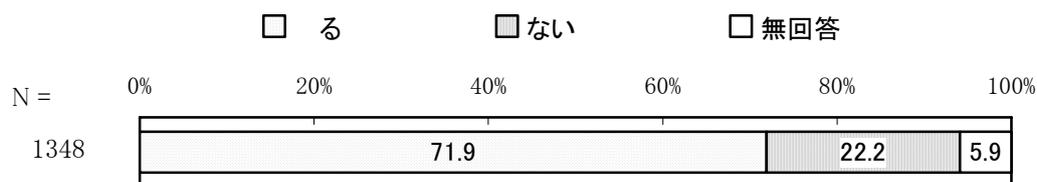
【性・年代別】

性・年代別でみると、男性の20歳代を除き、男女ともに年代が上がるほど「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。



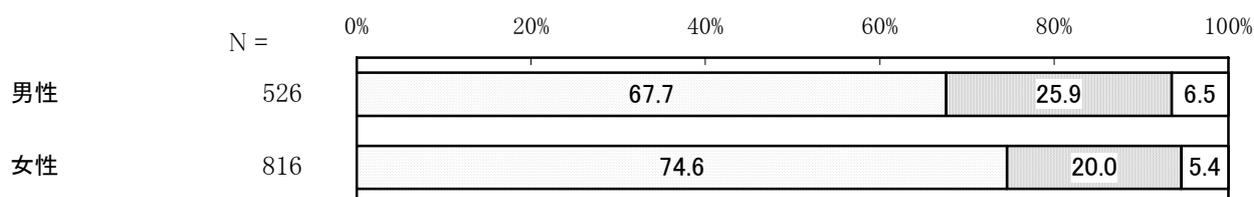
(イ) かかりつけ歯科医師

「ある」の割合が71.9%、「ない」の割合が22.2%となっています。



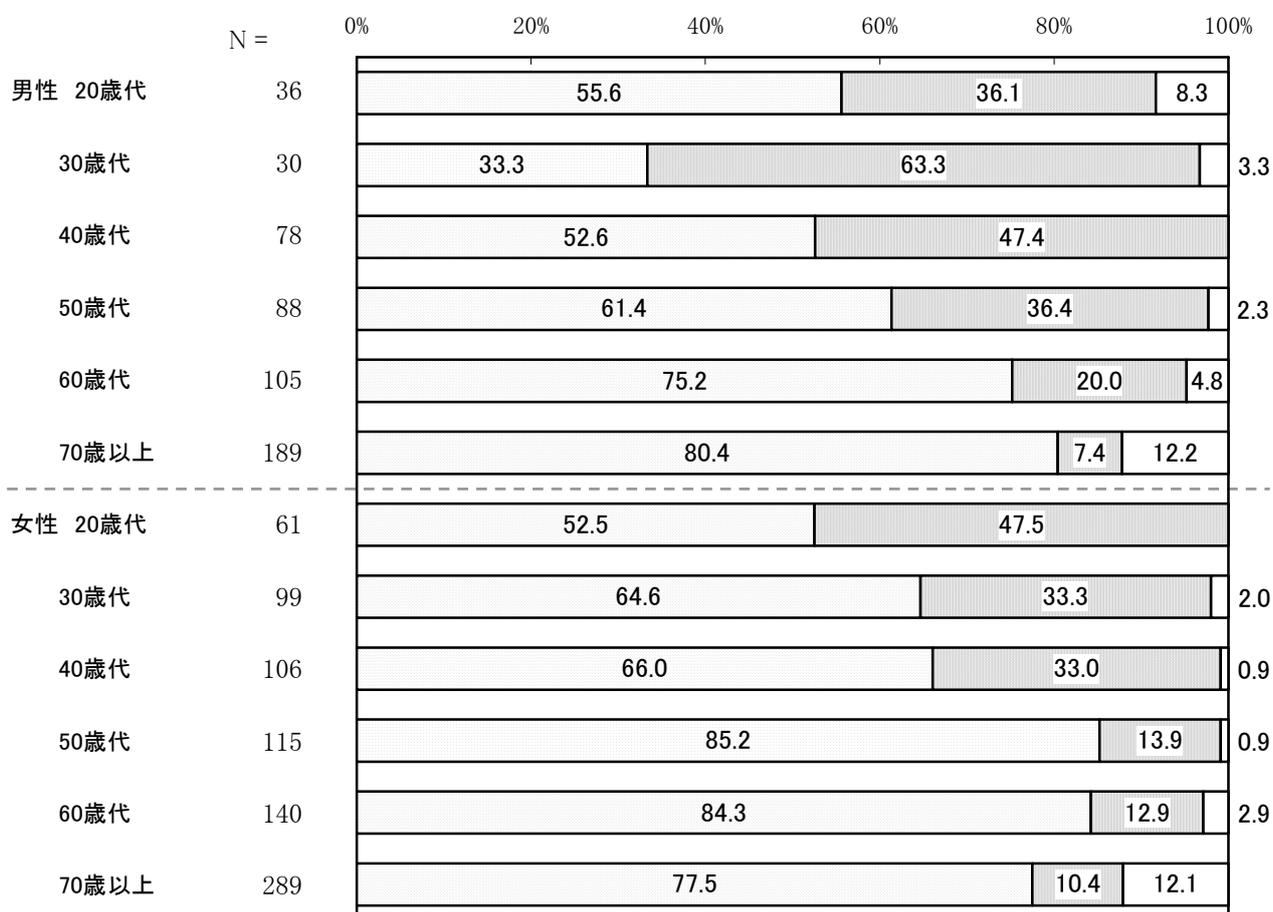
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ない」の割合が高くなっています。



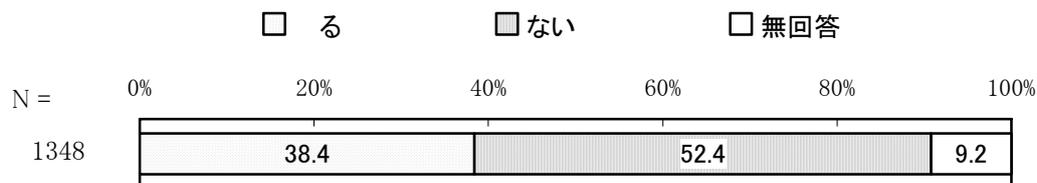
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の70歳以上、女性の50歳代、60歳代で「ある」の割合が高く、8割を超えています。一方、男性の30歳代で「ない」の割合が高く、6割を超えています。



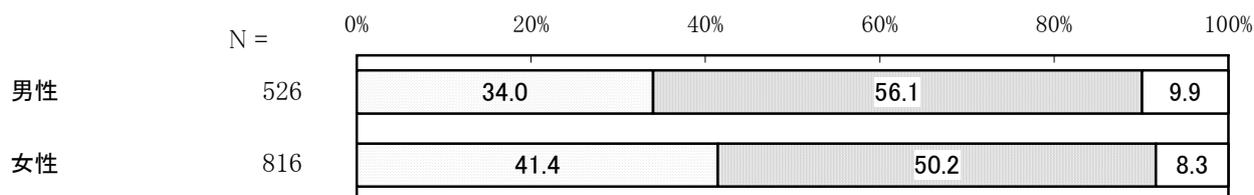
(ウ) かかりつけ薬局

「ある」の割合が38.4%、「ない」の割合が52.4%となっています。



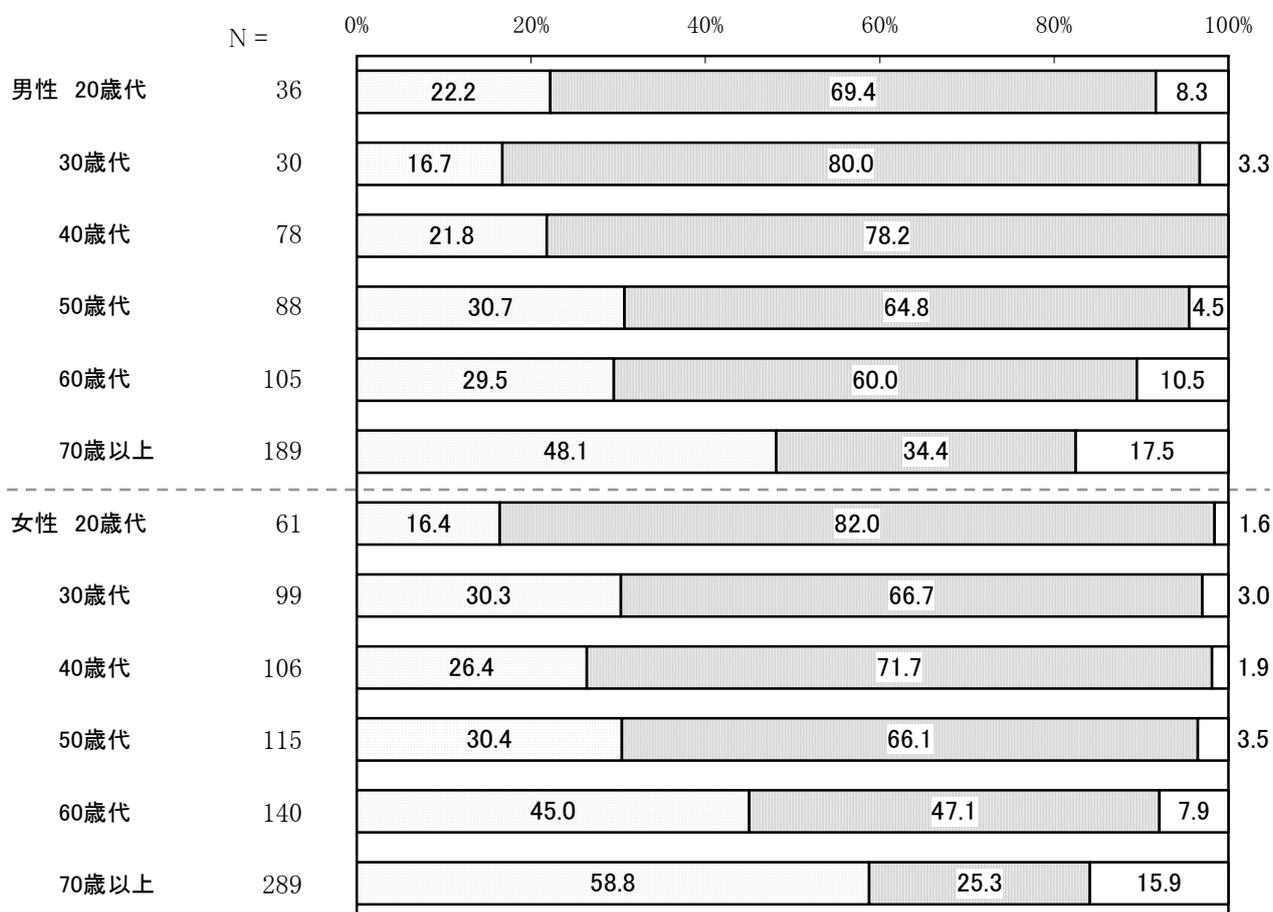
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ない」の割合が高くなっています。



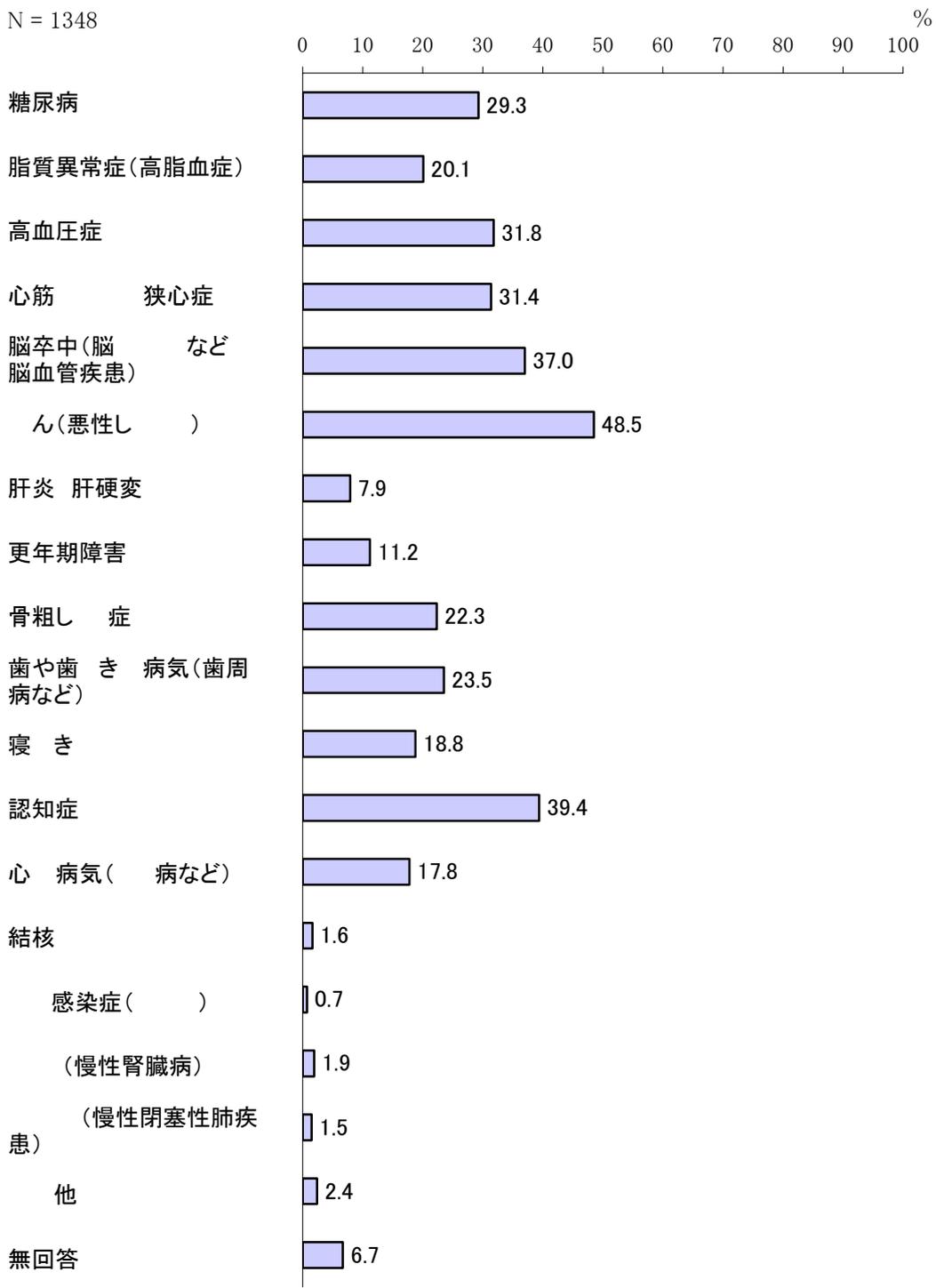
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の70歳以上、女性の60歳代以上で「ある」の割合が高く、4割を超えています。一方、男性の30歳代、40歳代、女性の20歳代で「ない」の割合が高く、約8割となっています。



問 46 次のうち，どんな病気や予防法に関心がありますか。
 (は最もあてはまるもの5つまで)

「がん（悪性しゅよう）」の割合が 48.5%と最も高く，次いで「認知症」の割合が 39.4%，
 「脳卒中（脳こうそくなどの脳血管疾患）」の割合が 37.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「糖尿病」「高血圧症」「心筋こうそく、狭心症」「脳卒中（脳こうそくなどの脳血管疾患）」「肝炎、肝硬変」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「更年期障害」「骨粗しょう症」「認知症」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	糖尿病	脂質異常症(高脂血症)	高血圧症	心筋こうそく、狭心症	脳卒中(脳こうそくなどの脳血管疾患)	がん(悪性しゅよう)	肝炎、肝硬変	更年期障害	骨粗しょう症
男性	526	37.3	22.1	38.4	40.1	43.9	51.9	12.4	2.1	5.1
女性	816	24.3	18.9	27.7	25.9	32.7	46.4	5.1	17.2	33.2

区分	歯や歯ぐきの病気(歯周病など)	寝たきり	認知症	心の病気(うつ病など)	結核	HIV感染症(エイズ)	CKD(慢性腎臓病)	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	その他	無回答
男性	22.6	13.7	29.1	12.9	2.5	1.0	1.3	1.9	2.7	8.2
女性	24.0	21.9	45.8	21.0	1.1	0.5	2.2	1.2	2.1	5.8

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代以上で「心筋こうそく、狭心症」の割合が高く、4割を超えています。また、女性の20歳代～40歳代で「心の病気（うつ病など）」の割合が高くなっています。女性の50歳代以上で「骨粗しょう症」「認知症」の割合が高くなっています。

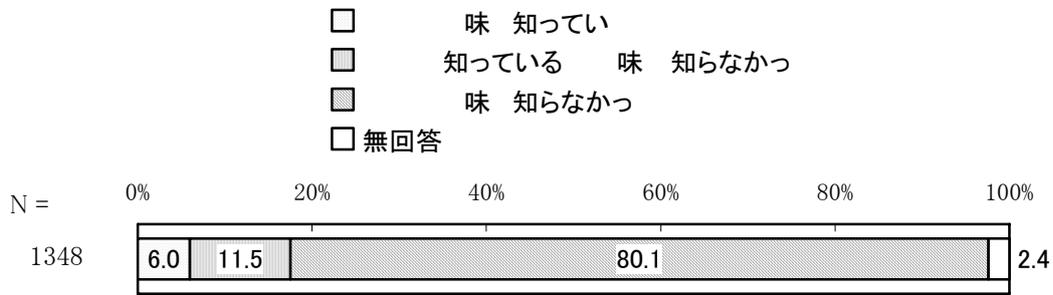
単位：%

区分	有効回答数(件)	糖尿病	脂質異常症(高脂血症)	高血圧症	心筋こうそく、狭心症	脳卒中(脳こうそくなどの脳血管疾患)	がん(悪性しゅよう)	肝炎、肝硬変	更年期障害	骨粗しょう症
男性 20歳代	36	36.1	8.3	25.0	19.4	30.6	36.1	5.6	—	—
30歳代	30	46.7	23.3	23.3	36.7	40.0	53.3	6.7	—	—
40歳代	78	35.9	28.2	30.8	25.6	46.2	60.3	17.9	2.6	—
50歳代	88	46.6	27.3	36.4	44.3	52.3	60.2	19.3	—	1.1
60歳代	105	40.0	23.8	32.4	41.9	40.0	55.2	11.4	2.9	9.5
70歳以上	189	30.7	18.5	50.8	47.6	44.4	45.5	9.5	3.2	8.5
女性 20歳代	61	29.5	3.3	11.5	13.1	23.0	41.0	8.2	18.0	19.7
30歳代	99	27.3	21.2	17.2	10.1	20.2	44.4	8.1	26.3	30.3
40歳代	106	20.8	15.1	13.2	16.0	25.5	57.5	3.8	54.7	16.0
50歳代	115	24.3	27.0	20.9	25.2	33.0	57.4	3.5	27.8	34.8
60歳代	140	24.3	31.4	32.9	29.3	34.3	58.6	5.0	4.3	34.3
70歳以上	289	23.9	13.5	40.5	36.0	40.8	34.3	4.8	2.4	41.9

区分	歯や歯ぐきの病気(歯周病など)	寝たきり	認知症	心の病気(うつ病など)	結核	HIV感染症(エイズ)	CKD(慢性腎臓病)	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	その他	無回答
男性 20歳代	30.6	2.8	13.9	30.6	5.6	2.8	5.6	5.6	2.8	16.7
30歳代	30.0	6.7	16.7	30.0	—	3.3	—	—	3.3	10.0
40歳代	17.9	1.3	12.8	20.5	1.3	2.6	2.6	1.3	1.3	6.4
50歳代	25.0	6.8	23.9	13.6	1.1	1.1	1.1	1.1	4.5	3.4
60歳代	27.6	16.2	30.5	15.2	—	—	1.0	1.9	1.9	5.7
70歳以上	18.0	23.8	42.3	2.1	4.8	—	0.5	2.1	2.6	10.6
女性 20歳代	54.1	3.3	16.4	47.5	—	3.3	3.3	—	1.6	8.2
30歳代	34.3	4.0	16.2	36.4	3.0	2.0	1.0	2.0	—	8.1
40歳代	28.3	8.5	34.9	34.0	0.9	—	—	1.9	4.7	2.8
50歳代	26.1	17.4	47.8	24.3	0.9	—	1.7	2.6	2.6	2.6
60歳代	25.0	20.0	52.1	10.7	0.7	—	2.9	1.4	2.1	5.7
70歳以上	11.4	39.8	62.3	8.7	1.0	—	3.1	0.3	1.7	6.9

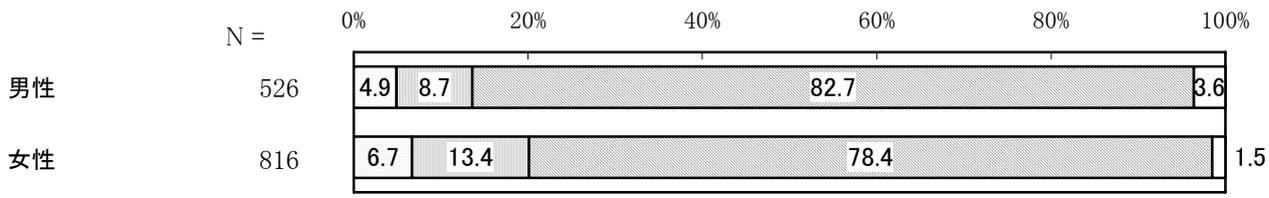
問 47 あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」を知っていますか。
（ は1つだけ）

「言葉も意味も知らなかった」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が 11.5%、「言葉も意味も知っていた」の割合が 6.0%となっています。



【性別】

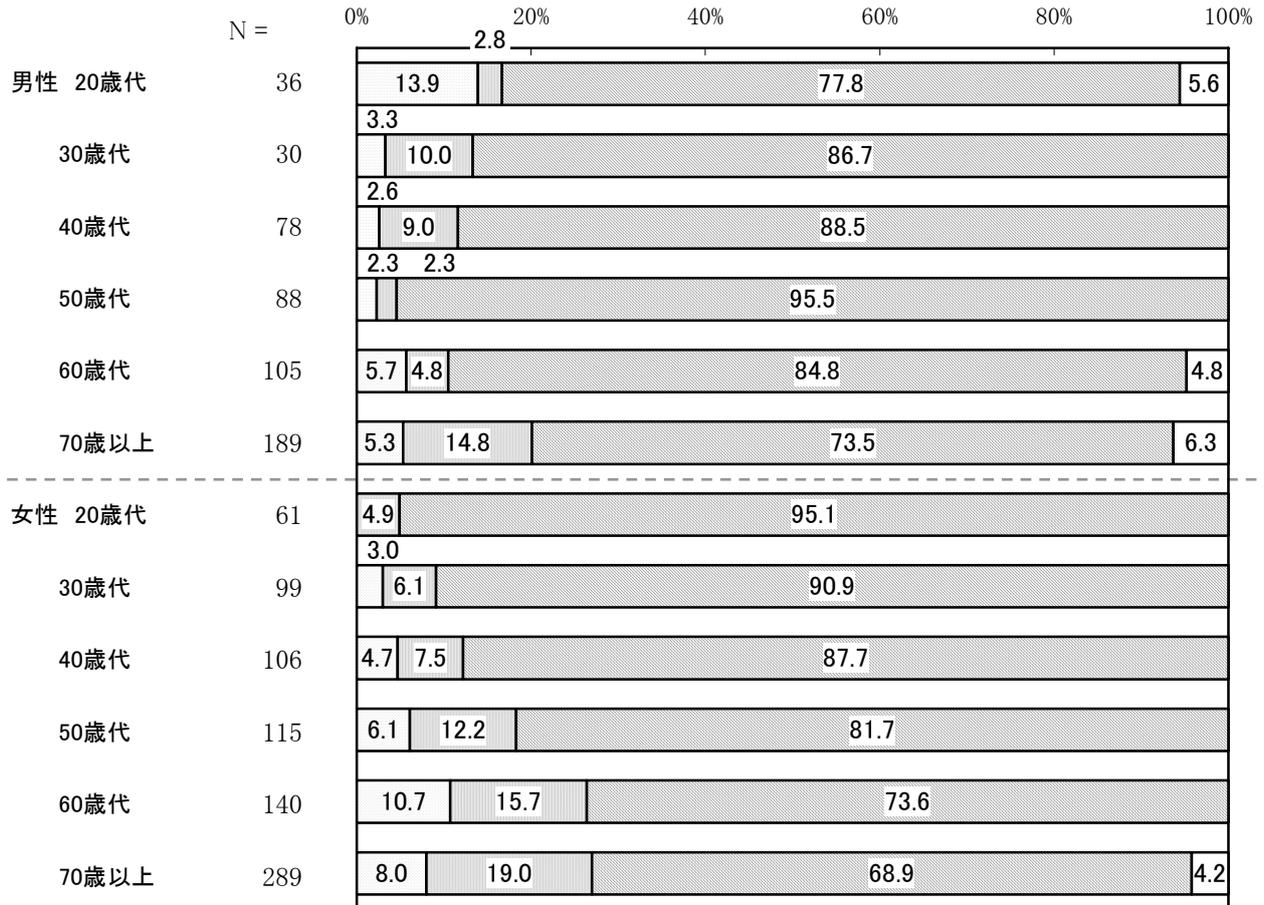
性別で見ると、女性に比べ、男性で「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が低くなっています。



【性・年代別】

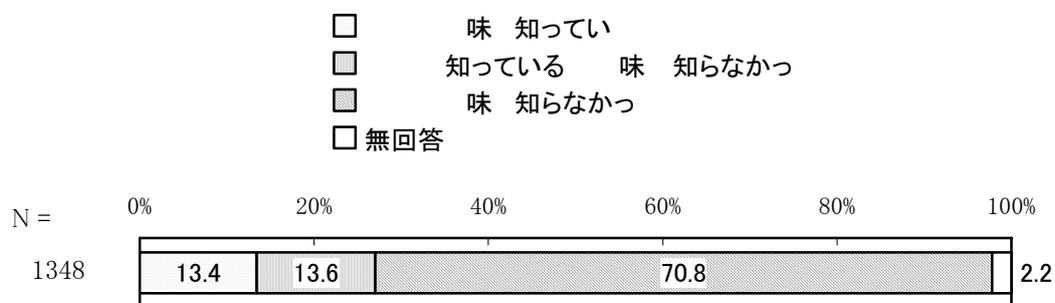
性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代、女性の20歳代、30歳代で「言葉も意味も知らなかった」の割合が高く、9割を超えています。

- 味 知ってい
- 知っている 味 知らなかつ
- 味 知らなかつ
- 無回答



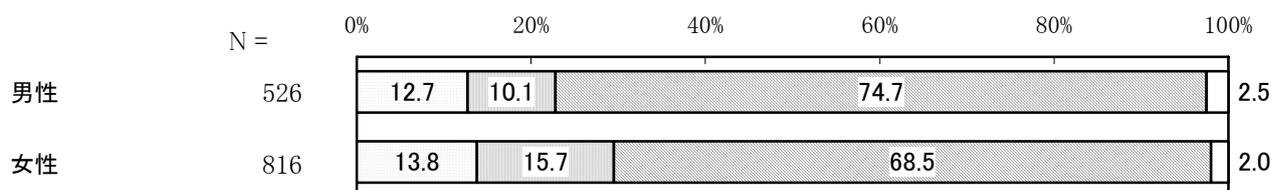
問 48 あなたは、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という病気を知っていますか。
（ は1つだけ）

「言葉も意味も知らなかった」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が 13.6%、「言葉も意味も知っていた」の割合が 13.4%となっています。



【性別】

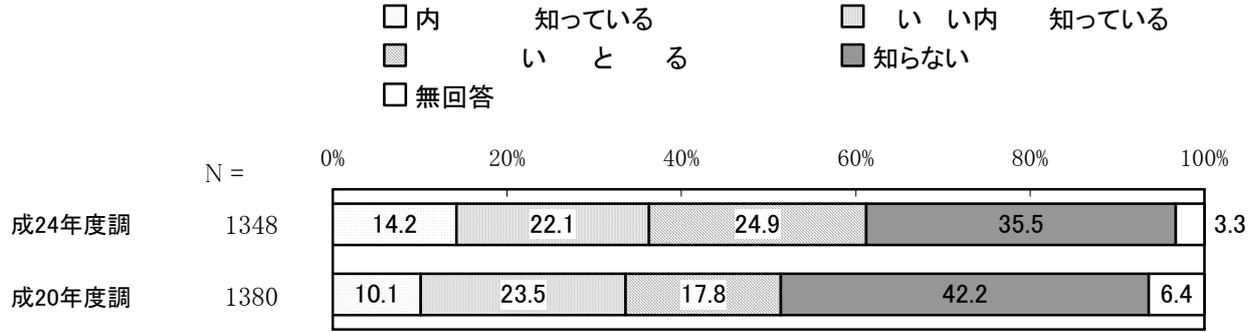
性別で見ると、女性に比べ、男性で「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が低くなっています。



問 49 あなたは、「特定健康診査・特定保健指導」を知っていますか。(は1つだけ)

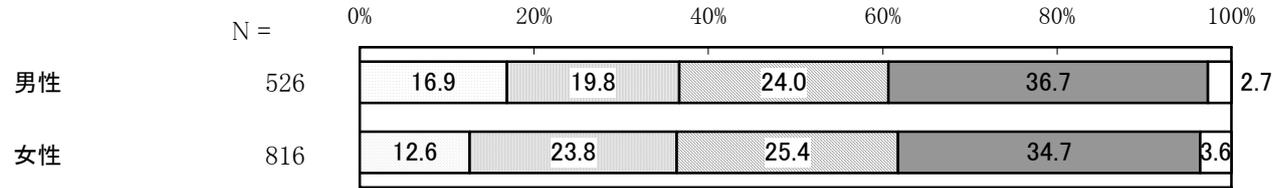
「知らない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が24.9%、「だいたい内容を知っている」の割合が22.1%となっています。

前回調査と比較すると、「言葉は聞いたことがある」の割合が7.1ポイント増加しています。一方、「知らない」の割合が6.7ポイント減少しています。



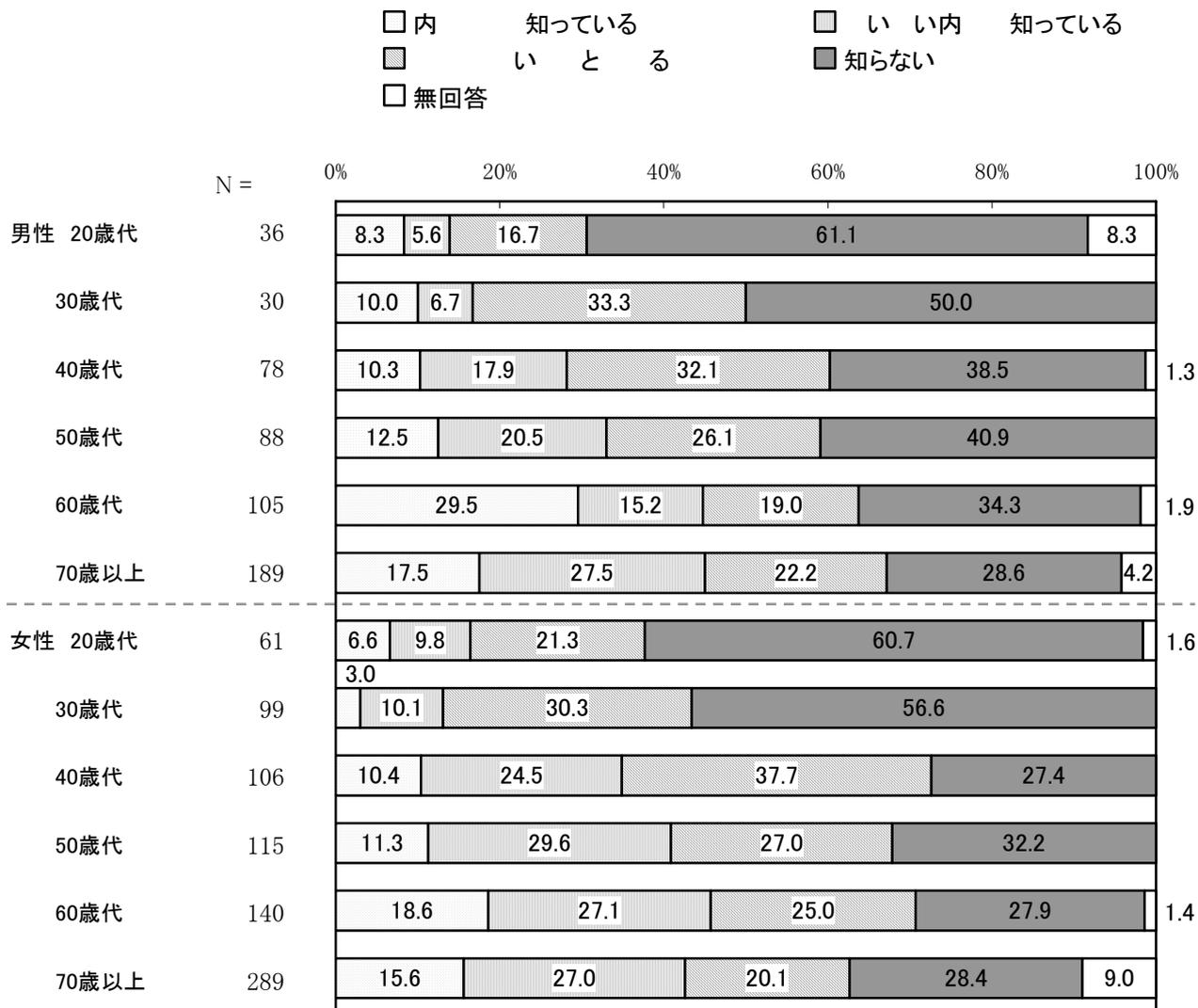
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

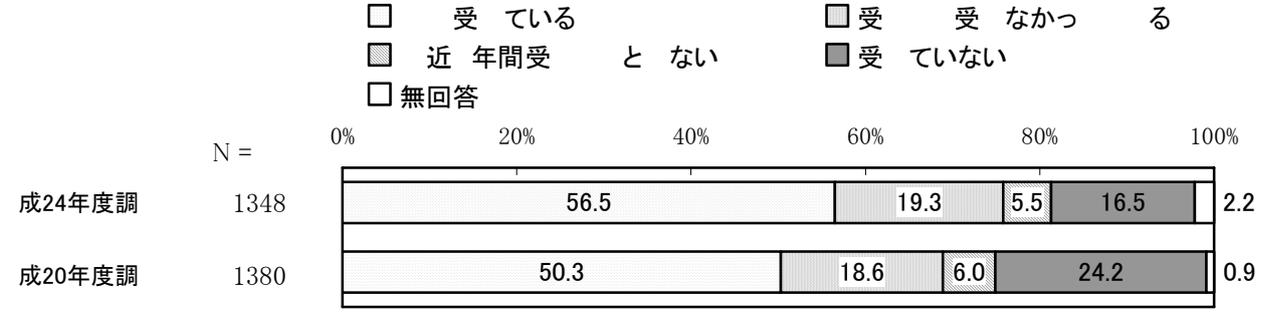
性・年代別でみると、男女ともに70歳以上を除く60歳代以下では、年代が上がるほど「内容はよく知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。一方、男女の20歳代、女性の20歳代、30歳代で「知らない」の割合が高く、5割を超えています。



問 50 あなたは、健康診査を定期的に受けていますか。(は1つだけ)

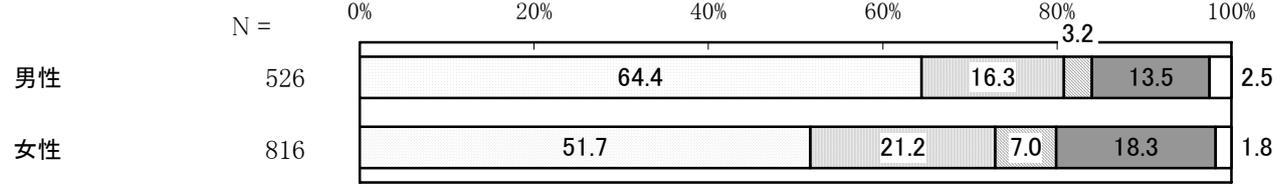
「必ず受けている」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「受けたり受けなかったりする」の割合が 19.3%、「受けていない」の割合が 16.5%となっています。

前回調査と比較すると、「必ず受けている」の割合が 6.2ポイント増加しています。一方、「受けていない」の割合が 7.7ポイント減少しています。



【性別】

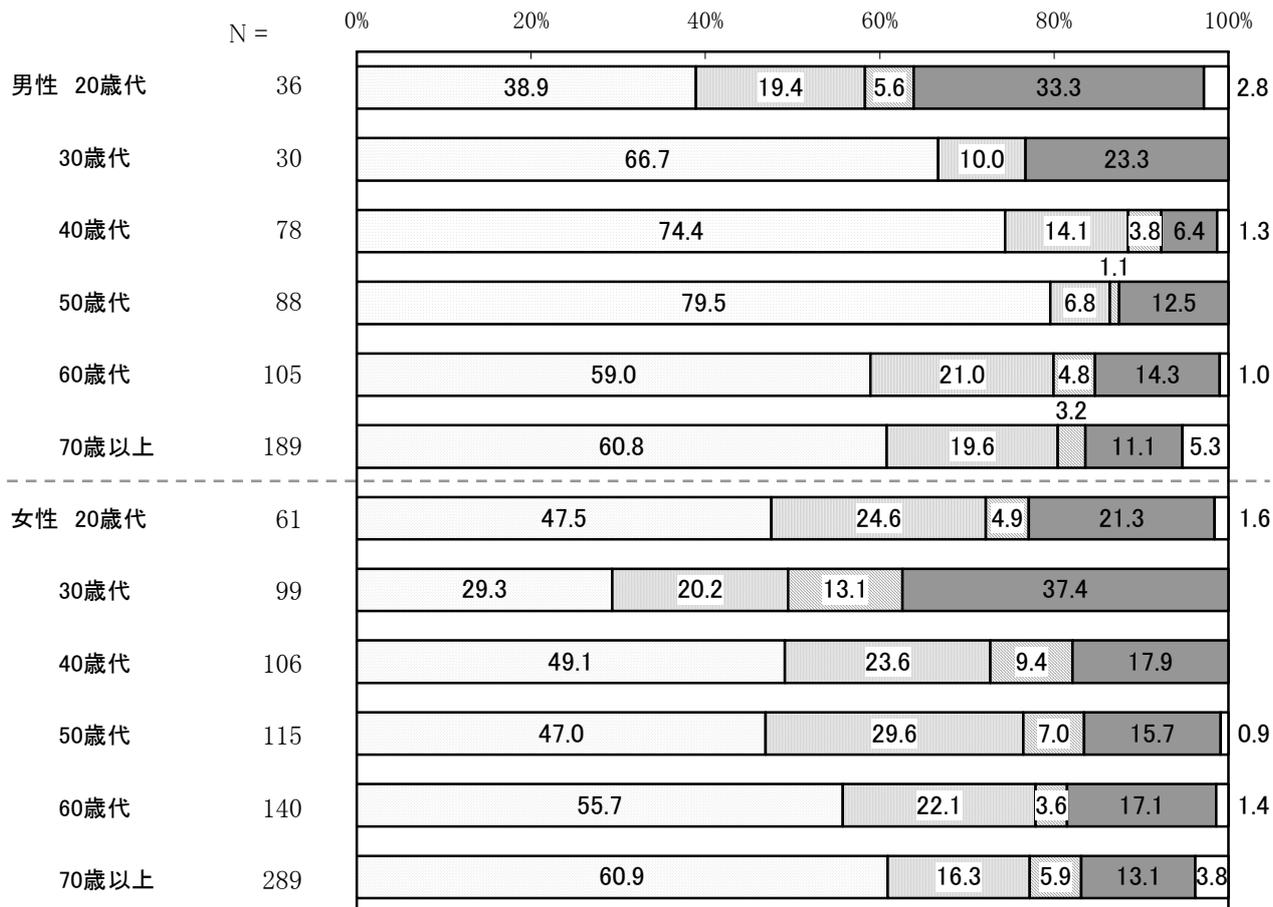
性別で見ると、男性に比べ、女性で「必ず受けている」の割合が低く、約5割となっています。



【性・年代別】

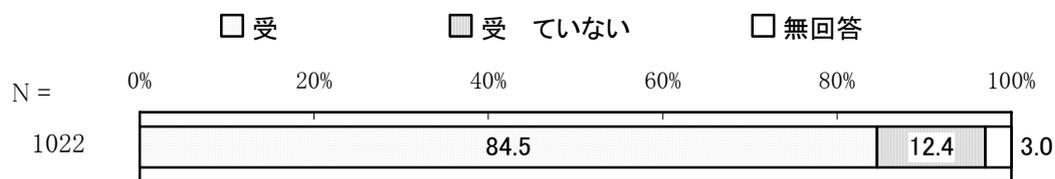
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の40歳代、50歳代で「必ず受けている」の割合が高く、7割を超えています。一方、男性の20歳代、女性の30歳代で「受けていない」の割合が高く、3割を超えています。

- 受 ている
- 近 年間受 と ない
- 無回答
- 受 受 なかっ てる
- 受 ていない



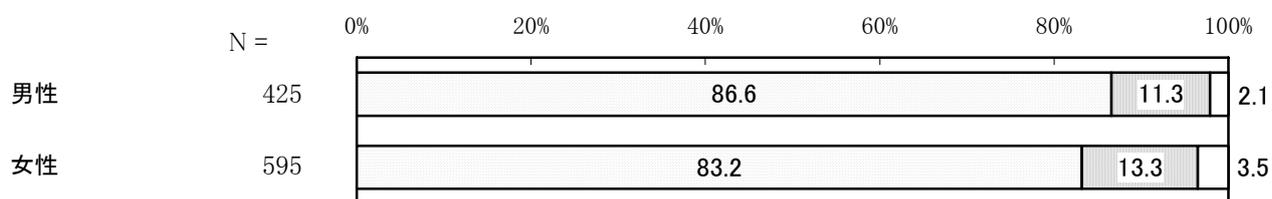
問 50-1 (問 50 で「1. 必ず受けている」「2. 受けたら受けなかったりする」に をつけた方におたずねします)
 健診結果について何か説明を受けましたか。(は1つだけ)

「受けた」の割合が84.5%, 「受けていない」の割合が12.4%となっています。



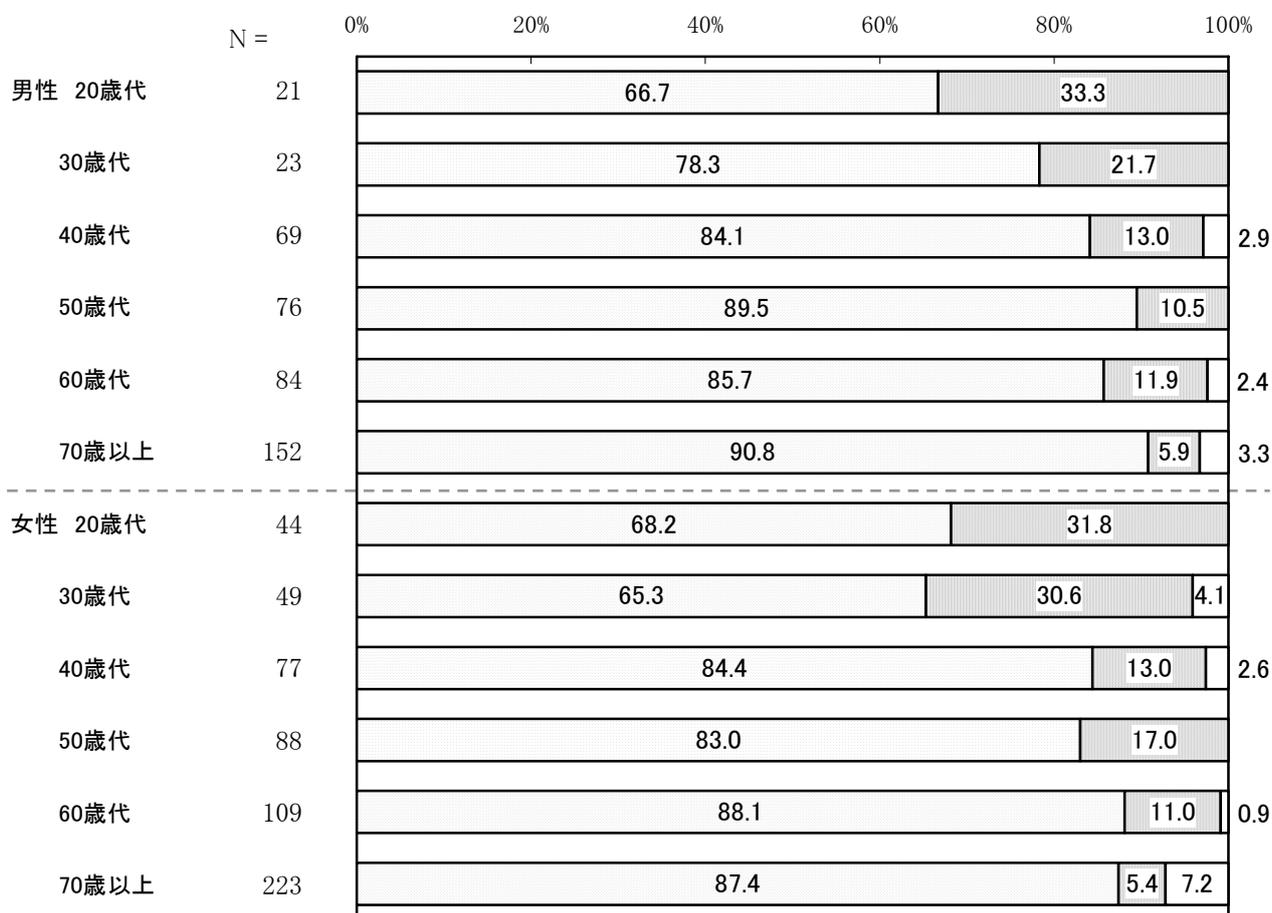
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



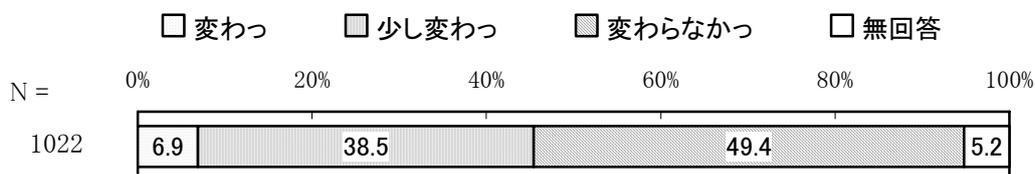
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、女性の20歳代、30歳代で「受けていない」の割合が高く、3割を超えています。



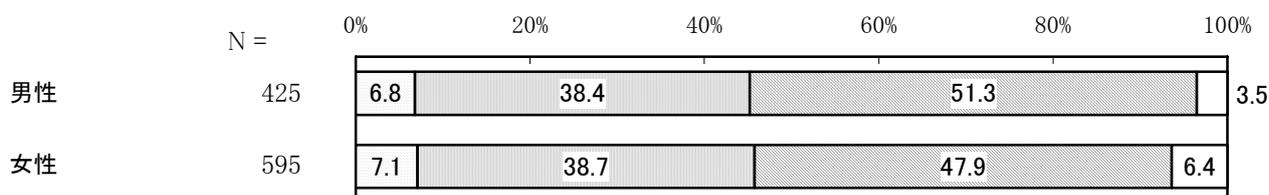
健診後，生活習慣は変わりましたか。(は1つだけ)

「変わらなかった」の割合が49.4%と最も高く，次いで「少し変わった」の割合が38.5%となっています。



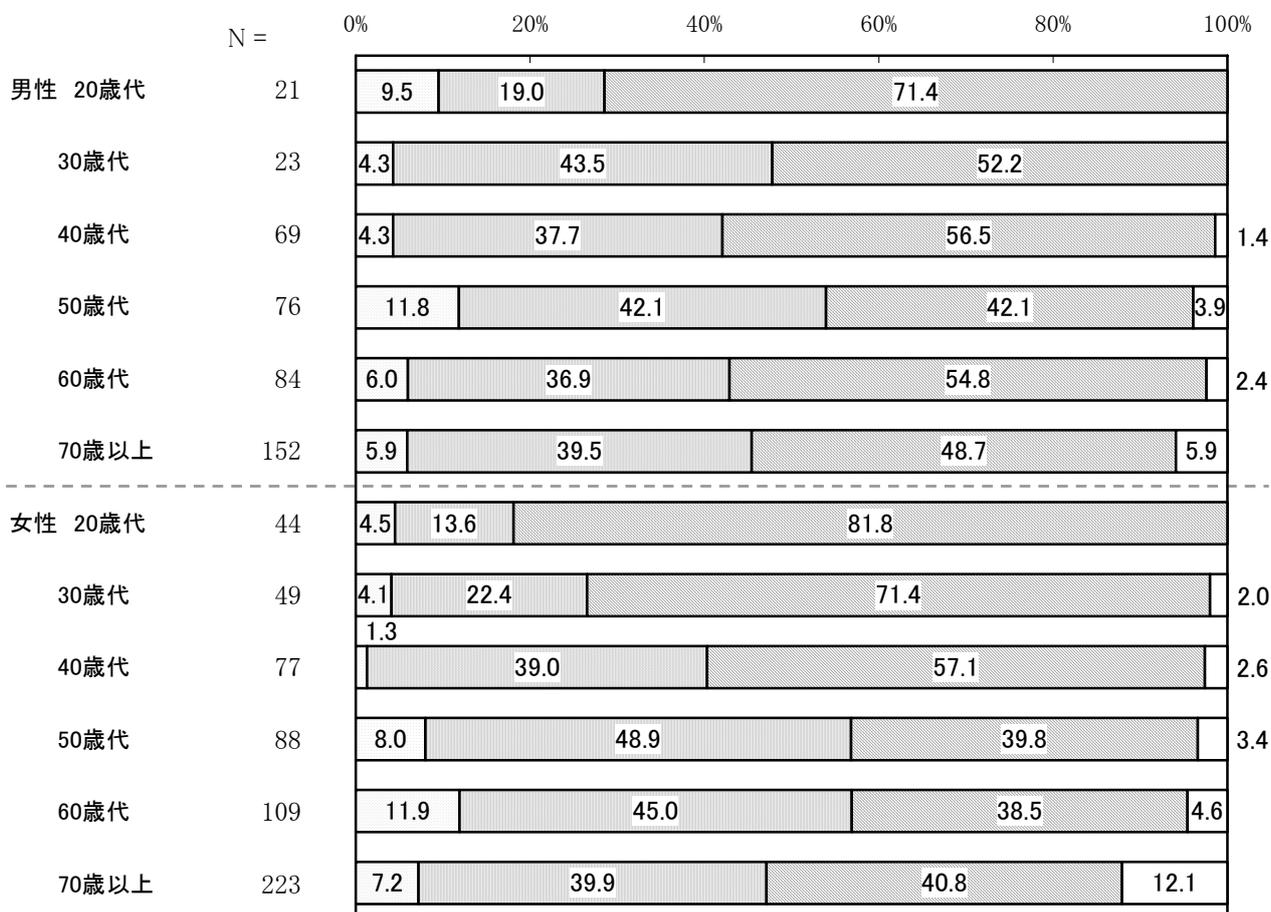
【性別】

性別でみると，大きな差異はみられません。



【性・年代別】

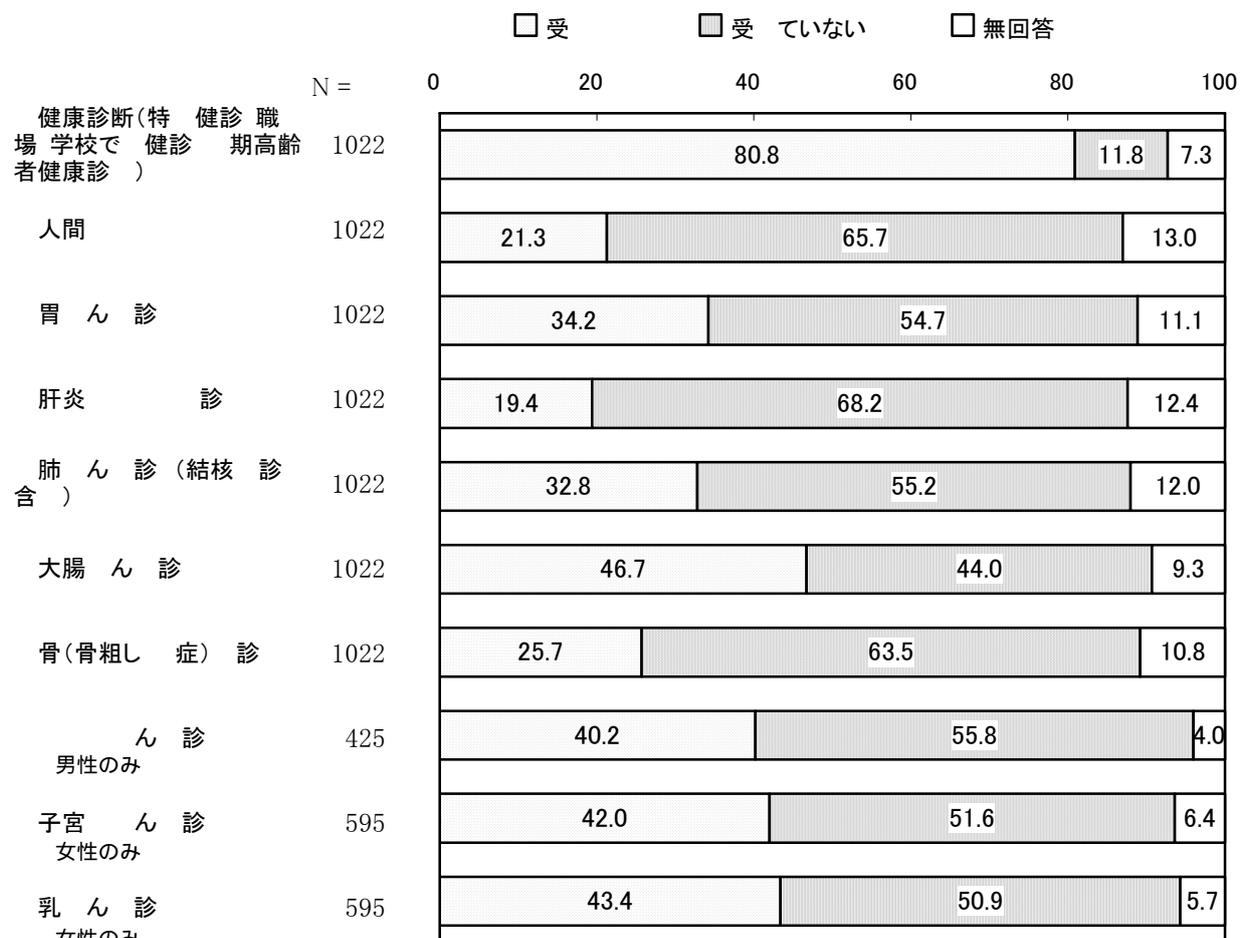
性・年代別でみると，他に比べ，男性の20歳代，女性の20歳代，30歳代で「変わらなかった」の割合が高く，7割を超えています。



定期的（1年に1回程度）に次の検診等を受診していますか。また、「1. 受けた」と回答した方はどこで受診しましたか。（受診状況，実施場所等の～それぞれには1つ）

受診状況

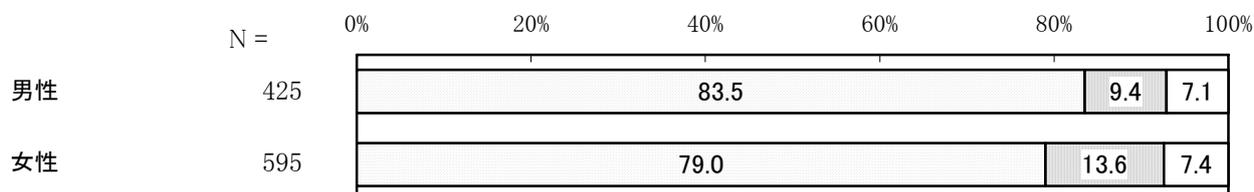
①健康診断（特定健診・職場・学校での健診・後期高齢者健康診査），⑥大腸がん検診，⑧前立腺がん検診，⑨子宮頸がん検診，⑩乳がん検診で「受けた」の割合が高く，4割を超えています。一方，②人間ドック，④肝炎ウイルス検診，⑦骨（骨粗しょう症）検診では「受けていない」の割合が高く，6割を超えています。



前立腺がん検診は，男性のみのためN値が異なり425となっています。
子宮頸がん検診と乳がん検診は，女性のためのN値が異なり595となっています。

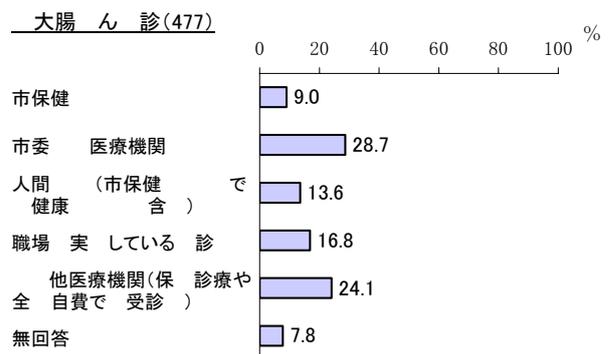
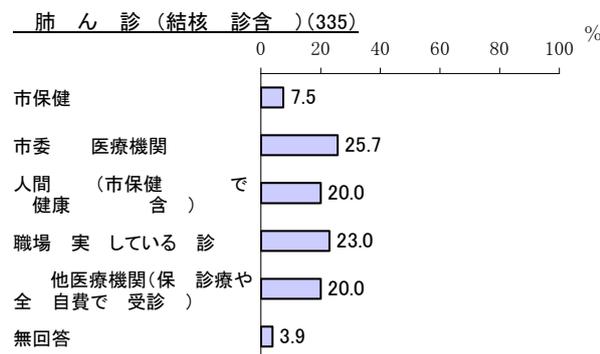
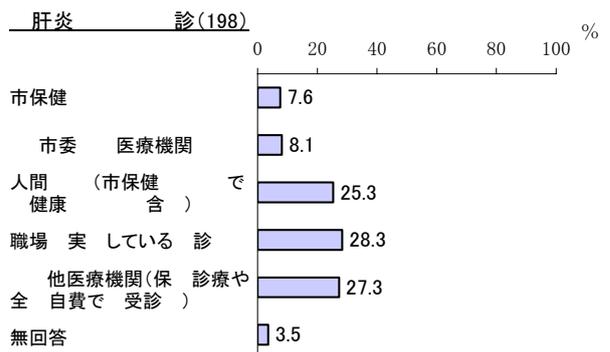
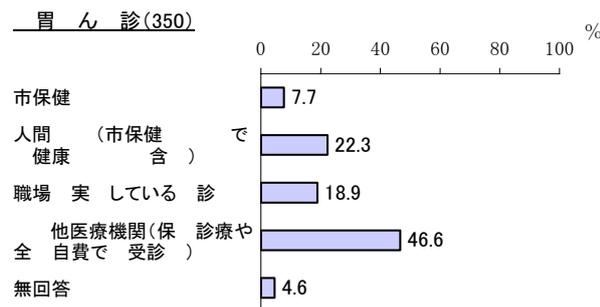
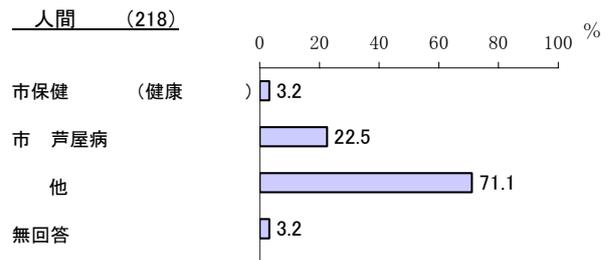
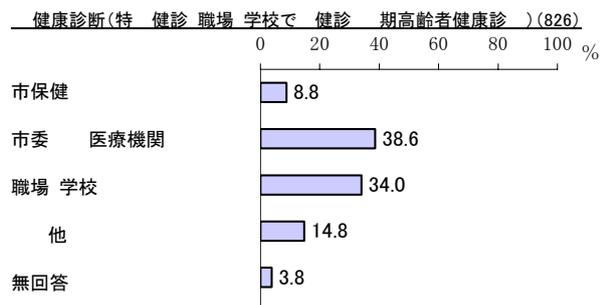
【性別】

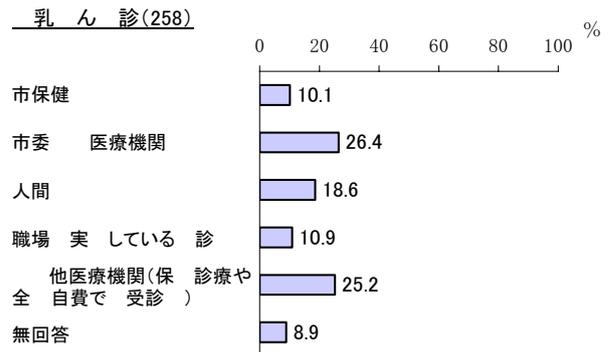
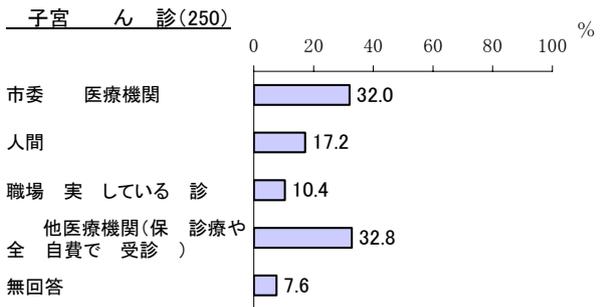
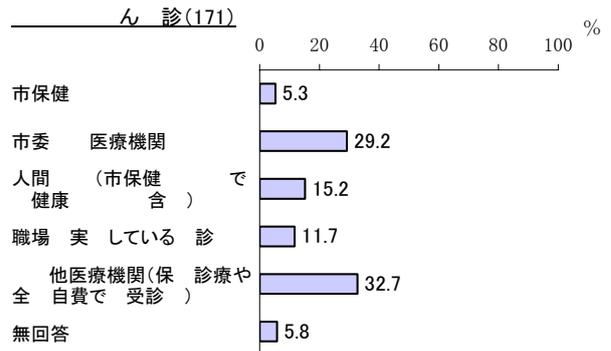
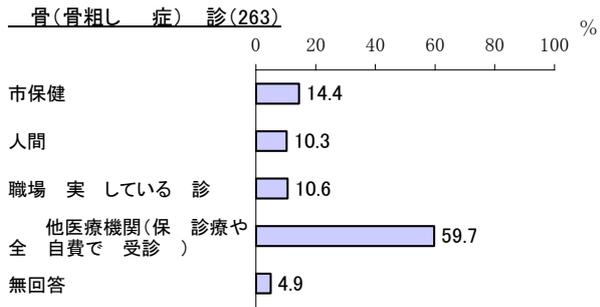
性別でみると，大きな差異はみられません。



実施場所

他に比べ、⑦骨（骨粗しょう症）検診、⑩乳がん検診で「市保健センター」の割合が高く、1割を超えています。また、①健康診断（特定健診・職場・学校での健診・後期高齢者健康診査）、⑨子宮頸がん検診で「市委託の医療機関」の割合が高く、3割を超えています。なお、①健康診断（特定健診・職場・学校での健診・後期高齢者健康診査）では、「職場・学校」の割合も高く、3割を超えています。③胃がん検診、⑦骨（骨粗しょう症）検診で「その他医療機関（保険診療や全額自費での受診等）」の割合が高く、4割を超えています。

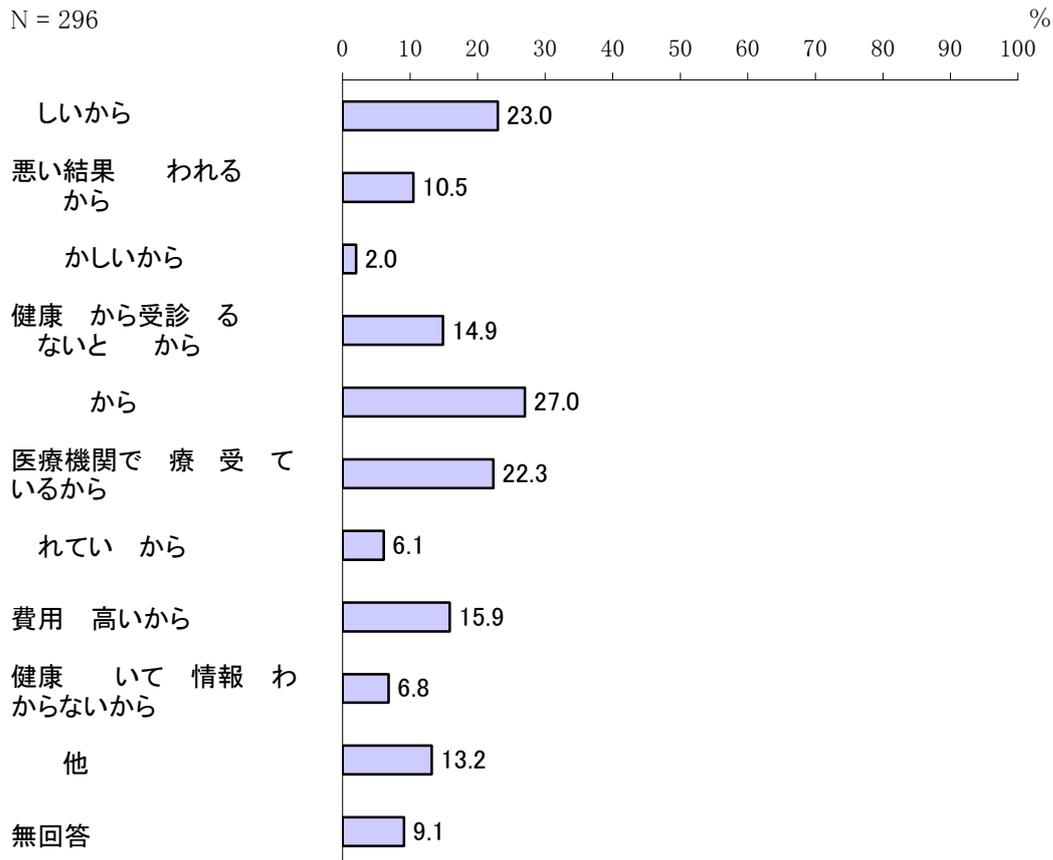




問 50-2 (問 50 で「 3 . 最近 3 年間 受けた ことが ない」「 4 . 受けて いない」に つけた 方におたずね します)

受診 して いない 理由 は 何 ですか。(あてはまる もの すべて に○)

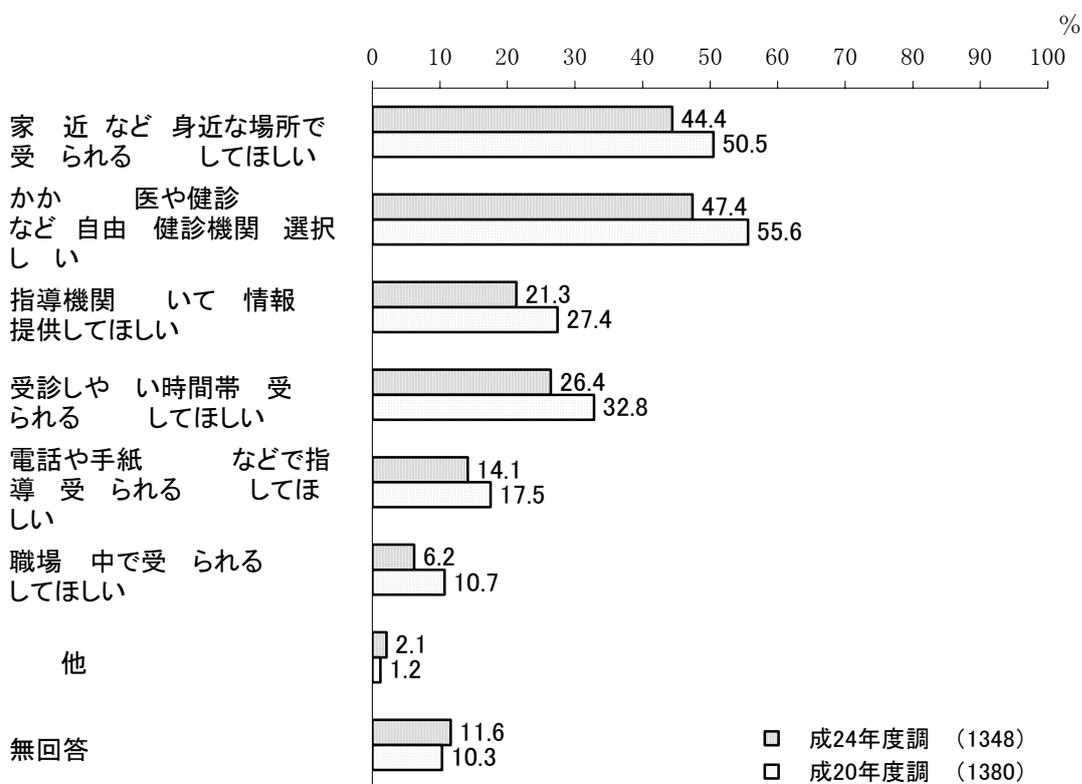
「面倒 だ から」の割合 が 27.0%と 最も 高く、次いで「忙しい から」の割合 が 23.0%、「医療 機関 で 治療 を 受けて いる から」の割合 が 22.3%と なって います。



問 51 あなたが、「特定保健指導」を利用するとすれば、どのようなことを希望されますか。(あてはまるものすべてに)

「かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「家の近くなど、身近な場所で受けられるようにしてほしい」の割合が 44.4%、「受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい」の割合が 26.4%となっています。

前回調査と比較すると、「家の近くなど、身近な場所で受けられるようにしてほしい」「かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい」「指導機関についての情報を提供してほしい」「受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい」の割合が減少しており、特に「かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい」では、8.2ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「指導機関についての情報を提供してほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家の近くなど、身近な場所で受けられるようにしてほしい	家の近くなど、身近な場所 診機関を選択したい	かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい	指導機関についての情報を提供してほしい	受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい	電話や手紙、メールなどで指導を受けられるようにしてほしい	職場の中で受けられるようにしてほしい	その他	無回答
男性	526	42.6	43.3	15.8	26.8	13.1	8.7	3.4	11.6	
女性	816	45.5	50.4	25.0	26.3	14.6	4.5	1.1	11.5	

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、30歳代で「受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい」「電話や手紙、メールなどで指導を受けられるようにしてほしい」「職場の中で受けられるようにしてほしい」の割合が高くなっています。また、女性の20歳代～40歳代で「家の近くなど、身近な場所で受けられるようにしてほしい」「受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい」「電話や手紙、メールなどで指導を受けられるようにしてほしい」の割合が高くなっています。男性の60歳代以上、女性の50歳代以上で「かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい」の割合が高くなっています。

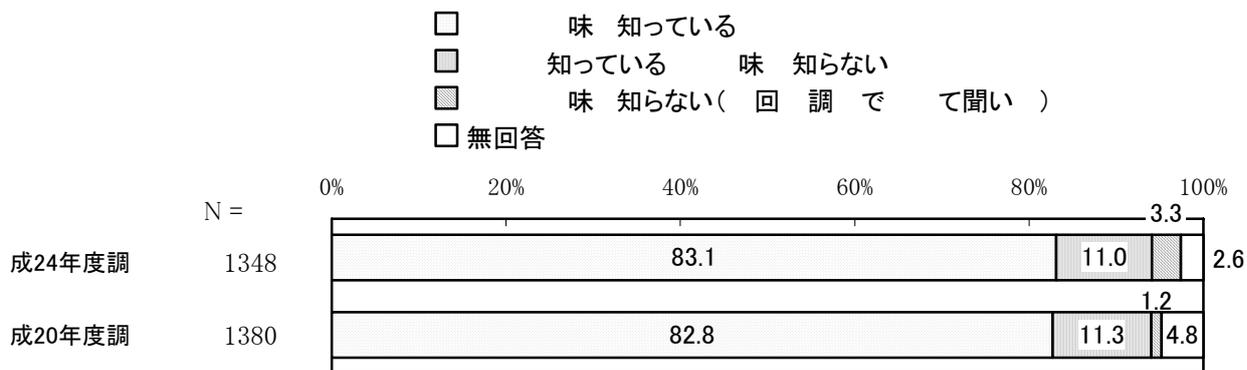
単位：％

区分	有効回答数(件)	家の近くなど、身近な場所で受けられるようにしてほしい	家の近くなど、身近な場所 診機関を選択したい	かかりつけ医や健診センターなど、自由に健診機関を選択したい	指導機関についての情報を提供してほしい	受診しやすい時間帯に受けられるようにしてほしい	電話や手紙、メールなどで指導を受けられるようにしてほしい	職場の中で受けられるようにしてほしい	その他	無回答
男性 20歳代	36	47.2	19.4	13.9	50.0	25.0	25.0	5.6	5.6	
30歳代	30	43.3	20.0	10.0	66.7	36.7	30.0	—	—	
40歳代	78	47.4	28.2	14.1	33.3	15.4	16.7	1.3	9.0	
50歳代	88	44.3	43.2	14.8	36.4	15.9	13.6	5.7	5.7	
60歳代	105	42.9	52.4	18.1	21.0	8.6	2.9	3.8	6.7	
70歳以上	189	38.6	52.9	16.9	12.2	7.4	—	3.2	21.2	
女性 20歳代	61	63.9	34.4	31.1	45.9	21.3	16.4	—	—	
30歳代	99	59.6	31.3	17.2	41.4	21.2	11.1	2.0	4.0	
40歳代	106	53.8	48.1	30.2	42.5	20.8	9.4	—	2.8	
50歳代	115	44.3	55.7	30.4	27.8	18.3	1.7	0.9	8.7	
60歳代	140	45.0	54.3	30.0	22.1	10.7	2.1	0.7	8.6	
70歳以上	289	34.6	57.1	20.1	12.5	8.7	—	1.7	22.1	

**問 52 あなたは、「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」を知っていますか。
（ は1つだけ）**

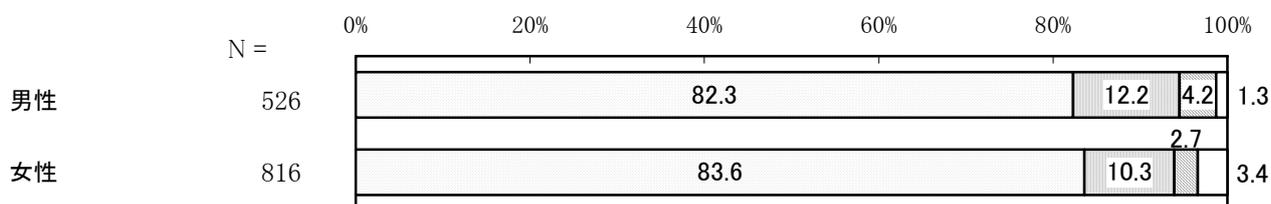
「言葉も意味も知っている」の割合が 83.1%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味は知らない」の割合が 11.0%、「言葉も意味も知らない（今回の調査で初めて聞いた）」の割合が 3.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



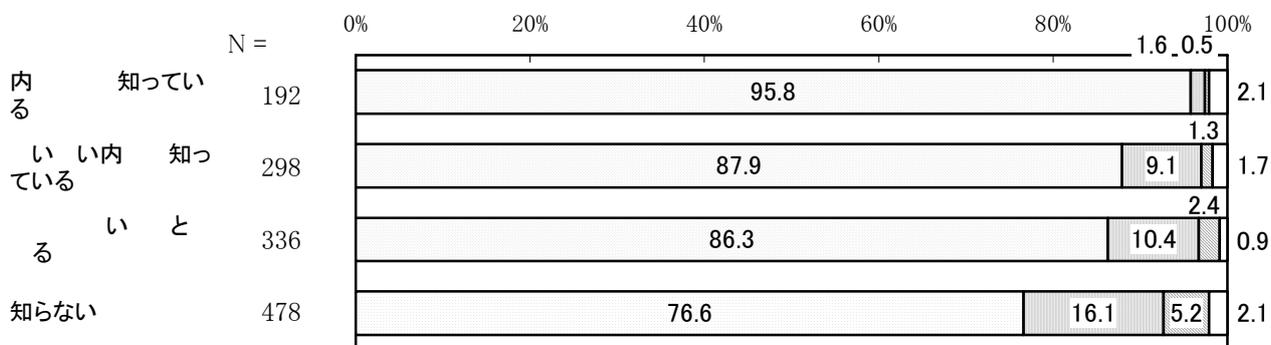
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【「特定健康診査・特定保健指導」の認知状況別（問 52）×（問 49）】

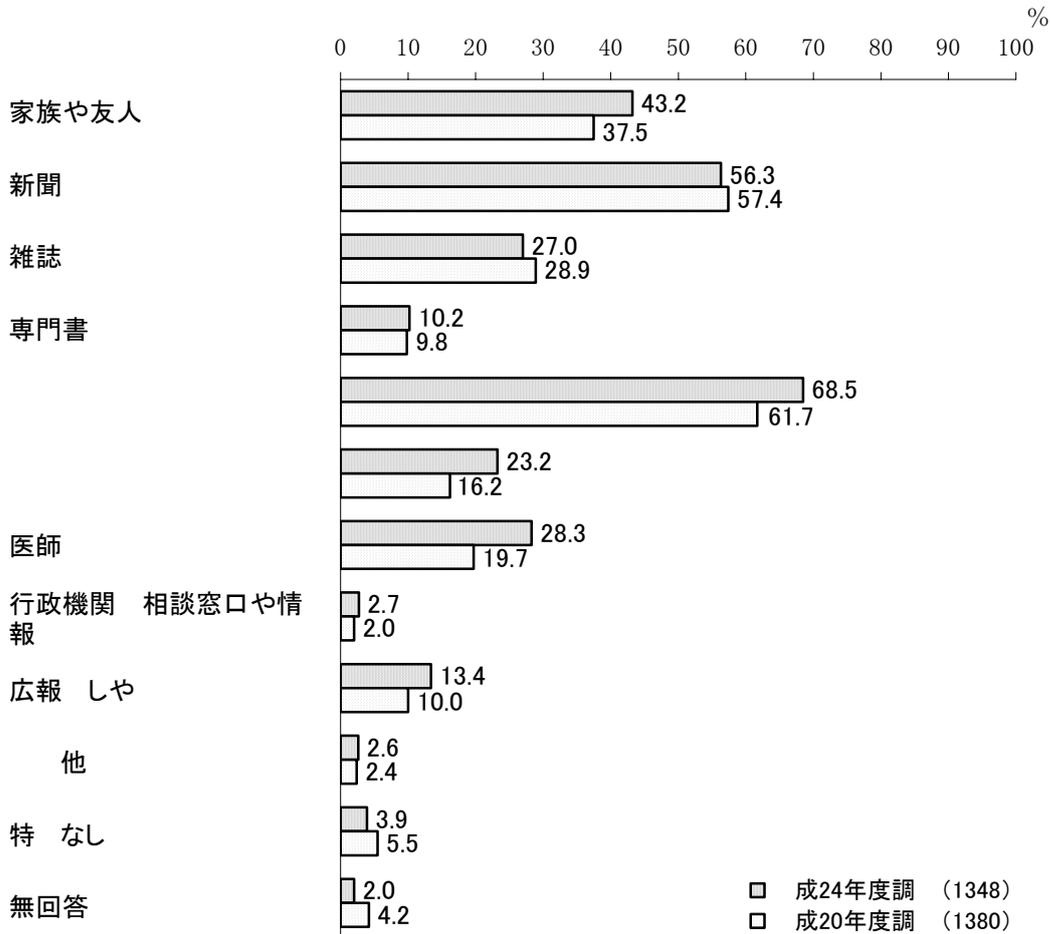
「特定健康診査・特定保健指導」の認知状況別でみると、「特定健康診査・特定保健指導」に対する認知度が高いほど、「言葉も意味も知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 53 あなたは、食育や健康づくりに関する知識や情報を主にどのようなところから得ていますか。(あてはまるものすべてに)

「テレビ」の割合が68.5%と最も高く、次いで「新聞」の割合が56.3%、「家族や友人」の割合が43.2%となっています。

前回調査と比較すると、「家族や友人」「テレビ」「インターネット」「医師」の割合が増加しており、特に「医師」では、8.6ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「雑誌」「テレビ」の割合が高く、特に「テレビ」では、7割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族や友人	新聞	雑誌	専門書	テレビ	インターネット	医師	行政機関の相談窓口や情報コーナー	広報あしや	その他	特になし	無回答
男性	526	39.9	53.4	20.3	8.9	60.6	27.6	32.5	2.5	10.3	2.3	5.9	1.0
女性	816	45.1	58.2	31.5	11.0	73.8	20.6	25.6	2.9	15.6	2.8	2.7	2.7

【性・年代別】

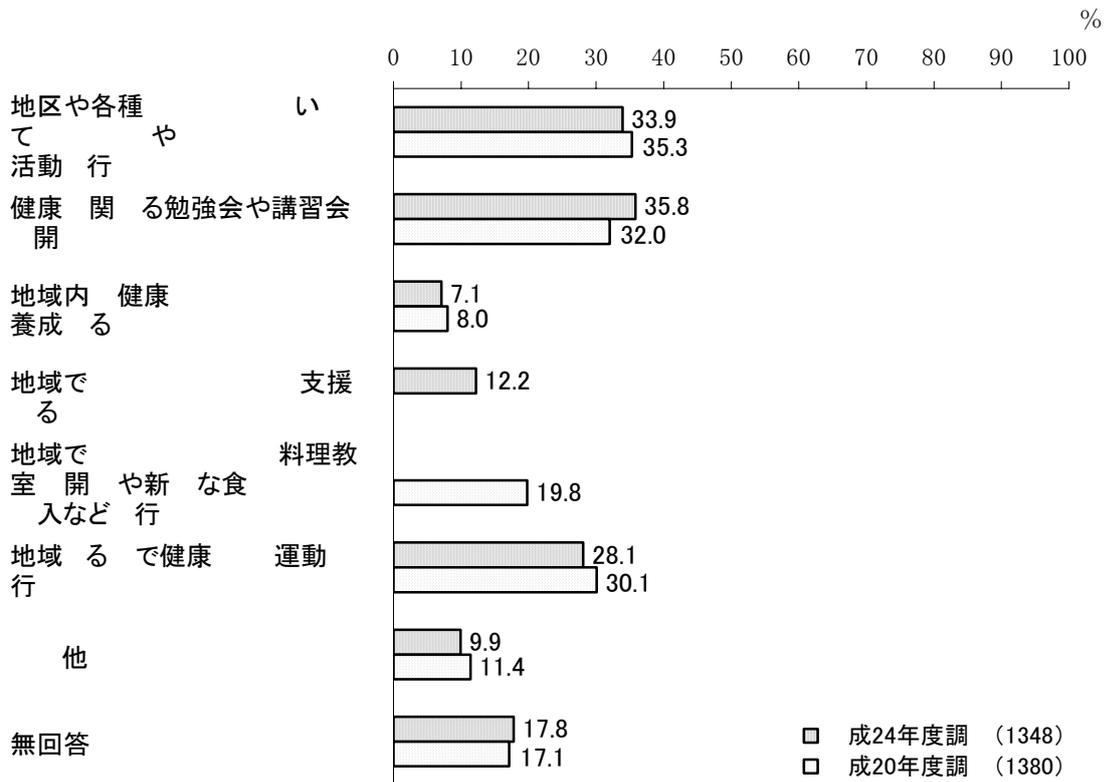
性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代～50歳代、女性の20歳代～40歳代で「インターネット」の割合が高く、3割を超えています。また、男性の60歳代以上、女性の50歳代以上で「新聞」の割合が高く、6割を超えています。男女ともに60歳代以上で「医師」の割合が高く、3割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族や友人	新聞	雑誌	専門書	テレビ	インターネット	医師	行政機関の相談窓口や情報コーナー	広報あしや	その他	特になし	無回答
男性 20歳代	36	52.8	19.4	19.4	11.1	55.6	50.0	11.1	—	—	2.8	2.8	2.8
30歳代	30	40.0	50.0	13.3	10.0	73.3	46.7	6.7	—	6.7	3.3	—	—
40歳代	78	41.0	42.3	20.5	10.3	66.7	47.4	16.7	—	2.6	1.3	6.4	—
50歳代	88	34.1	38.6	19.3	5.7	55.7	43.2	29.5	2.3	4.5	6.8	10.2	—
60歳代	105	34.3	61.0	25.7	8.6	54.3	17.1	37.1	3.8	9.5	1.9	9.5	—
70歳以上	189	42.9	67.7	19.0	9.5	63.0	10.6	46.0	3.7	19.0	0.5	3.2	2.1
女性 20歳代	61	50.8	32.8	29.5	11.5	72.1	34.4	6.6	—	3.3	4.9	6.6	—
30歳代	99	51.5	40.4	33.3	9.1	70.7	46.5	9.1	3.0	7.1	4.0	3.0	—
40歳代	106	38.7	52.8	39.6	13.2	75.5	36.8	19.8	1.9	13.2	2.8	2.8	—
50歳代	115	42.6	68.7	35.7	13.0	78.3	25.2	17.4	2.6	12.2	2.6	1.7	0.9
60歳代	140	43.6	71.4	27.9	14.3	73.6	12.1	30.7	6.4	19.3	2.1	2.9	1.4
70歳以上	289	45.3	60.6	28.7	8.3	72.7	4.2	38.1	2.4	21.5	2.1	1.7	6.6

問 54 誰もがいきいきと健康的な生活を送るために、今後、芦屋市において、どのような取り組みが重要だと考えますか。(あてはまるものすべてに)

「健康に関する勉強会や講習会を開く」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「地区や各種グループにおいて、スポーツやレクリエーション活動を行う」の割合が 33.9%,「地域ぐるみで健康づくり運動を行う」の割合が 28.1%となっています。



「地域でのグループづくりを支援する」は、平成 24 年度調査のみ
 「地域でグループをつくり、料理教室の開催や新鮮な食材の共同購入などを行う」は、平成 20 年度調査のみ

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	地区や各種グループにおいて、スポーツやレクリエーション活動を行う	健康に関する勉強会や講習会を開く	地域内の健康づくりリーダーを養成する	地域でのグループづくりを支援する	地域ぐるみで健康づくり運動を行う	その他	無回答
男性	526	35.2	33.3	7.0	12.2	28.5	12.2	14.4
女性	816	33.1	37.6	7.2	12.3	27.8	8.3	19.9

【性・年代別】

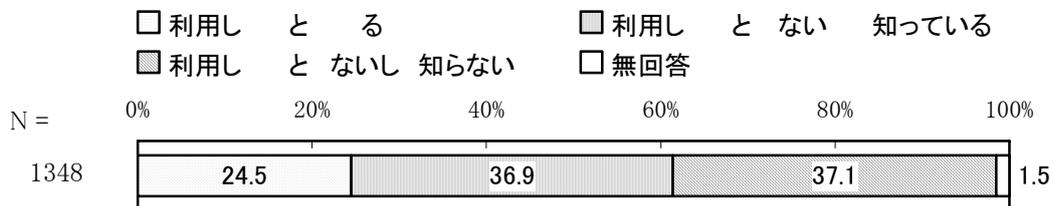
性・年代別でみると、他に比べ、男女ともに20歳代、30歳代で「地区や各種グループにおいて、スポーツやレクリエーション活動を行う」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	地区や各種グループにおいて、スポーツやレクリエーション活動を行う	健康に関する勉強会や講習会を開く	地域内の健康づくりリーダーを養成する	地域でのグループづくりを支援する	地域ぐるみで健康づくり運動を行う	その他	無回答
男性 20歳代	36	44.4	27.8	—	25.0	22.2	11.1	2.8
30歳代	30	60.0	26.7	10.0	10.0	30.0	13.3	3.3
40歳代	78	39.7	23.1	6.4	7.7	17.9	16.7	15.4
50歳代	88	30.7	33.0	1.1	12.5	27.3	20.5	10.2
60歳代	105	31.4	35.2	8.6	15.2	35.2	7.6	15.2
70歳以上	189	31.7	38.6	10.1	10.1	30.7	9.0	19.6
女性 20歳代	61	47.5	32.8	3.3	11.5	36.1	4.9	6.6
30歳代	99	43.4	27.3	6.1	10.1	31.3	11.1	14.1
40歳代	106	34.0	43.4	4.7	10.4	24.5	7.5	9.4
50歳代	115	29.6	40.0	9.6	13.0	26.1	11.3	14.8
60歳代	140	28.6	45.0	4.3	11.4	35.0	9.3	13.6
70歳以上	289	30.1	36.0	9.7	14.2	23.9	6.6	32.9

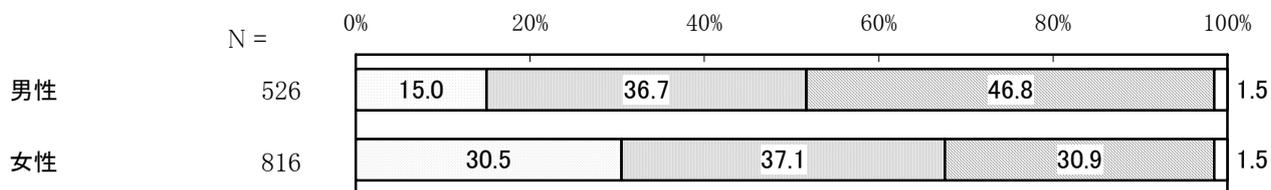
問 55 芦屋市には平成 22 年 7 月に保健福祉センターが開設されています。あなたは、この施設を利用したことがありますか。(は 1 つだけ)

「利用したこともないし、知らない」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「利用したことはないが、知っている」の割合が 36.9%、「利用したことがある」の割合が 24.5%となっています。



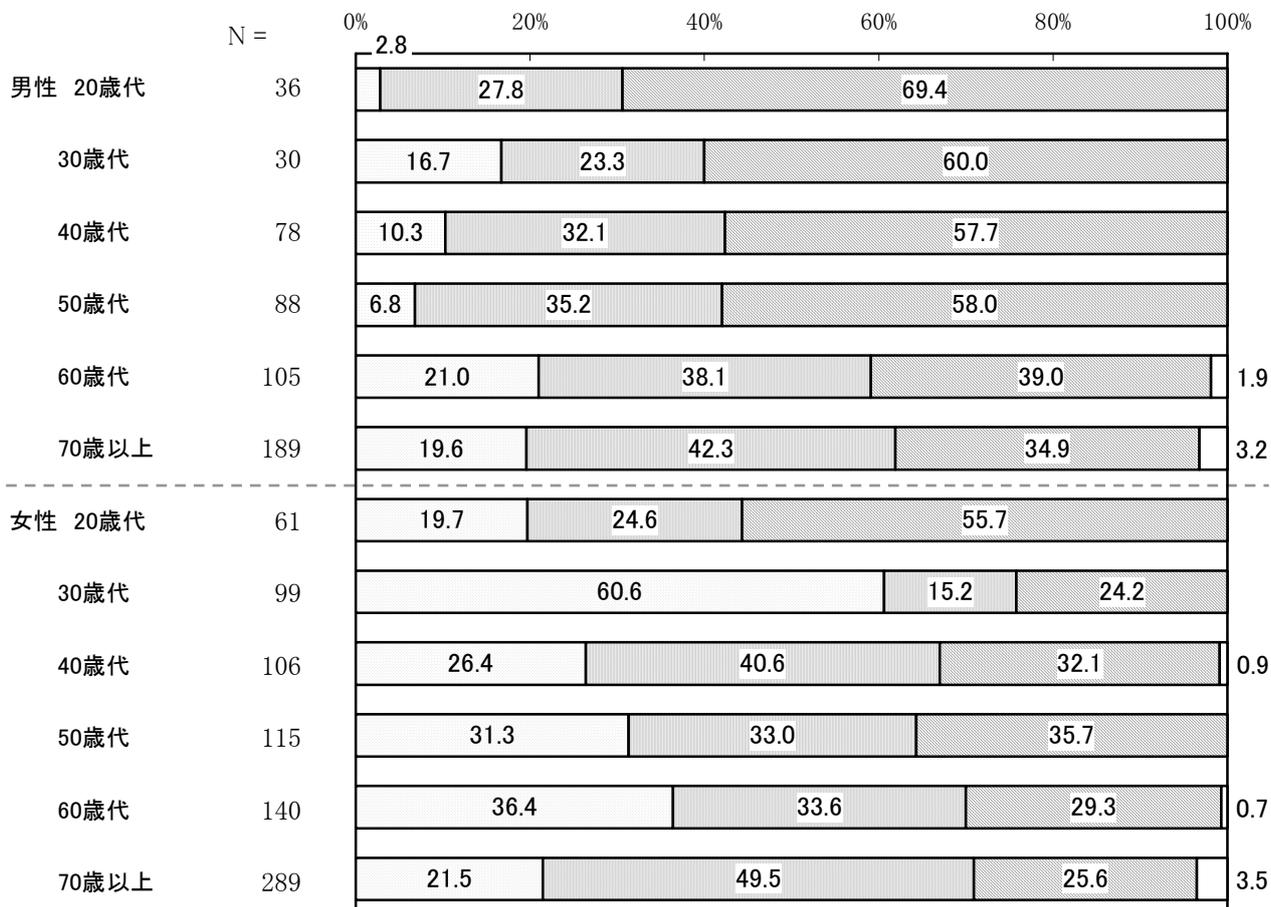
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「利用したこともないし、知らない」の割合が高く、約 5 割となっています。



【性・年代別】

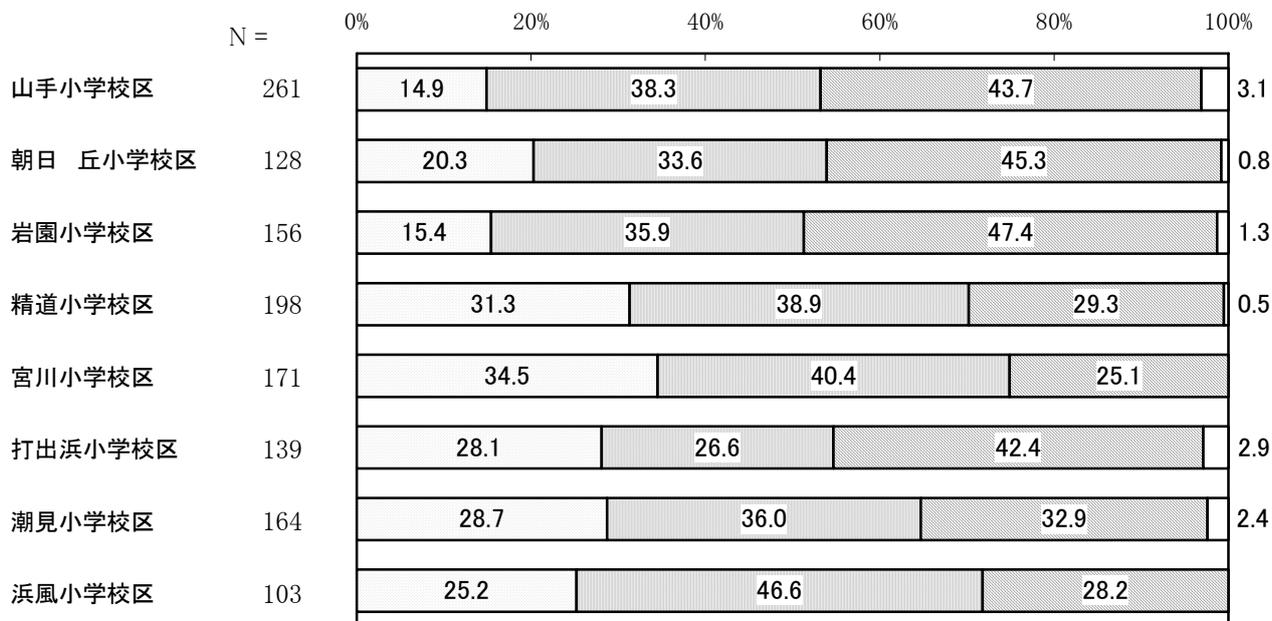
性・年代別でみると、他に比べ、女性の 30 歳代以上で「利用したことがある」の割合が高く、6 割を超えています。一方、男性の 20 歳代~50 歳代、女性の 20 歳代で「利用したこともないし、知らない」の割合が高く、5 割を超えています。



【地区別】

地区別でみると、他に比べ、精道小学校区、宮川小学校区で「利用したことがある」の割合が高く、3割を超えています。一方、山手小学校区、朝日ヶ丘小学校区、岩園小学校区、打出浜小学校区で「利用したこともないし、知らない」の割合が高く、4割を超えています。

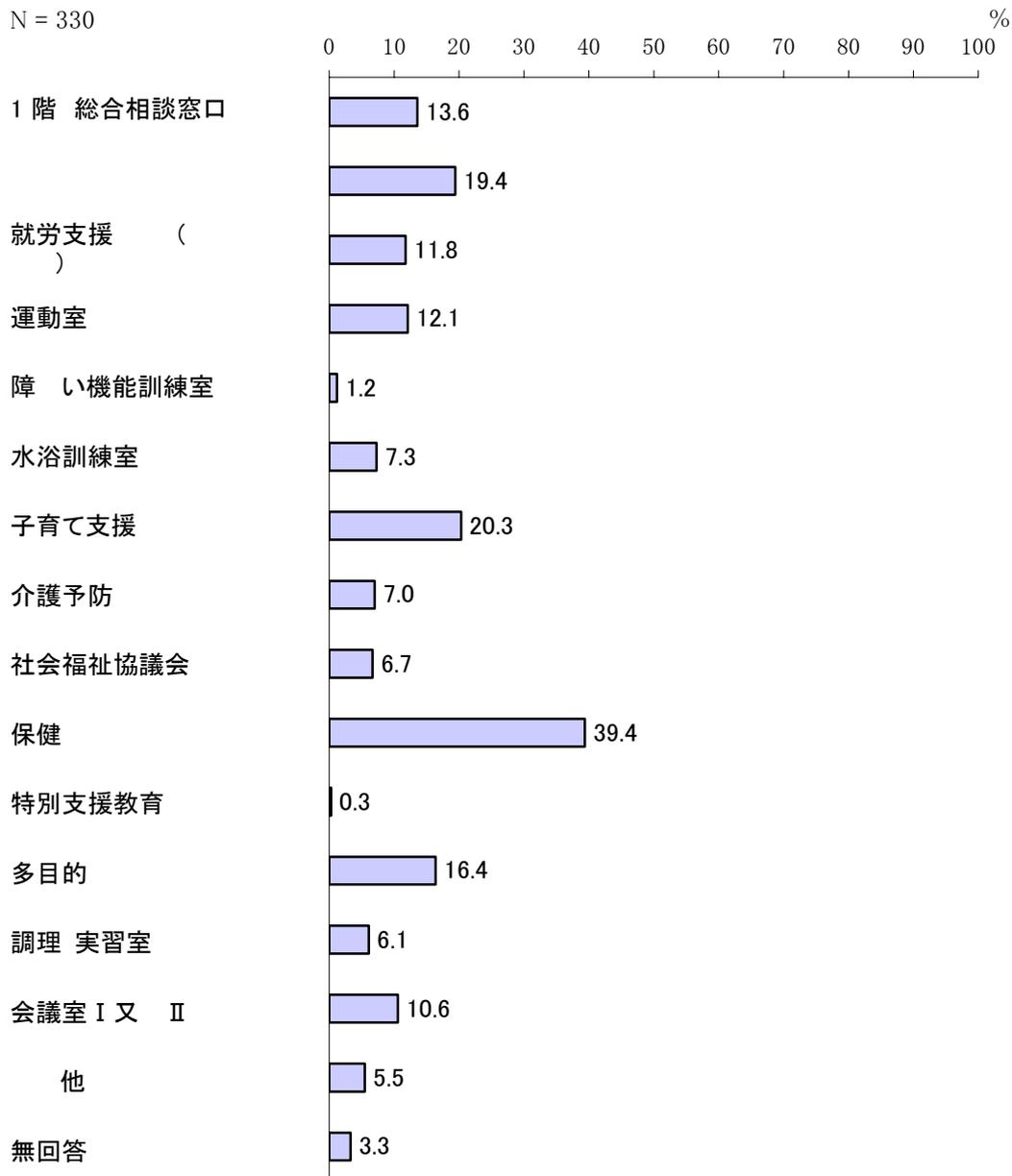
- 利用し と る
- 利用し と ない 知っている
- 利用し と ないし 知らない
- 無回答



問 55-1 (問 55 で「 1 . 利用したことがある」と回答された方にお聞きします)

どの施設を利用しましたか。(あてはまるものすべてに)

「保健センター」の割合が 39.4%と最も高く,次いで「子育て支援センター」の割合が 20.3%,
「エントランスホール」の割合が 19.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「1 階 総合相談窓口」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育て支援センター」「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	1階 総合相談窓口	エントランスホール	就労支援カフェ (カシユカシユ)	運動室	障がい機能訓練室	水浴訓練室	子育て支援センター	介護予防センター
男性	79	21.5	16.5	8.9	17.7	—	5.1	7.6	8.9
女性	249	11.2	20.5	12.9	10.4	1.6	8.0	24.5	6.4

区分	社会福祉協議会	保健センター	特別支援教育センター	多目的ホール	調理・実習室	会議室Ⅰ又はⅡ	その他	無回答
男性	8.9	24.1	1.3	19.0	2.5	11.4	5.1	3.8
女性	6.0	44.6	—	15.3	7.2	10.4	5.6	2.8

【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「運動室」「介護予防センター」の割合が高くなっています。また、20歳代、30歳代で「子育て支援センター」の割合が高く、5割を超えています。20歳代、60歳代で「保健センター」の割合が高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	1階 総合相談窓口	エントランスホール	就労支援カフェ (カシユカシユ)	運動室	障がい機能訓練室	水浴訓練室	子育て支援センター	介護予防センター
20歳代	13	7.7	7.7	23.1	7.7	—	7.7	53.8	—
30歳代	65	10.8	13.8	10.8	6.2	1.5	6.2	63.1	—
40歳代	36	11.1	13.9	5.6	—	—	—	25.0	—
50歳代	42	16.7	19.0	16.7	7.1	—	—	—	2.4
60歳代	73	13.7	24.7	12.3	11.0	—	8.2	13.7	6.8
70歳以上	99	16.2	23.2	11.1	24.2	3.0	13.1	—	17.2

区分	社会福祉協議会	保健センター	特別支援教育センター	多目的ホール	調理・実習室	会議室Ⅰ又はⅡ	その他	無回答
20歳代	—	76.9	—	7.7	7.7	—	—	—
30歳代	1.5	46.2	—	10.8	13.8	1.5	4.6	1.5
40歳代	—	41.7	—	8.3	11.1	13.9	13.9	2.8
50歳代	9.5	45.2	—	19.0	4.8	19.0	7.1	2.4
60歳代	8.2	52.1	—	19.2	1.4	8.2	2.7	1.4
70歳以上	11.1	18.2	1.0	20.2	3.0	15.2	5.1	6.1

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、精道小学校区で「水浴訓練室」の割合が高くなっています。また、宮川小学校区、浜風小学校区で「介護予防センター」の割合が高くなっています。山手小学校区、潮見小学校区で「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	1階 総合相談窓口	エントランスホール	就労支援カフェ (カシユカシユ)	運動室	障がい機能訓練室	水浴訓練室	子育て支援センター	介護予防センター
山手小学校区	39	12.8	12.8	10.3	10.3	—	—	15.4	—
朝日ヶ丘小学校区	26	3.8	15.4	7.7	7.7	—	—	15.4	—
岩園小学校区	24	16.7	16.7	12.5	4.2	—	—	25.0	—
精道小学校区	62	14.5	19.4	19.4	17.7	3.2	16.1	17.7	11.3
宮川小学校区	59	11.9	18.6	11.9	15.3	—	8.5	23.7	13.6
打出浜小学校区	39	20.5	20.5	7.7	5.1	2.6	2.6	20.5	5.1
潮見小学校区	47	12.8	23.4	8.5	14.9	—	10.6	29.8	4.3
浜風小学校区	26	19.2	30.8	11.5	15.4	3.8	11.5	15.4	15.4

区分	社会福祉協議会	保健センター	特別支援教育センター	多目的ホール	調理・実習室	会議室Ⅰ又はⅡ	その他	無回答
山手小学校区	10.3	48.7	—	12.8	5.1	5.1	12.8	2.6
朝日ヶ丘小学校区	3.8	34.6	—	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8
岩園小学校区	8.3	33.3	—	12.5	4.2	20.8	4.2	—
精道小学校区	9.7	41.9	1.6	17.7	6.5	17.7	4.8	1.6
宮川小学校区	6.8	37.3	—	20.3	6.8	10.2	1.7	3.4
打出浜小学校区	2.6	30.8	—	20.5	5.1	10.3	7.7	5.1
潮見小学校区	4.3	48.9	—	12.8	10.6	4.3	4.3	4.3
浜風小学校区	7.7	30.8	—	7.7	—	3.8	3.8	—

問 56 最後に、健康づくりや食に関してご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

1 健康について

- ・ 健康づくりは、各個人の意志の問題です。行政が啓発的情報を提供することが望ましいです。
- ・ 近くで体操教室や体によい食事の勉強会などが開かれるとよいと思います。
- ・ 笑顔で明るく元気に楽しくしていることが健康の素だと思います。

2 栄養・食生活について

- ・ 食費が高く、豊富な食材が買えず、安価なものしか買えません。
- ・ 子どものときの食生活が大事だと思っています。

3 運動について

- ・ 公園や広場等で、気軽にウォーキングや運動を楽しめる場所を増やしてほしいです。
- ・ 近くの集会所等でもっと運動教室や高齢者向きのクラスを増やしてほしいです。

4 休養・こころの健康づくりについて

- ・ 健康づくりにはできるだけストレスをためないように気をつけています。野菜をより多く摂取するよう気をつけています。
- ・ 楽しく食事や会話ができる場を提供してほしいです。

5 たばこ・アルコールについて

- ・ 分煙ではなく禁煙でないという意味がありません。
- ・ たばこを吸っている人に、もっと悪い物だということを声を大にして伝えてください。

6 健診などについて

- ・ 健康診断を受けたいのですが、どうやって受けたらよいのかわかりません。個人的に葉書などで自分にあった内容を知らせていただけると行きやすいです。
- ・ さまざまな検診について若年層にも範囲を広げた方がよいと思います。

7 医療について

- ・ 眼科の夜間、休日診療を芦屋市内で持ち回りしていただけないでしょうか。急患時に尼崎まで行かなければいけないのは無理があると思います。どうぞよろしく願いいたします。
- ・ 市民病院により充実した医療スタッフと設備を充実させ、医療費補助を拡大してほしいです。

8 啓発・情報提供について

- ・ 健康づくりや食に関しては、誰もが興味のあることだと思います。もっと情報を提供してほしいです。気軽にその情報が得られるようになればうれしいです。
- ・ 今回のアンケートで知らなかったことが多いことに気づきました。今後、健康に関する講習会などがあれば、参加して今後の自分に役立てることを子どもたちにも教えたいです。

9 施設について

- ・ センターがあるのは知っていましたが、何をしているのか、誰でも利用してよいのかわかりません。
- ・ 保健福祉センターをもっとPRしてください。

10 その他

- ・ アンケート結果を分析し、市民の健康づくりのため充実した施策を推進していただきたいです。

芦屋市
「芦屋市健康増進・食育推進計画」策定に関わる
アンケート調査結果報告書

平成 24 年 7 月

芦屋市保健福祉部健康課
〒659-0051
兵庫県芦屋市呉川町 14 番 9 号